

第4次千早赤阪村総合計画策定に関する  
住民アンケート調査報告書

平成22年6月

千早赤阪村



# 目次

---

I	調査の概要	1
II	住民の属性	3
III	調査の結果	7
1.	千早赤阪村のイメージ	7
2.	村への愛着度・村の魅力・定住意向	9
(1)	定住意向	9
(2)	引っ越ししたい理由	11
(3)	千早赤阪村への愛着や誇り	14
(4)	愛着や誇りを感じている理由	17
(5)	愛着や誇りを感じない理由	19
3.	施策ごとの満足度	21
4.	今後の土地利用	36
(1)	将来の土地利用について	36
(2)	宅地以外の村内の土地所有について	38
(3)	農業後継者について	39
(4)	農業収入について	40
(5)	今後の農業経営の規模について	41
(6)	村の農業政策について	42
5.	公共施設について	43
(1)	公共施設などの利用頻度について	43
(2)	公共施設などの必要度について	45
(3)	年代別の公共施設などの利用の頻度と必要度	47
6.	まちづくりへの参加	65
7.	地域活動・ボランティア活動、参画・協働について	67
(1)	地域社会での住民の役割について	67
(2)	ボランティア活動への参加意向	73
(3)	参加したい活動の内容	75

<b>8. 行政の広域化</b> .....	79
<b>9. 村の望ましい将来像</b> .....	81
(1) 村の将来像 .....	81
(2) 村が活性化するための地域資源 .....	85
<b>IV 付属資料（調査票）</b> .....	90

# I 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、20歳以上の村民の方々を対象として、村民の皆さんのご意見を総合計画の策定に反映させ、将来の“ちはやあかさか”、住みよい“ちはやあかさか”の実現をめざすために実施したものです。

## 2. 調査項目

- 回答者の属性について
  - (1) 千早赤阪村のイメージ
  - (2) 村への愛着度・村の魅力・定住意向
  - (3) 施策ごとの満足度
  - (4) 今後の土地利用
  - (5) 公共施設について
  - (6) まちづくりへの参加
  - (7) 地域活動・ボランティア活動、参画・協働について
  - (8) 行政の広域化
  - (9) 村の望ましい将来像
  - (10) まちづくりに対するアイデアや提案（自由意見）

## 3. 調査の設計

- (1) 調査対象地域  
千早赤阪村全域
- (2) 調査対象  
村内に在住する20歳以上の村民
- (3) 標本数  
2,500人
- (4) 抽出方法  
無作為抽出
- (5) 抽出台帳  
住民基本台帳・外国人登録原票（平成22年2月28日現在）
- (6) 調査方法  
郵送配布・郵送回収による郵送調査法
- (7) 調査時期  
平成22年3月12日～26日

## 4. 回収結果

- (1) 標本数 2,500 (100.0%)
- (2) 有効回答数 (率) 1,264 ( 50.6%)

## 5. 調査結果についての留意点

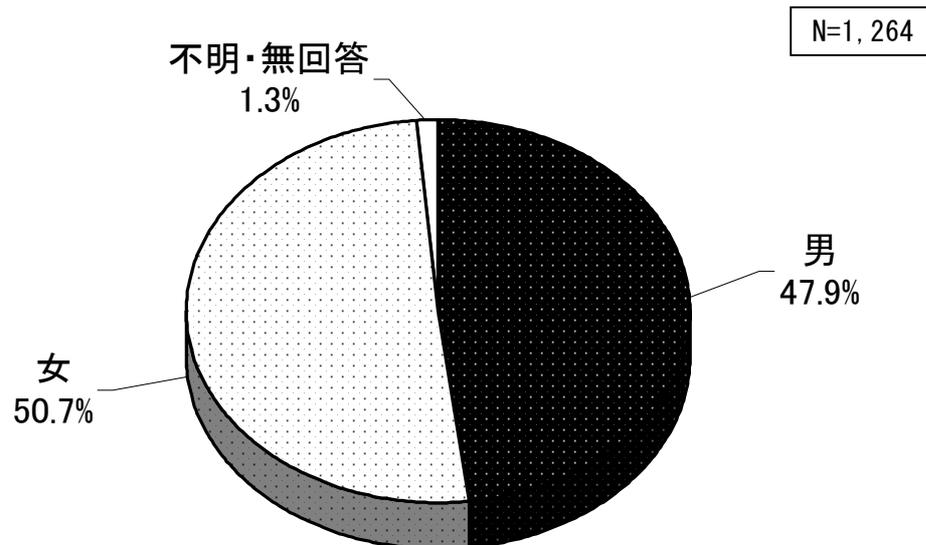
- ◆ 比率はすべて百分率(%)で表しています。なお、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合もあります。
- ◆ 質問の中で(○は3つまで)、(○はいくつでも)とある問では、1人の回答者が複数回答を行っていることがあるため、各回答の合計が1,682、比率が100%を超える場合があります。
- ◆ 比率(%)は、その質問の回答者数を基数(N=Number of case)として算出しています。
- ◆ グラフの表示については、5%以下を非表示にしているものがあります。
- ◆ 数値表の比率の合計は、100.0%と表しています。
- ◆ 数値表の項目で無回答、回答率がゼロであった場合は「-」で表しています。
- ◆ 「第3次千早赤阪村総合計画住民意向調査」(平成11年3月)(以下「平成10年度調査」とする)との比較検討をしています。

## Ⅱ 住民の属性

問1. ご自身のことについておうかがいします<〇は1つ>

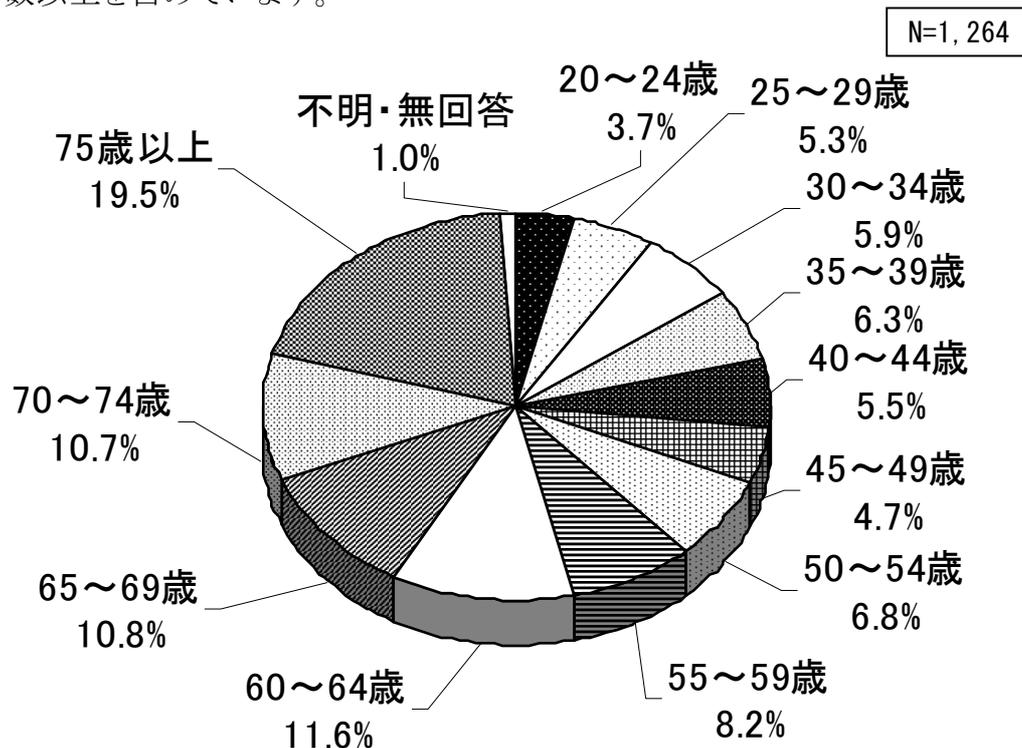
### (1) 性別

1,264人中、女性が641人(50.7%)、男性が606人(47.9%)で、女性の比率がやや高くなっています。



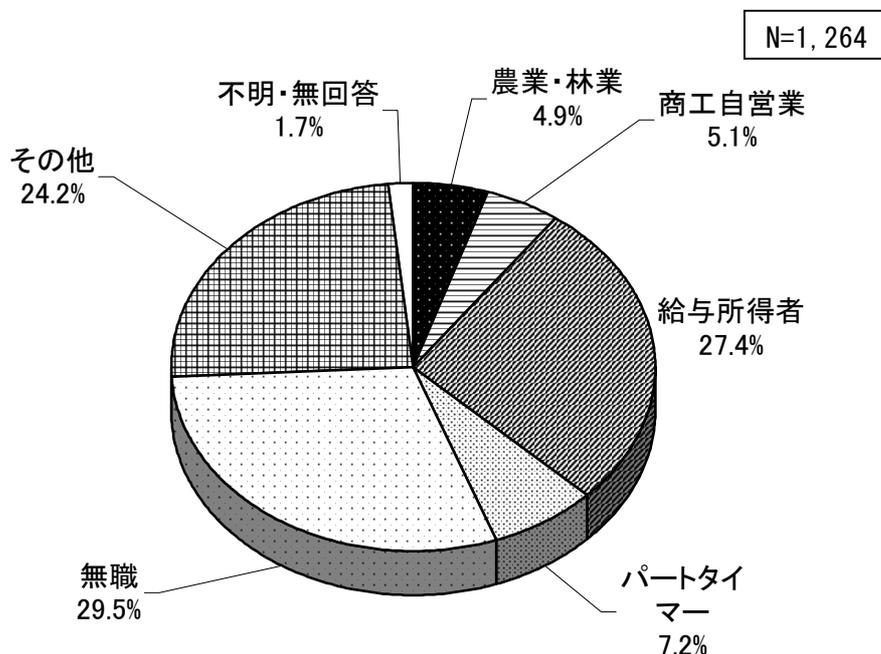
### (2) 年代

年代別では、「75歳以上」が19.5%で最も高く、次に「60～64歳」、「65～69歳」となり、60歳以上が半数以上を占めています。

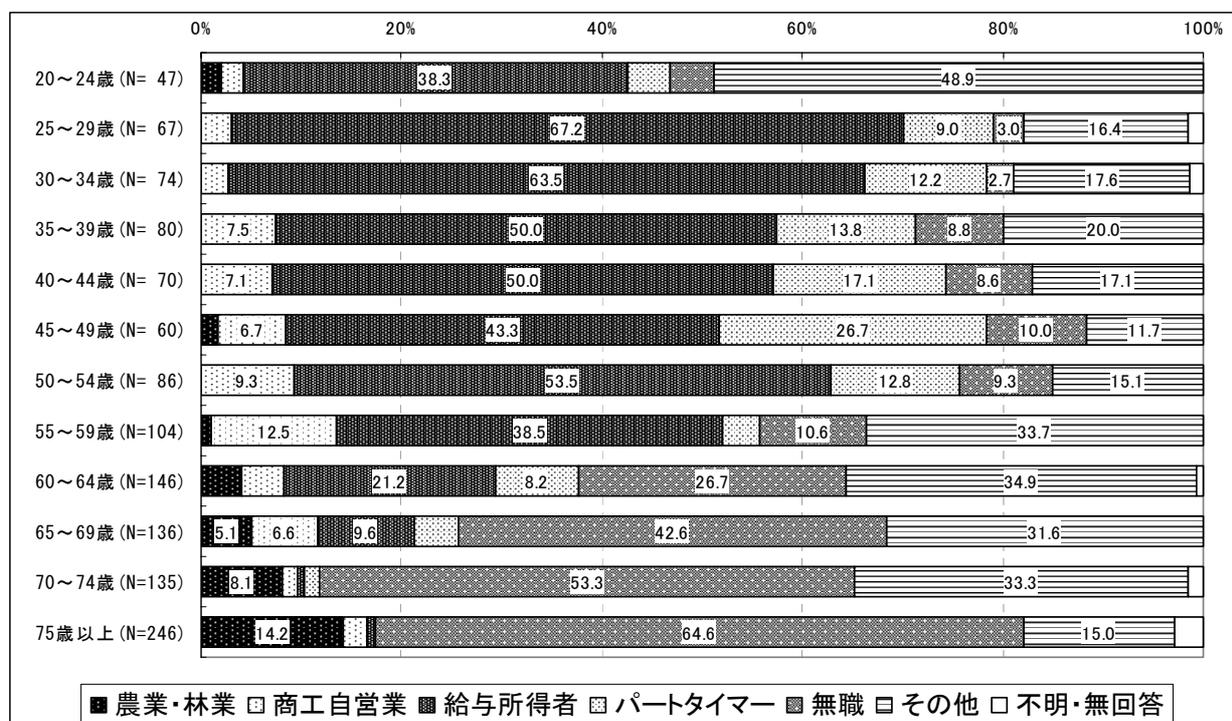


### (3) 職業

職業は、「無職」が29.5%ともっとも多く、次いで「給与所得者」の27.4%、「その他」の24.2%となっています。



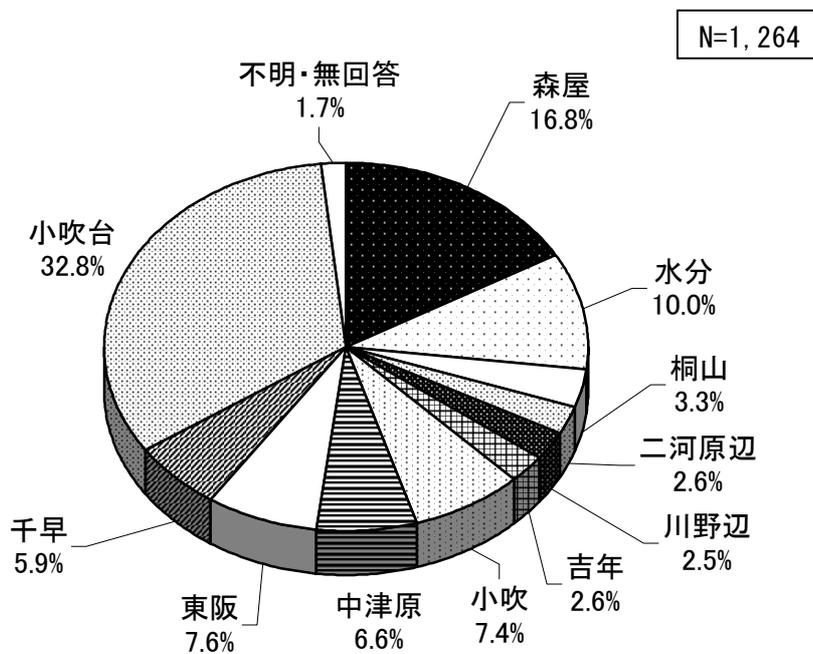
#### 問1 (年代別×職業)



## (4) 居住地区

### 問2 村内のどの地区にお住まいですか<○は1つ>

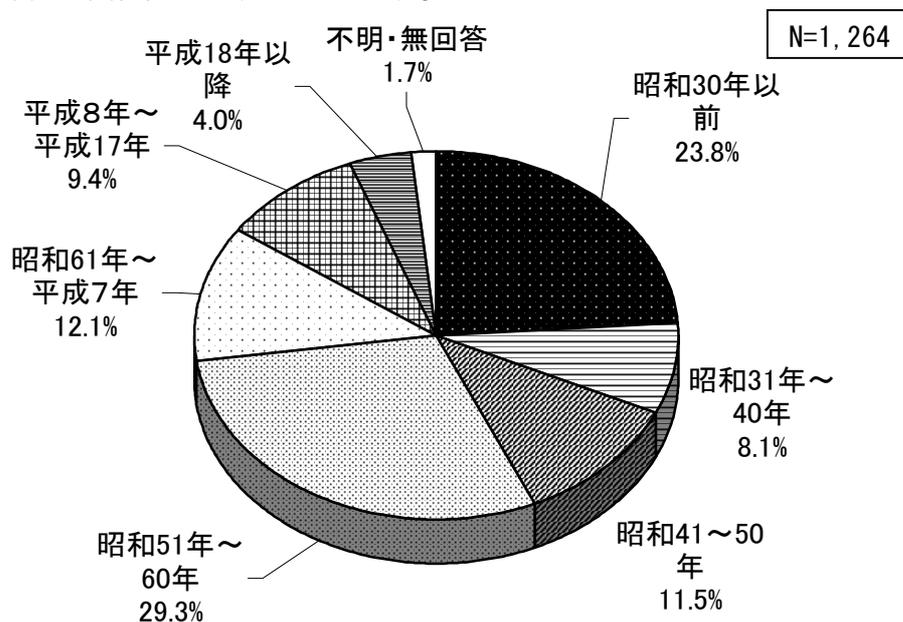
居住地区は、「小吹台」が 32.8%でもっとも多く、次いで「森屋」が 16.8%、「水分」が 10.0%となっています。



## (5) 居住年

### 問3 いつ頃から千早赤阪村にお住まいですか<○は1つ>

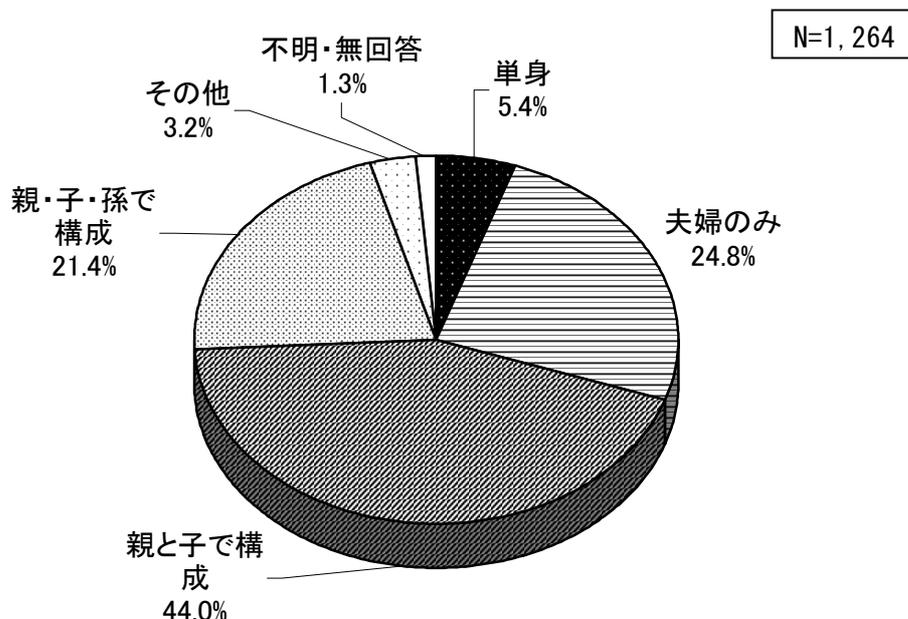
居住年は、「昭和 51～60 年」が 29.3%でもっとも多く、「昭和 30 年以前」からが 23.8%となっており、昭和 51 年以降が半数以上を占めています。



## (6) 家族構成

### 問4. 家族構成は<○は1つ>

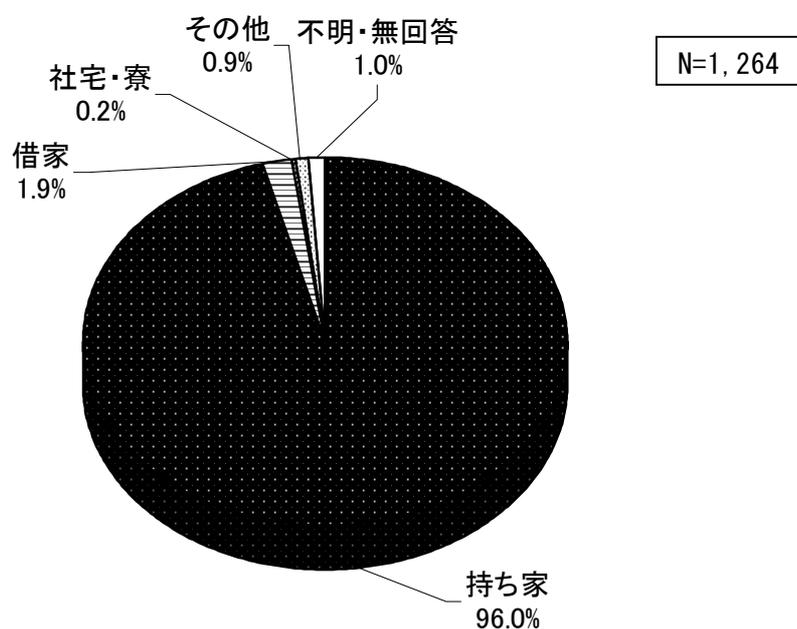
家族構成については、「親と子で構成」が44.0%ともっとも多く、次いで「夫婦のみ」の24.8%となっています。「夫婦のみ」の世帯の割合は平成10年度調査の19.8%から約5%増えています。



## (7) 住宅の所有形態

### 問5 住んでいる住宅は所有形態は<○は1つ>

住宅の所有形態は、「持ち家」が96.0%と大半を占めており、「借家」や「社宅・寮」はわずかとなっています。



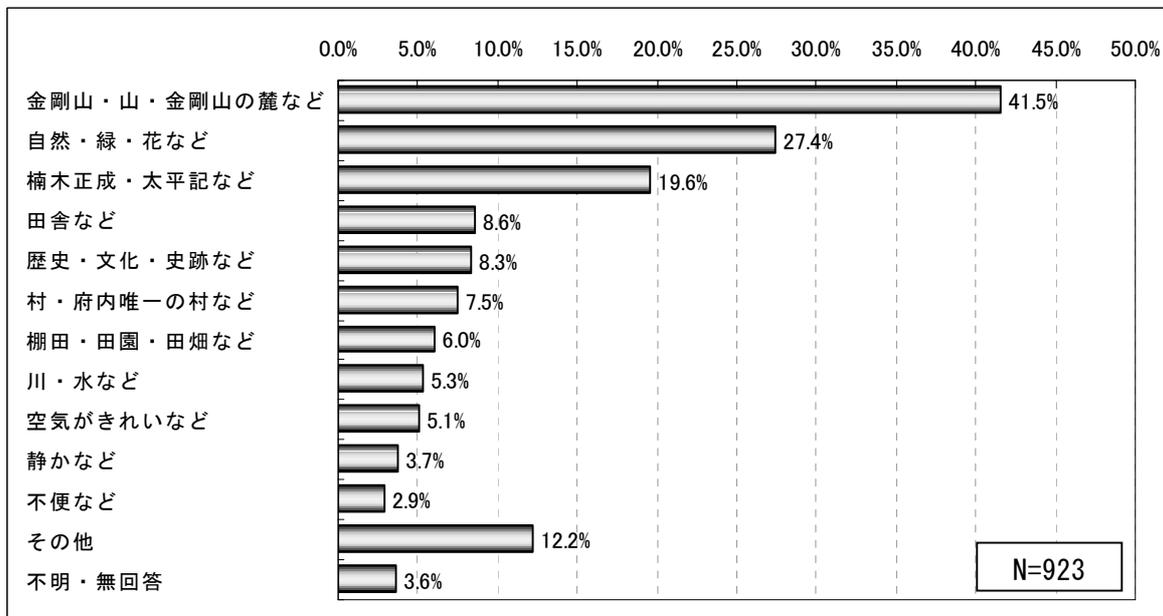
## Ⅱ 調査の結果

### 1. 千早赤阪村のイメージ

問6. 千早赤阪村らしさをイメージする時、どのような言葉が浮かびますか？単語または箇条書きでお願いします。(例:山・川・文化・楠木正成・花・城跡など)〈○は1つ〉

千早赤阪村をイメージする時に浮かぶ言葉として、1,264 人のうち 923 人に具体的な回答をしていただきました。回答を分類すると「金剛山、山、金剛山の麓など」が 41.5%でもっとも多く、次いで「自然、緑、花など」などが 27.4%、「楠木正成、太平記など」が 19.6%となっています。

問6 (全体)

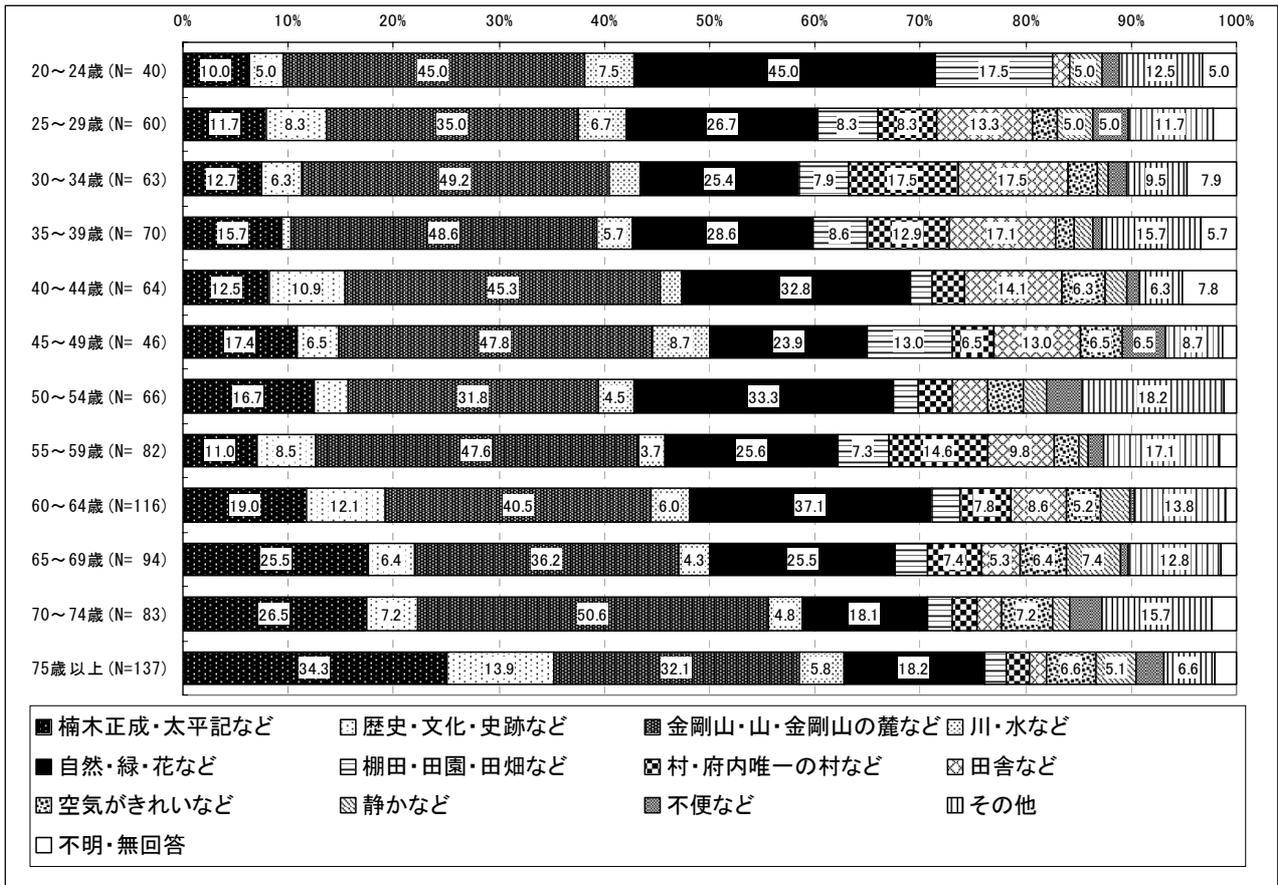


※設問は「1 つまで」でしたが、複数に○をするケースが多かったため、複数回答として集計しています。

#### 【年代別】

- ◆ いずれの年代においても、「金剛山・山・金剛山の麓など」と「自然・緑・花など」が多くなっていますが、年齢が高くなるにつれ「楠木正成・太平記など」のイメージが強くなる傾向にあります。
- ◆ 「25～49 歳」では「田舎など」とする割合が他の年齢より高く、また、「30 歳～34 歳」と「55 歳～59 歳」では「村・府内唯一の村など」のイメージが他の年齢より高くなっています。

問6 (年代別)



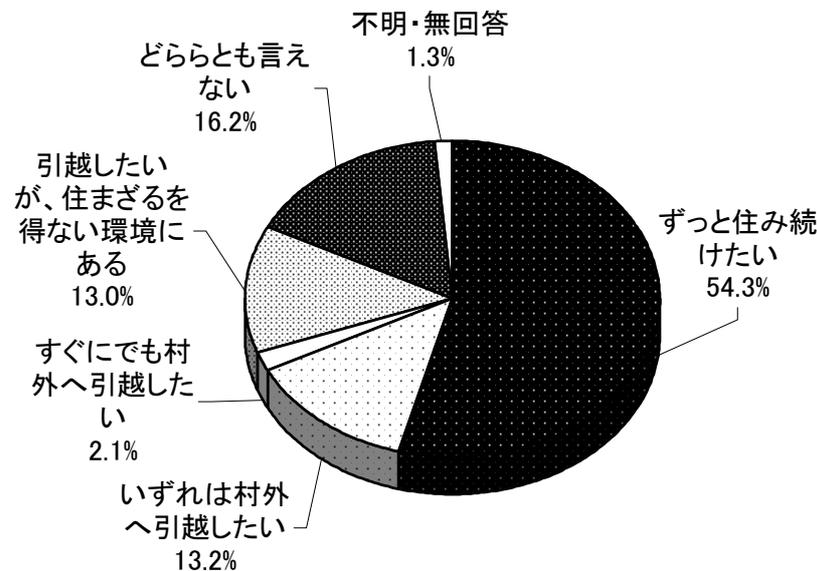
## 2. 村への愛着度・村の魅力・定住意向

### (1) 定住意向

#### 問7. 今後とも千早赤阪村に住み続けたいと思いますか。〈〇は1つ〉

千早赤阪村に住み続けたいと思うかについては、「ずっと住み続けたい」が 54.3 %と半数以上となっています。平成 10 年度調査と選択肢が一部異なっていますが、比較すると「ずっと住み続けたい」はより 5 ポイント以上減っており、「いずれは村外へ引っ越したい」が約 2 ポイント上がるなど、定住の指向がやや減少しています。

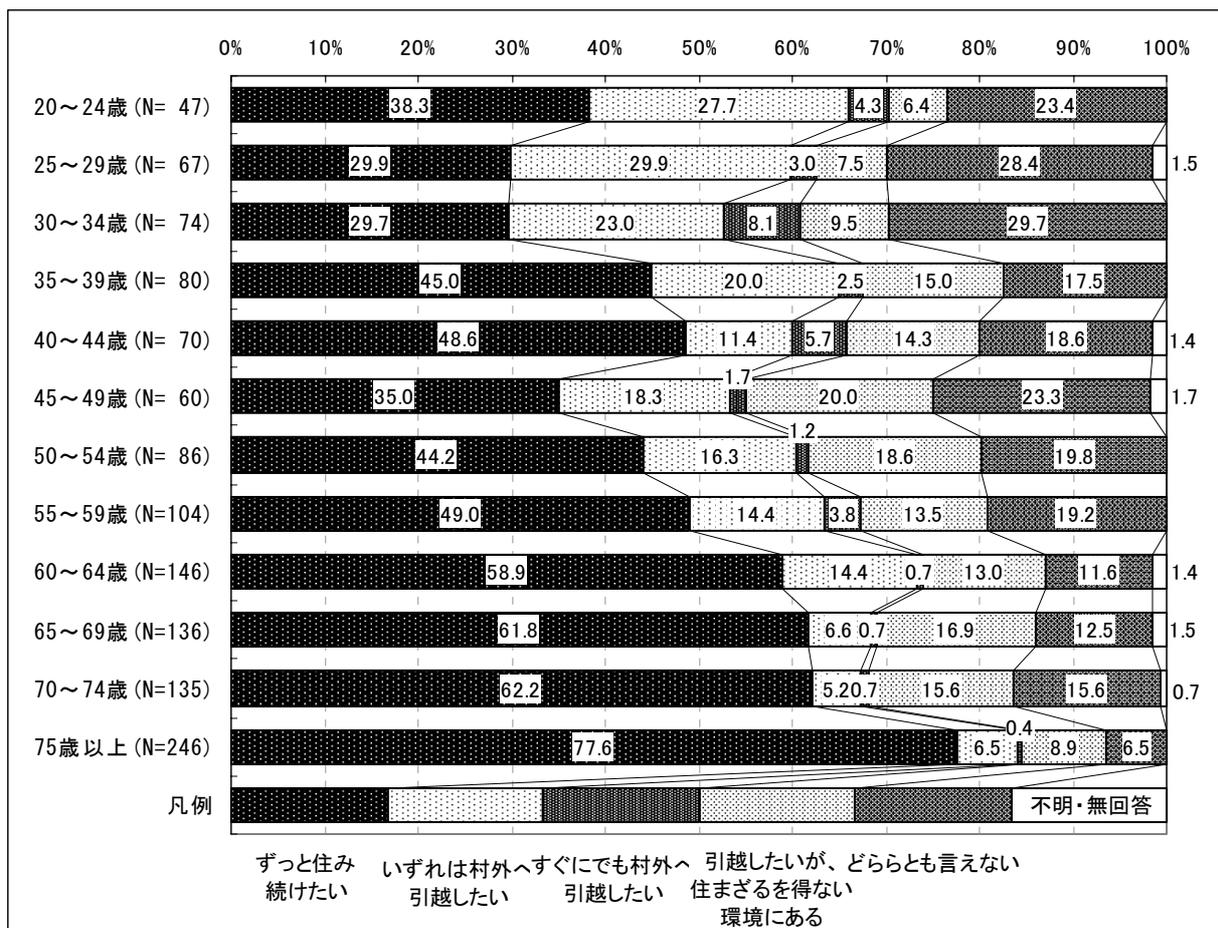
#### 問 7 (全体)



#### 【年代別】

- ◆ いずれの年代においても、「ずっと住み続けたい」と考えている人がもっとも多くなっていますが、年齢層が上がるほど定住意向は強くなる傾向にあります。
- ◆ これとは逆に、年齢層が下がるほど移転意向が低くなる傾向にあり、「25～29 歳」では「ずっと住み続けたい」に占める割合が低く、「いずれは村外に引っ越したい」と同数になっています。

問7 (年代別)



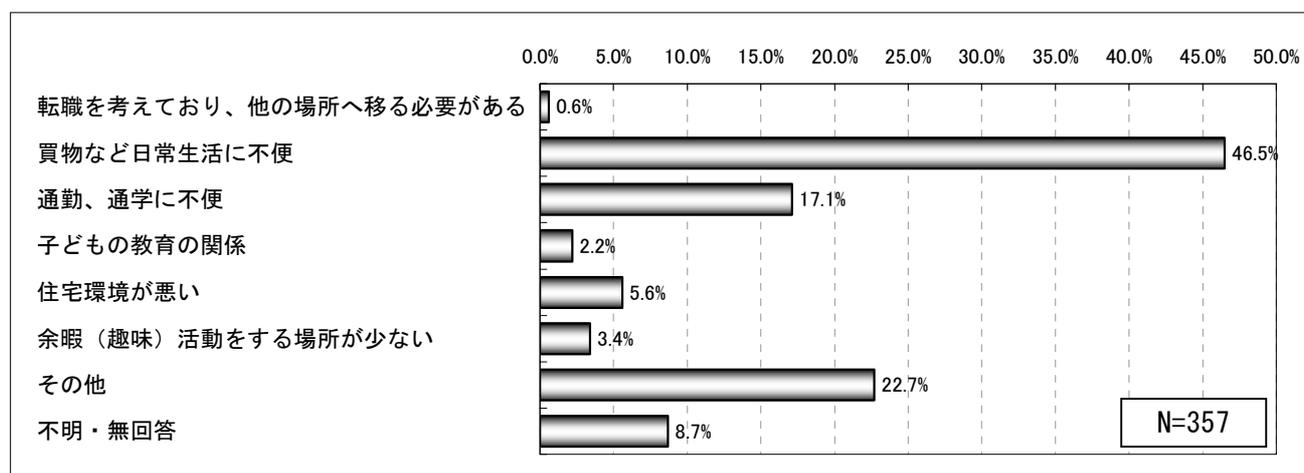
## (2) 引っ越ししたい理由

### 問8. 問7で2, 3又は4とお答えになった方におうかがいします。引っ越ししたい理由とはどのような理由からですか<○は1つ>

問7で2, 3又は4と答えられた方に、その理由を聞いたところ、引っ越ししたい理由としては、「買物など日常生活に不便」がもっとも多く半数近くにのぼっています。次いで、「その他」が22.7%となっていますが、内容としては、交通の不便さや老後、今後の行政サービスなど将来への不安が比較的多くなっています。

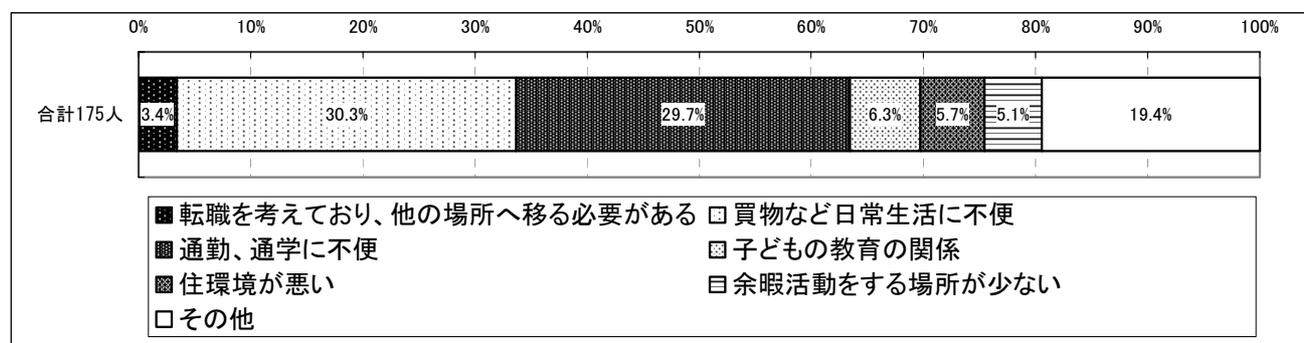
平成10年度調査と比較すると、今回は60歳以上の比率が高いことから「買物など日常生活に不便」が15ポイント以上上昇しており、一方で「通勤、通学に不便」は減少しています。

#### 問8 (全体)



※設問は「1つまで」でしたが、複数に○をするケースが多かったため、複数回答として集計しています。

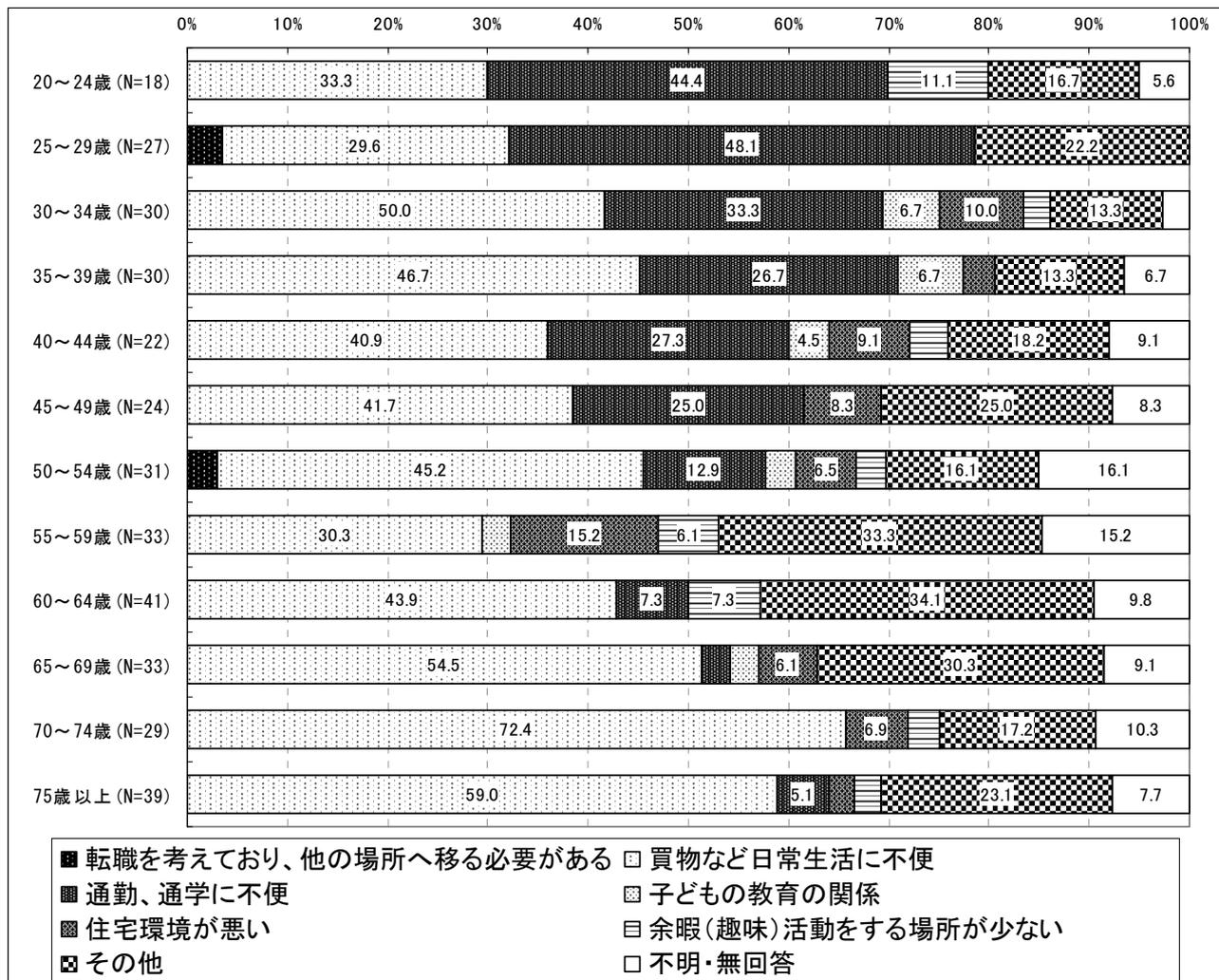
#### (参考) 平成10年度調査



### 【年代別】

20歳代では「通勤、通学の不便」が、30歳代では「買物など日常生活に不便」がそれぞれ半数近くにのぼり、「買物など日常生活に不便」は、65歳以上で特に高く、「70～74歳」では7割を超えています。

### 問8（年代別）



問8 (クロス集計表)

		調査数	るの転 場所を考 えており、 必要があ 他	便買 物など日 常生活に不	通勤、 通学に不便	子 どもの教 育の関 係	住 宅環 境が 悪い	余 暇(趣 味)活 動を す る 場 所 が 少 な い	そ の 他	不 明・ 無 回 答
合計		357 100.0%	2 0.6%	166 46.5%	61 17.1%	8 2.2%	20 5.6%	12 3.4%	81 22.7%	31 8.7%
年 代 別	20～24歳	18 100.0%	-	6 33.3%	8 44.4%	-	-	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%
	25～29歳	27 100.0%	1 3.7%	8 29.6%	13 48.1%	-	-	-	6 22.2%	-
	30～34歳	30 100.0%	-	15 50.0%	10 33.3%	2 6.7%	3 10.0%	1 3.3%	4 13.3%	1 3.3%
	35～39歳	30 100.0%	-	14 46.7%	8 26.7%	2 6.7%	1 3.3%	-	4 13.3%	2 6.7%
	40～44歳	22 100.0%	-	9 40.9%	6 27.3%	1 4.5%	2 9.1%	1 4.5%	4 18.2%	2 9.1%
	45～49歳	24 100.0%	-	10 41.7%	6 25.0%	-	2 8.3%	-	6 25.0%	2 8.3%
	50～54歳	31 100.0%	1 3.2%	14 45.2%	4 12.9%	1 3.2%	2 6.5%	1 3.2%	5 16.1%	5 16.1%
	55～59歳	33 100.0%	-	10 30.3%	-	1 3.0%	5 15.2%	2 6.1%	11 33.3%	5 15.2%
	60～64歳	41 100.0%	-	18 43.9%	3 7.3%	-	-	3 7.3%	14 34.1%	4 9.8%
	65～69歳	33 100.0%	-	18 54.5%	1 3.0%	1 3.0%	2 6.1%	-	10 30.3%	3 9.1%
	70～74歳	29 100.0%	-	21 72.4%	-	-	2 6.9%	1 3.4%	5 17.2%	3 10.3%
	75歳以上	39 100.0%	-	23 59.0%	2 5.1%	-	1 2.6%	1 2.6%	9 23.1%	3 7.7%
	居 住 年	昭和30年以前	41 100.0%	-	20 48.8%	1 2.4%	-	3 7.3%	-	14 34.1%
昭和31年～40年		27 100.0%	-	14 51.9%	5 18.5%	-	2 7.4%	1 3.7%	2 7.4%	4 14.8%
昭和41～50年		39 100.0%	-	19 48.7%	9 23.1%	2 5.1%	2 5.1%	1 2.6%	3 7.7%	5 12.8%
昭和51年～60年		136 100.0%	-	63 46.3%	21 15.4%	2 1.5%	9 6.6%	6 4.4%	33 24.3%	11 8.1%
昭和61年～平成7年		59 100.0%	1 1.7%	27 45.8%	18 30.5%	2 3.4%	1 1.7%	2 3.4%	11 18.6%	3 5.1%
平成8年～平成17年		41 100.0%	-	17 41.5%	5 12.2%	2 4.9%	3 7.3%	1 2.4%	12 29.3%	4 9.8%
平成18年以降		10 100.0%	1 10.0%	6 60.0%	1 10.0%	-	-	1 10.0%	4 40.0%	-

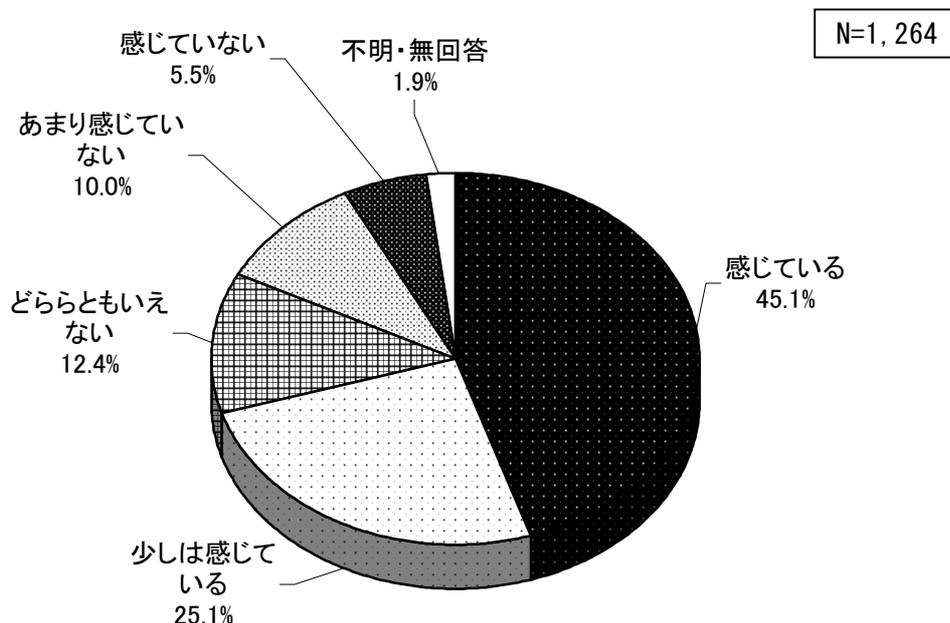
### (3) 千早赤阪村への愛着や誇り

#### 問9. 千早赤阪村に愛着や誇りを感じておられますか。〈〇は1つ〉

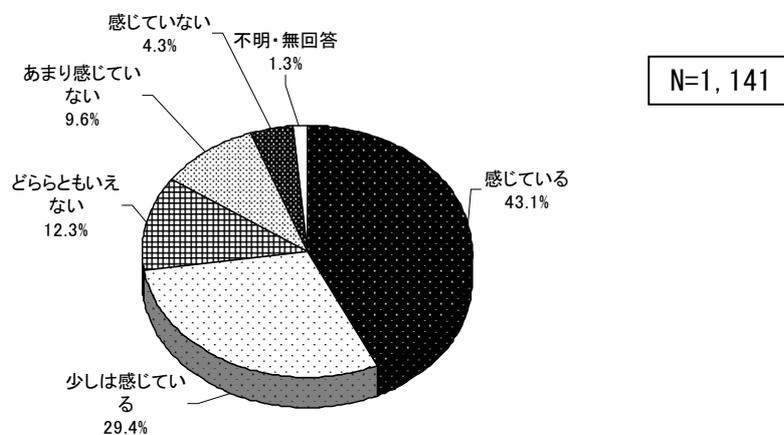
愛着や誇りを「感じている」は 45.1%となっており、「少しは感じている」と合わせると 7 割以上が愛着や誇りを感じています。一方で「感じていない」、「あまり感じていない」とするのは合わせて 15.5%となっています。

平成 10 年度調査と比較すると、「少しは感じている」が約4ポイント上昇し、「感じている」「感じていない」、「あまり感じていない」の合計は、ほぼ同数となっています。

#### 問9 (全体)



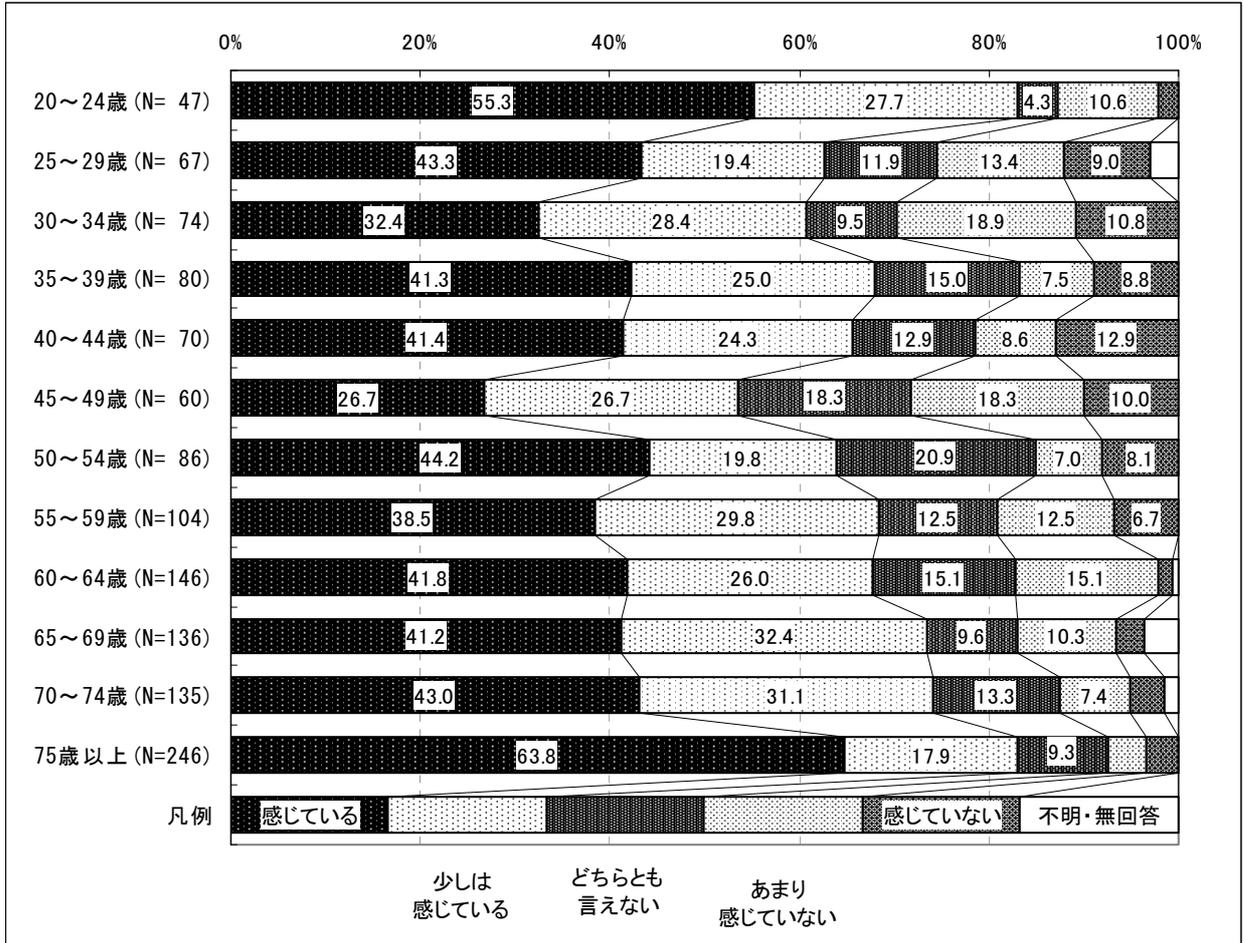
(参考) 平成 10 年度調査



**【年代別】**

いずれの年代においても、「感じている」がもっとも高くなっていますが、「45～49 歳」では26.7%と他の年代よりやや低くなっており、「感じていない」、「あまり感じていない」の合計も他の年代より比率がやや高くなっています。

**問9（年代別）**



**【定住意向別】**

「住み続けたい」では「感じている」が7割近くにのびますが、「すぐにでも引っ越したい」、「住まざるを得ない」では、「感じていない」、「あまり感じていない」が第1位となっています。

問9 (クロス集計表)

		調査数	感じている	少しは感じて	えどららともい	あまり感じて	感じていない	不明・無回答
合計		1264 100.0%	570 45.1%	317 25.1%	157 12.4%	126 10.0%	70 5.5%	24 1.9%
年代別	20～24歳	47 100.0%	26 55.3%	13 27.7%	2 4.3%	5 10.6%	1 2.1%	—
	25～29歳	67 100.0%	29 43.3%	13 19.4%	8 11.9%	9 13.4%	6 9.0%	2 3.0%
	30～34歳	74 100.0%	24 32.4%	21 28.4%	7 9.5%	14 18.9%	8 10.8%	—
	35～39歳	80 100.0%	33 41.3%	20 25.0%	12 15.0%	6 7.5%	7 8.8%	2 2.5%
	40～44歳	70 100.0%	29 41.4%	17 24.3%	9 12.9%	6 8.6%	9 12.9%	—
	45～49歳	60 100.0%	16 26.7%	16 26.7%	11 18.3%	11 18.3%	6 10.0%	—
	50～54歳	86 100.0%	38 44.2%	17 19.8%	18 20.9%	6 7.0%	7 8.1%	—
	55～59歳	104 100.0%	40 38.5%	31 29.8%	13 12.5%	13 12.5%	7 6.7%	—
	60～64歳	146 100.0%	61 41.8%	38 26.0%	22 15.1%	22 15.1%	2 1.4%	1 0.7%
	65～69歳	136 100.0%	56 41.2%	44 32.4%	13 9.6%	14 10.3%	4 2.9%	5 3.7%
	70～74歳	135 100.0%	58 43.0%	42 31.1%	18 13.3%	10 7.4%	5 3.7%	2 1.5%
75歳以上	246 100.0%	157 63.8%	44 17.9%	23 9.3%	10 4.1%	8 3.3%	4 1.6%	
居住年	昭和30年以前	301 100.0%	196 65.1%	48 15.9%	23 7.6%	16 5.3%	12 4.0%	6 2.0%
	昭和31年～40年	103 100.0%	53 51.5%	23 22.3%	13 12.6%	7 6.8%	5 4.9%	2 1.9%
	昭和41～50年	145 100.0%	64 44.1%	36 24.8%	23 15.9%	15 10.3%	6 4.1%	1 0.7%
	昭和51年～60年	370 100.0%	140 37.8%	118 31.9%	46 12.4%	39 10.5%	22 5.9%	5 1.4%
	昭和61年～平成7年	153 100.0%	59 38.6%	44 28.8%	19 12.4%	24 15.7%	7 4.6%	—
	平成8年～平成17年	119 100.0%	33 27.7%	34 28.6%	21 17.6%	16 13.4%	14 11.8%	1 0.8%
	平成18年以降	51 100.0%	18 35.3%	10 19.6%	10 19.6%	9 17.6%	3 5.9%	1 2.0%
定住意向	ずっと住みたい	686 100.0%	461 67.2%	152 22.2%	43 6.3%	20 2.9%	4 0.6%	6 0.9%
	いずれは村外へ引越したい	167 100.0%	35 21.0%	53 31.7%	29 17.4%	33 19.8%	17 10.2%	—
	すぐにでも村外へ引越したい	26 100.0%	—	4 15.4%	5 19.2%	5 19.2%	12 46.2%	—
	引越したいが、住まざるを得ない環境にある	164 100.0%	21 12.8%	35 21.3%	30 18.3%	44 26.8%	30 18.3%	4 2.4%
	どららとも言えない	205 100.0%	50 24.4%	72 35.1%	50 24.4%	24 11.7%	7 3.4%	2 1.0%

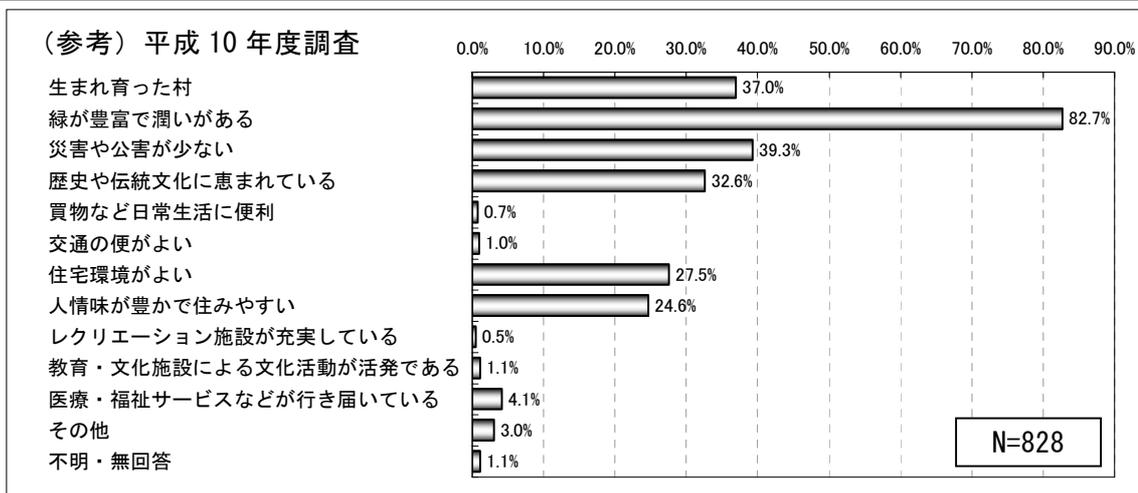
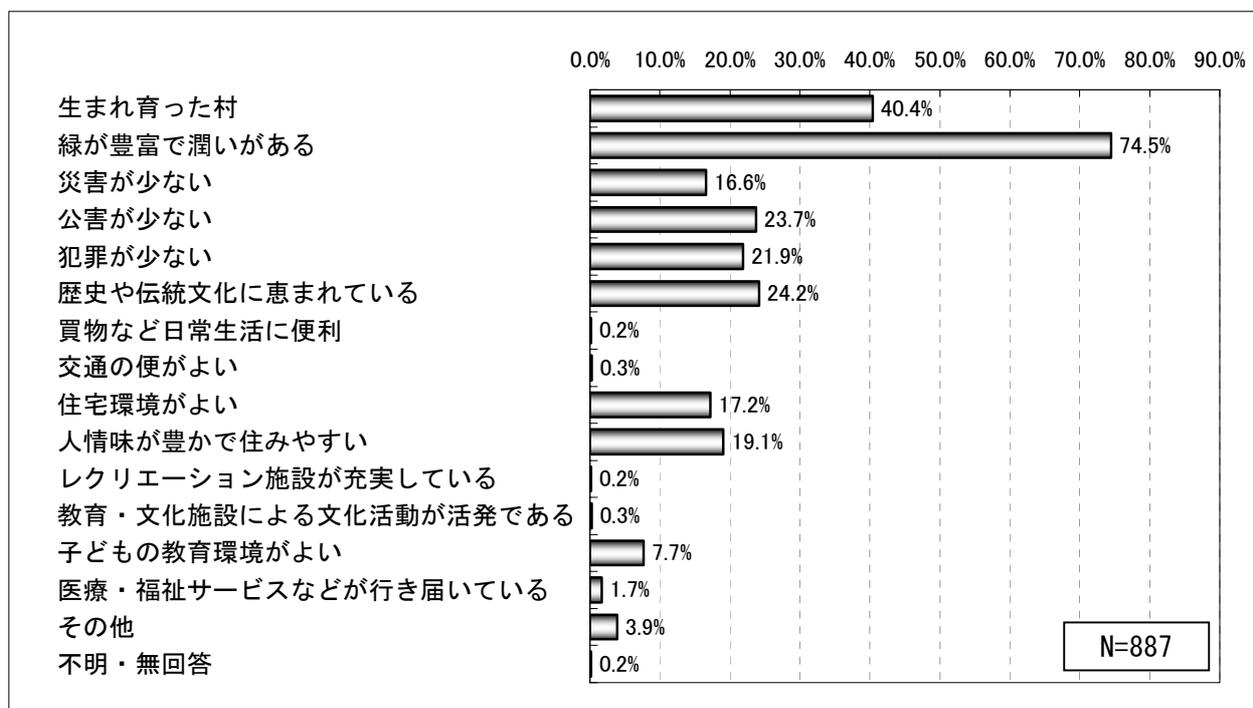
## (4) 愛着や誇りを感じている理由

問10. 問9で「1. 感じている」又は「2. 少しは感じている」とお答えになられた方におうかがいします。愛着や誇りを感じているのは、どのような理由からですか。〈〇は3つまで〉

問9で「1. 感じている」又は「2. 少しは感じている」と答えた 887 人に愛着や誇りを感じている理由を聞いたところ、「緑が豊富で潤いがある」が 74.5%でもっとも高くなっています。次いで、「生まれ育った村」が 40.4%となっています。

平成 10 年度調査とは選択肢が一部異なっていますが、同じ選択肢を比較すると、もっとも高い「緑が豊富で潤いがある」が 8.2 ポイント下がるなど全体的に低くなっていますが、一方で今回新たに追加した選択肢である「犯罪が少ない」が 21.9%、「子どもの教育環境がよい」が 7.7%となっており愛着や誇りを感じる理由として比較的高くなっています。

### 問 10 (全体)



【年代別】

いずれの年代においても、「緑が豊富で潤いがある」がもっとも高くなっており、「20～24歳」と「30～34歳」では「生まれ育った村」が同数で第1位となっています。年代別の特徴としては、「20～24歳」では「犯罪が少ない」が比較的高く、「60～64歳」では「住宅環境がよい」、「65～69歳」では「公害が少ない」が他の年代より比較的高くなっています。

問10（クロス集計表）

■ 第1位 ■ 第2位

	調査数	生まれ育った村	緑が豊富で潤いがある	災害が少ない	公害が少ない	犯罪が少ない	歴史や伝統文化に恵まれている	買い物など日常生活に便利	交通の便がよい	住宅環境がよい	すなわち人情味が豊かで住みやすい	レクリエーション施設が充実している	教育・文化施設による文化活動が発達している	子どもの教育環境がよい	医療・福祉サービスが行き届いている	その他	不明・無回答	
合計	887	358	661	147	210	194	215	2	3	153	169	2	3	68	15	35	2	
	100.0%	40.4%	74.5%	16.6%	23.7%	21.9%	24.2%	0.2%	0.3%	17.2%	19.1%	0.2%	0.3%	7.7%	1.7%	3.9%	0.2%	
年代別	20～24歳	39	31	31	-	6	12	5	-	3	7	-	-	7	-	2	-	
		100.0%	79.5%	79.5%	-	15.4%	30.8%	12.8%	-	7.7%	17.9%	-	-	17.9%	-	5.1%	-	
	25～29歳	42	30	32	7	2	9	5	-	6	8	-	-	3	-	4	-	
		100.0%	71.4%	76.2%	16.7%	4.8%	21.4%	11.9%	-	14.3%	19.0%	-	-	7.1%	-	9.5%	-	
	30～34歳	45	31	31	4	7	8	9	-	13	10	-	1	8	-	1	-	
		100.0%	68.9%	68.9%	8.9%	15.6%	17.8%	20.0%	-	28.9%	22.2%	-	2.2%	17.8%	-	2.2%	-	
	35～39歳	53	26	41	5	7	10	10	-	7	10	-	-	10	-	1	-	
		100.0%	49.1%	77.4%	9.4%	13.2%	18.9%	18.9%	-	13.2%	18.9%	-	-	18.9%	-	1.9%	-	
	40～44歳	46	21	37	-	12	9	15	-	3	7	-	-	10	-	3	-	
		100.0%	45.7%	80.4%	-	26.1%	19.6%	32.6%	-	6.5%	15.2%	-	-	21.7%	-	6.5%	-	
	45～49歳	32	15	27	2	12	10	11	-	3	3	-	-	4	-	-	-	
	100.0%	46.9%	84.4%	6.3%	37.5%	31.3%	34.4%	-	9.4%	9.4%	-	-	12.5%	-	-	-		
50～54歳	55	21	39	9	15	15	17	-	5	13	-	-	3	-	3	1		
	100.0%	38.2%	70.9%	16.4%	27.3%	27.3%	30.9%	-	9.1%	23.6%	-	-	5.5%	-	5.5%	1.8%		
55～59歳	71	25	62	15	15	22	17	-	15	13	1	-	3	1	2	-		
	100.0%	35.2%	87.3%	21.1%	21.1%	31.0%	23.9%	-	21.1%	18.3%	1.4%	-	4.2%	1.4%	2.8%	-		
60～64歳	99	17	83	16	30	28	26	-	33	13	-	-	7	1	5	-		
	100.0%	17.2%	83.8%	16.2%	30.3%	28.3%	26.3%	-	33.3%	13.1%	-	-	7.1%	1.0%	5.1%	-		
65～69歳	100	21	79	19	35	20	21	1	18	15	-	-	6	2	5	-		
	100.0%	21.0%	79.0%	19.0%	35.0%	20.0%	21.0%	1.0%	18.0%	15.0%	-	-	6.0%	2.0%	5.0%	-		
70～74歳	100	30	75	17	29	21	22	-	1	21	19	-	3	3	5	1		
	100.0%	30.0%	75.0%	17.0%	29.0%	21.0%	22.0%	-	1.0%	21.0%	19.0%	-	3.0%	3.0%	5.0%	1.0%		
75歳以上	201	89	122	53	40	29	54	1	2	26	50	1	2	4	8	4	-	
	100.0%	44.3%	60.7%	26.4%	19.9%	14.4%	26.9%	0.5%	1.0%	12.9%	24.9%	0.5%	1.0%	2.0%	4.0%	2.0%	-	
居住年	昭和30年以前	244	176	137	52	40	34	61	-	1	24	59	1	6	7	6	1	
		100.0%	72.1%	56.1%	21.3%	16.4%	13.9%	25.0%	-	0.4%	9.8%	24.2%	0.4%	2.5%	2.9%	2.5%	0.4%	
	昭和31年～40年	76	33	56	22	23	19	17	-	7	11	-	-	2	-	1	-	
		100.0%	43.4%	73.7%	28.9%	30.3%	25.0%	22.4%	-	9.2%	14.5%	-	-	2.6%	-	1.3%	-	
	昭和41～50年	100	42	75	20	31	26	22	1	18	13	-	-	7	-	2	-	
		100.0%	42.0%	75.0%	20.0%	31.0%	26.0%	22.0%	1.0%	18.0%	13.0%	-	-	7.0%	-	2.0%	-	
	昭和51年～60年	258	69	213	38	61	58	58	1	1	66	46	1	1	20	5	13	1
	100.0%	26.7%	82.6%	14.7%	23.6%	22.5%	22.5%	0.4%	0.4%	25.6%	17.8%	0.4%	0.4%	7.8%	1.9%	5.0%	0.4%	
昭和61年～平成7年	103	25	90	10	26	31	25	-	1	21	20	-	1	11	2	7	-	
	100.0%	24.3%	87.4%	9.7%	25.2%	30.1%	24.3%	-	1.0%	20.4%	19.4%	-	1.0%	10.7%	1.9%	6.8%	-	
平成8年～平成17年	67	5	59	2	21	16	20	-	-	12	11	-	-	16	-	3	-	
	100.0%	7.5%	88.1%	3.0%	31.3%	23.9%	29.9%	-	-	17.9%	16.4%	-	-	23.9%	-	4.5%	-	
平成18年以降	28	5	25	2	8	9	8	-	-	5	8	-	1	4	-	3	-	
	100.0%	17.9%	89.3%	7.1%	28.6%	32.1%	28.6%	-	-	17.9%	28.6%	-	3.6%	14.3%	-	10.7%	-	
定住意向	ずっと住み続けたい	613	255	447	108	148	132	157	2	2	115	134	2	3	45	13	20	1
		100.0%	41.6%	72.9%	17.6%	24.1%	21.5%	25.6%	0.3%	0.3%	18.8%	21.9%	0.3%	0.5%	7.3%	2.1%	3.3%	0.2%
	いずれは村外へ引越したい	88	35	73	15	16	21	14	-	-	16	18	-	-	9	1	6	1
		100.0%	39.8%	83.0%	17.0%	18.2%	23.9%	15.9%	-	-	18.2%	20.5%	-	-	10.2%	1.1%	6.8%	1.1%
	すぐにも村外へ引越したい	4	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	100.0%	50.0%	25.0%	-	25.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0%	-	
引越したいが、住まざるを得ない環境にある	56	16	39	11	16	17	13	-	1	5	3	-	-	3	-	3	-	
	100.0%	28.6%	69.6%	19.6%	28.6%	30.4%	23.2%	-	1.8%	8.9%	5.4%	-	-	5.4%	-	5.4%	-	
どちらとも言えない	122	49	98	13	28	24	29	-	-	17	14	-	-	10	1	5	-	
	100.0%	40.2%	80.3%	10.7%	23.0%	19.7%	23.8%	-	-	13.9%	11.5%	-	-	8.2%	0.8%	4.1%	-	

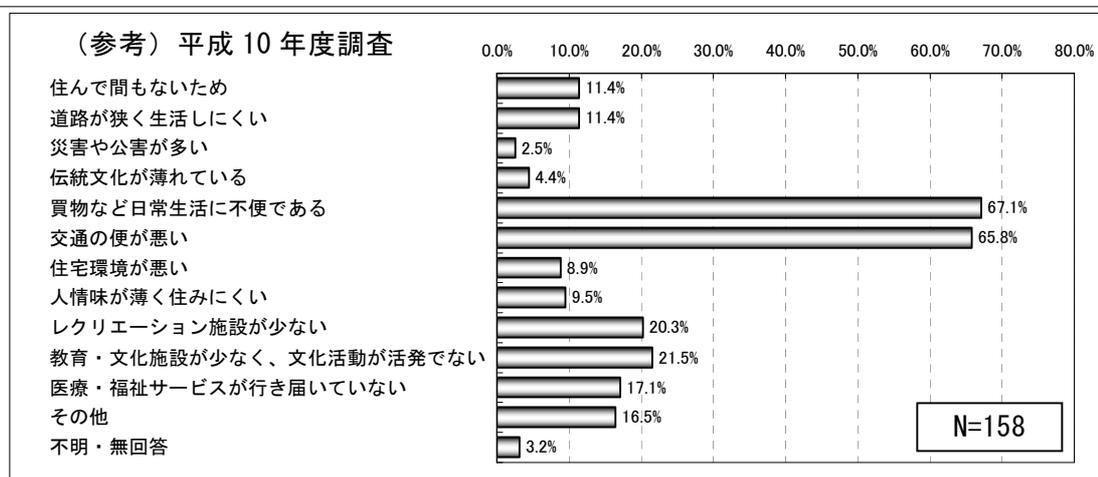
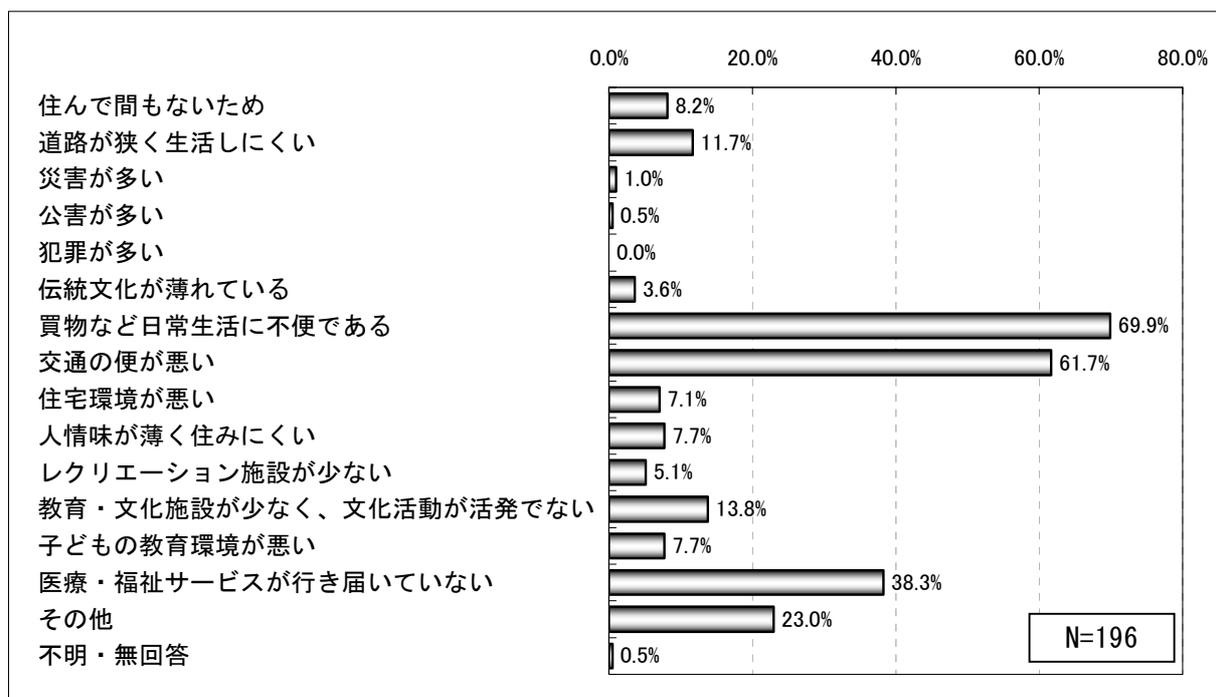
## (5) 愛着や誇りを感じない理由

問11. 問9で「4. あまり感じていない」又は「5. 感じていない」とお答えになられた方におうかがいします。愛着や誇りを感じていないのは、どのような理由からですか。  
 <〇は3つまで>

問9で「4. あまり感じていない」又は「5. 感じていない」と答えた 196 人に愛着や誇りを感じていない理由を聞いたところ、「買物など日常生活に不便である」が 69.9%でもっとも高く、「交通の便が悪い」の 61.7%とともに大きな理由になっていることがうかがえます。

平成 10 年度の調査とは選択肢が一部異なっていますが、「レクリエーション施設が少ない」、「教育・文化施設が少なく、文化活動が活発でない」については、ほぼ半減していますが、一方で「医療・福祉サービスが行き届いていない」が 17.1%から 38.3%と大幅に上昇しています。

### 問 1 1 (全体)



【各属性別】

年代別、居住年、定住意向のいずれにおいても、「買物など日常生活に不便である」と「交通の便が悪い」が大きな理由になっています。

問 1 1 (クロス集計表)

■ 第1位 ■ 第2位

	調査数	住んで間もないため	道路が狭く生活しにくい	災害が多い	公害が多い	伝統文化が薄れている	買物など日常生活に不便である	交通の便が悪い	住宅環境が悪い	人情味が薄く住みにくい	レクリエーション施設が少ない	教育・文化施設が少なく、文化活動が活発でない	子どもの教育環境が悪い	医療・福祉サービスが行き届いていない	その他	不明・無回答
合計	196	16	23	2	1	7	137	121	14	15	10	27	15	75	45	1
	100.0%	8.2%	11.7%	1.0%	0.5%	3.6%	69.9%	61.7%	7.1%	7.7%	5.1%	13.8%	7.7%	38.3%	23.0%	0.5%
年代別	20～24歳	6	-	-	-	1	4	5	-	1	1	1	-	1	1	-
		100.0%	-	-	-	-	66.7%	83.3%	-	16.7%	16.7%	16.7%	-	16.7%	16.7%	-
	25～29歳	15	4	3	-	-	9	9	1	1	1	3	1	1	4	-
		100.0%	26.7%	20.0%	-	-	60.0%	60.0%	6.7%	6.7%	6.7%	20.0%	6.7%	6.7%	26.7%	-
	30～34歳	22	4	1	-	1	15	11	3	3	1	1	3	7	4	-
		100.0%	18.2%	4.5%	-	4.5%	68.2%	50.0%	13.6%	13.6%	4.5%	4.5%	13.6%	31.8%	18.2%	-
	35～39歳	13	2	-	-	-	8	9	-	-	-	-	2	3	6	-
		100.0%	15.4%	-	-	-	7.7%	61.5%	69.2%	-	-	-	15.4%	23.1%	46.2%	-
	40～44歳	15	1	4	-	-	11	8	1	2	1	1	2	6	3	-
		100.0%	6.7%	26.7%	-	-	73.3%	53.3%	6.7%	13.3%	6.7%	6.7%	13.3%	40.0%	20.0%	-
	45～49歳	17	-	1	1	-	14	15	1	-	-	3	3	5	5	-
		100.0%	-	5.9%	5.9%	-	82.4%	88.2%	5.9%	-	-	17.6%	17.6%	29.4%	29.4%	-
	50～54歳	13	1	3	1	-	7	9	-	-	2	2	2	5	5	-
	100.0%	7.7%	23.1%	7.7%	-	53.8%	69.2%	-	-	15.4%	15.4%	15.4%	38.5%	38.5%	-	
55～59歳	20	-	2	-	-	13	10	4	2	2	3	-	9	6	-	
	100.0%	-	10.0%	-	-	65.0%	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	15.0%	-	45.0%	30.0%	-	
60～64歳	24	-	3	-	-	17	15	-	1	1	8	1	14	4	-	
	100.0%	-	12.5%	-	-	70.8%	62.5%	-	4.2%	4.2%	33.3%	4.2%	58.3%	16.7%	-	
65～69歳	18	-	-	-	-	15	10	1	-	1	3	1	12	3	-	
	100.0%	-	-	-	-	83.3%	55.6%	5.6%	-	5.6%	16.7%	5.6%	66.7%	16.7%	-	
70～74歳	15	1	1	-	-	11	10	-	-	-	1	-	7	3	1	
	100.0%	6.7%	6.7%	-	-	73.3%	66.7%	-	-	-	6.7%	-	46.7%	20.0%	6.7%	
75歳以上	18	3	5	-	-	13	10	3	5	-	1	-	5	1	-	
	100.0%	16.7%	27.8%	-	-	72.2%	55.6%	16.7%	27.8%	-	5.6%	-	27.8%	5.6%	-	
居住年	昭和30年以前	28	-	4	-	-	21	17	3	4	1	4	1	10	5	1
		100.0%	-	14.3%	-	-	75.0%	60.7%	10.7%	14.3%	3.6%	14.3%	3.6%	35.7%	17.9%	3.6%
	昭和31年～40年	12	-	3	2	-	8	10	-	-	-	-	1	5	4	-
		100.0%	-	25.0%	16.7%	-	66.7%	83.3%	-	-	-	-	8.3%	41.7%	33.3%	-
	昭和41～50年	21	-	3	-	2	17	14	1	2	1	3	2	15	1	-
		100.0%	-	14.3%	-	9.5%	81.0%	66.7%	4.8%	9.5%	4.8%	14.3%	9.5%	71.4%	4.8%	-
	昭和51年～60年	61	-	-	-	2	44	40	6	2	3	7	4	20	15	-
		100.0%	-	-	-	3.3%	72.1%	65.6%	9.8%	3.3%	4.9%	11.5%	6.6%	32.8%	24.6%	-
昭和61年～平成7年	31	2	8	-	-	20	17	2	3	2	9	2	16	8	-	
	100.0%	6.5%	25.8%	-	-	64.5%	54.8%	6.5%	9.7%	6.5%	29.0%	6.5%	51.6%	25.8%	-	
平成8年～平成17年	30	6	5	-	1	2	19	18	2	3	2	4	4	7	9	
	100.0%	20.0%	16.7%	-	3.3%	6.7%	63.3%	60.0%	6.7%	10.0%	6.7%	13.3%	13.3%	23.3%	30.0%	
平成18年以降	12	8	-	-	-	8	5	-	-	1	-	1	2	3	-	
	100.0%	66.7%	-	-	-	66.7%	41.7%	-	-	8.3%	-	8.3%	16.7%	25.0%	-	
定住意向	ずっと住み続けたい	24	7	3	1	-	16	12	-	1	-	1	1	7	4	1
		100.0%	29.2%	12.5%	4.2%	-	66.7%	50.0%	-	4.2%	-	4.2%	4.2%	29.2%	16.7%	4.2%
	いずれは村外へ引越したい	50	3	5	-	3	32	32	6	5	1	9	4	22	11	-
		100.0%	6.0%	10.0%	-	6.0%	64.0%	64.0%	12.0%	10.0%	2.0%	18.0%	8.0%	44.0%	22.0%	-
	すぐにも村外へ引越したい	17	1	3	-	1	9	7	3	3	1	2	1	5	4	-
	100.0%	5.9%	17.6%	-	5.9%	52.9%	41.2%	17.6%	17.6%	5.9%	11.8%	5.9%	29.4%	23.5%	-	
引越したいが、住まざるを得ない環境にある	74	3	8	1	-	55	46	1	5	4	11	4	28	21	-	
	100.0%	4.1%	10.8%	1.4%	-	74.3%	62.2%	1.4%	6.8%	5.4%	14.9%	5.4%	37.8%	28.4%	-	
どちらとも言えない	31	2	4	-	-	25	24	4	1	4	4	5	13	5	-	
	100.0%	6.5%	12.9%	-	-	80.6%	77.4%	12.9%	3.2%	12.9%	12.9%	16.1%	41.9%	16.1%	-	

※「犯罪が多い」は回答が0件だったため削除しています。

### 3. 施策ごとの満足度

問12. 次のそれぞれの項目について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。〈〇は1つずつ、計2つ〉

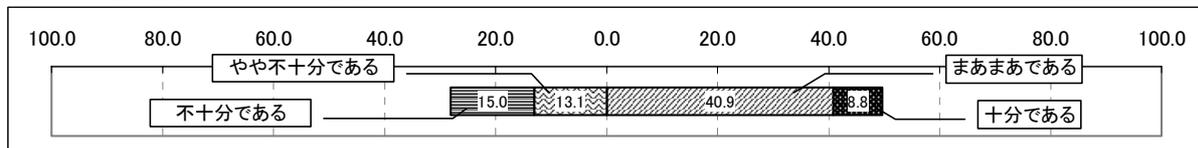
#### (1) 道路の整備

道路整備の現状の評価としては、「まあまあである」が 40.9%ともっとも高くなっています。ただし、「十分である」は8.8%と低く、「不十分である」が15.0%と高くなっており、評価の分かれるところです。今後の重要度については、「重要である」が 26.2%となるなど高くなっています。

##### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

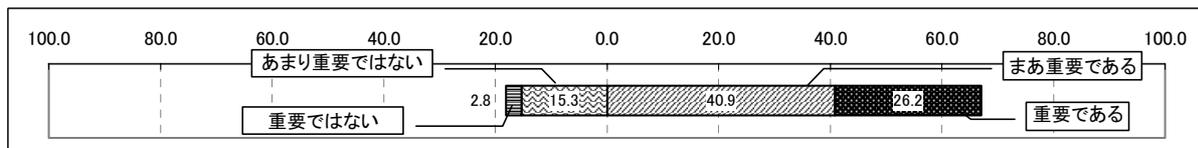
N=1,264



##### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



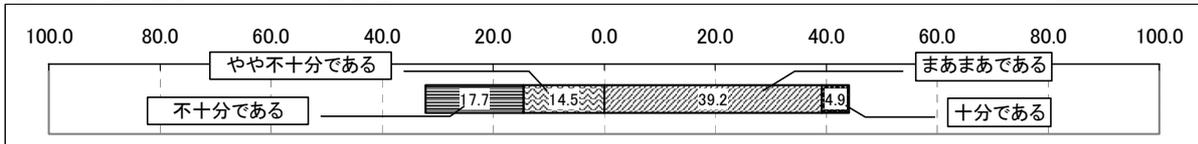
#### (2) 福祉の充実

福祉サービスの現状の評価としては、「まあまあである」が 39.2%ともっとも高くなっています。ただし、「十分である」は 4.9%、「不十分である」が 17.7%となっており、やや評価が低くなっています。今後の重要度については、「重要である」が 46.8%と高くなっています。

##### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

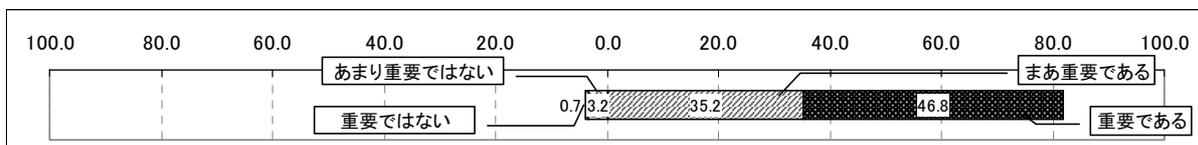
N=1,264



##### (今後の重要度)

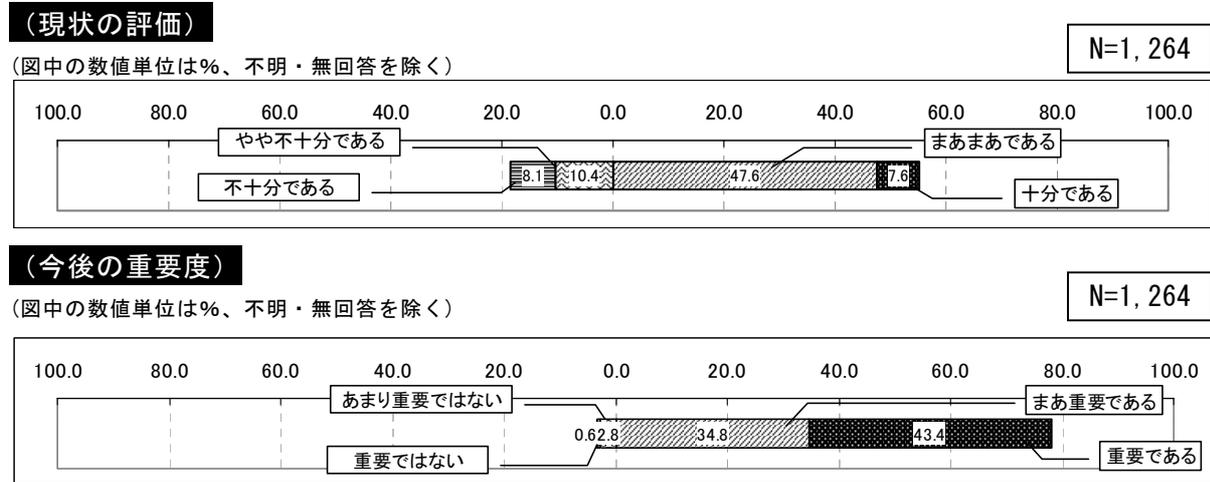
(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



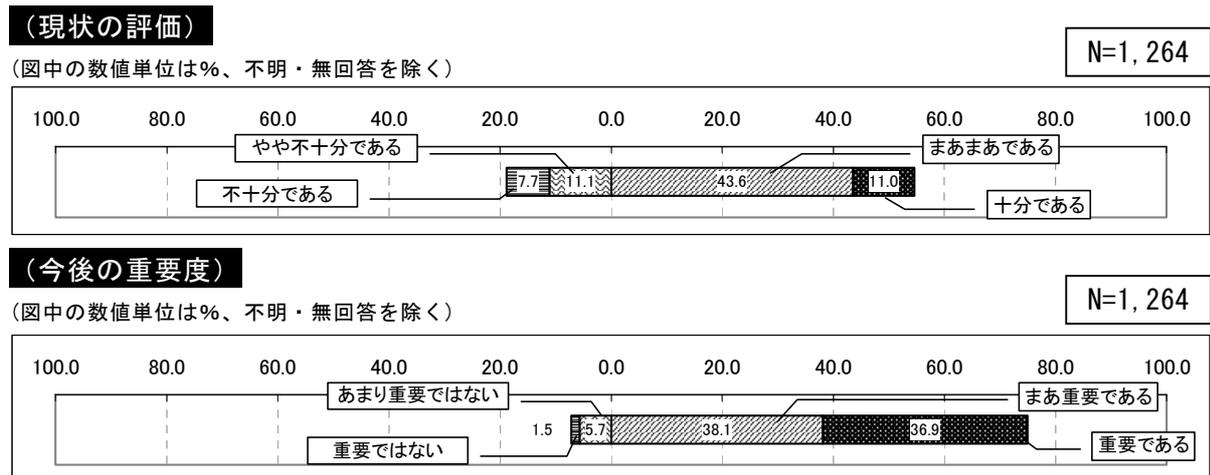
### (3) 教育の充実

教育の現状の評価としては、「まあまあである」が 47.6%と高くなっていますが、「やや不十分である」との評価も 10.4%あります。今後の重要度については、「重要である」と「まあ重要である」を合わせると8割近くとなり高くなっています。



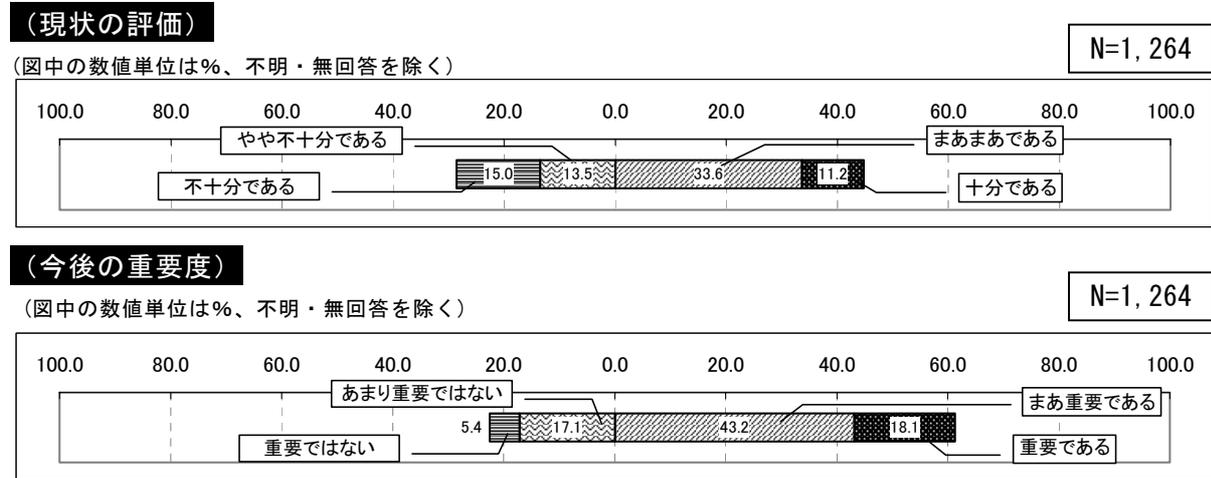
### (4) 教育施設の整備

教育施設の整備についての現状の評価は、「まあまあである」が 43.6%と高く、「十分である」も 11.0%となっていますが、「やや不十分である」との評価も 11.1%あります。今後の重要度については、「重要である」と「まあ重要である」を合わせると75%と高くなっています。



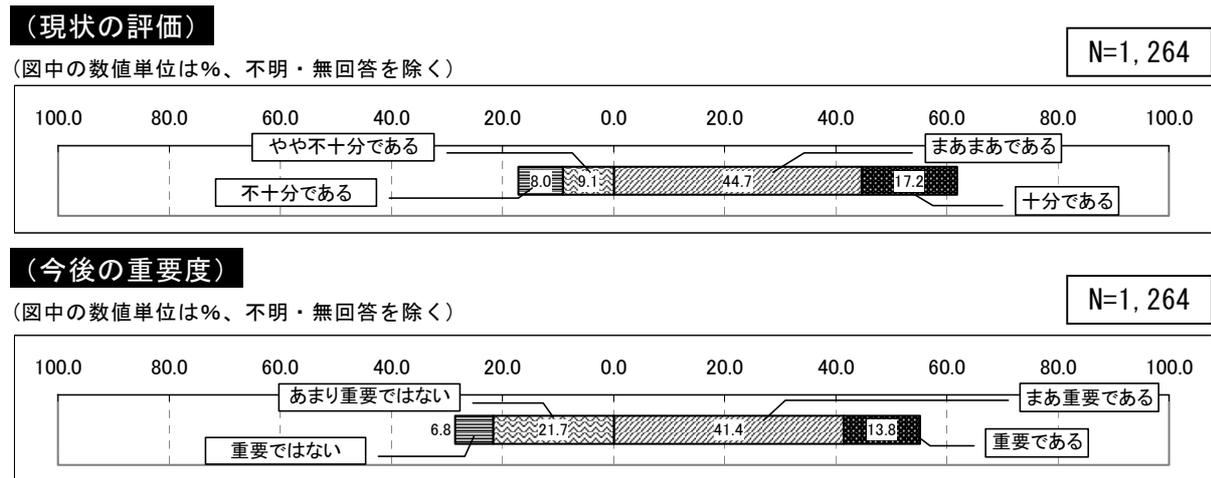
### (5) 文化施設の充実

文化施設の現状の評価としては、「不十分である」と「やや不十分である」との評価も3割近くに上り、他の施策と比べるとあまり評価は高くありません。今後の重要度については、「重要ではない」の比率が若干高くなっています。



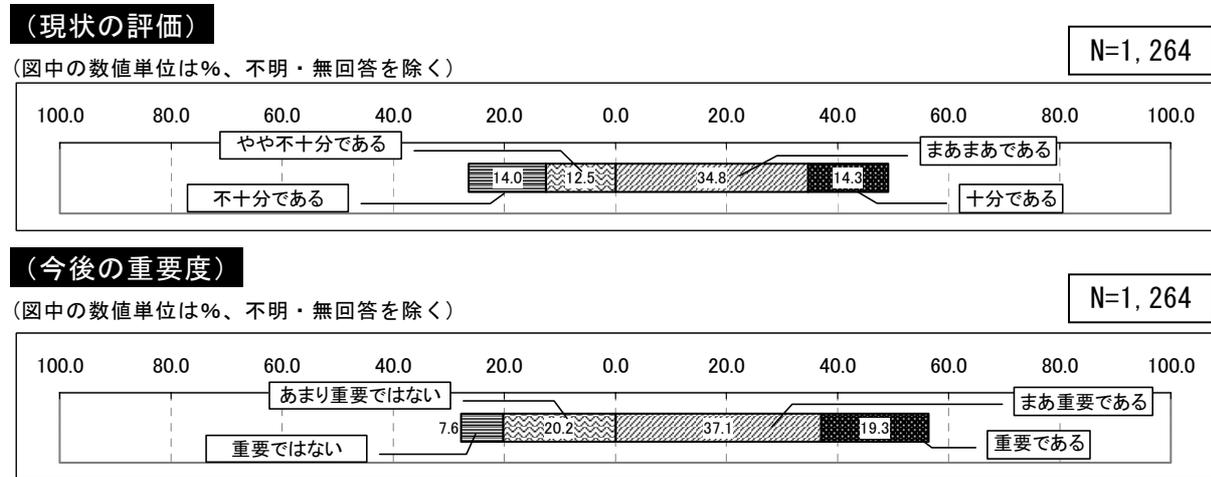
### (6) スポーツ施設の充実

スポーツ施設についての現状の評価は、「まあまあである」が44.7%と高く、「十分である」も17.2%となっており評価は高くなっています。今後の重要度については、「あまり重要ではない」が21.7%となっています。



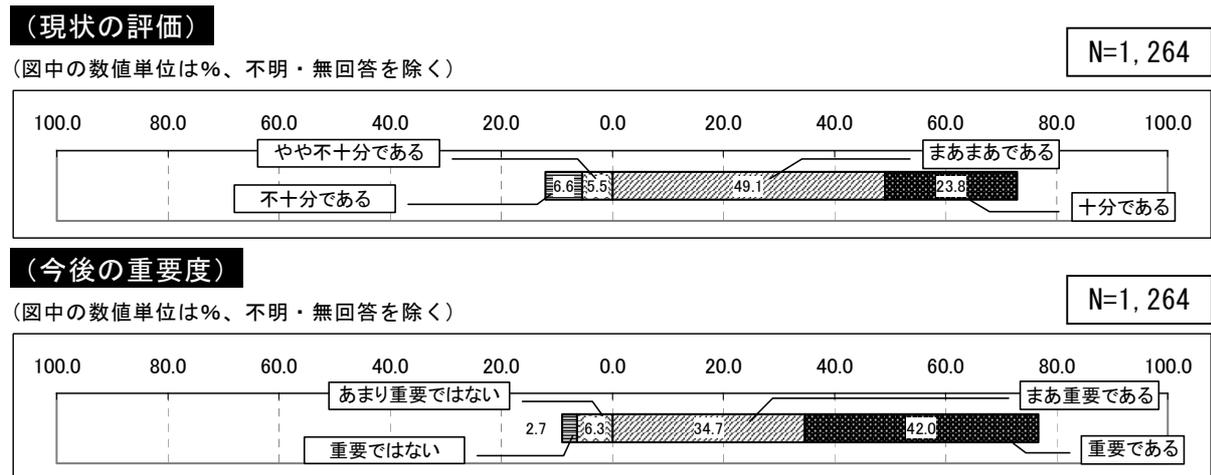
### (7) 公園・緑化対策

公園・緑化対策の現状の評価としては、「まあまあである」が 34.8%と高くなっていますが、「不十分」も高く、評価が分かれています。今後の重要度についても「まあ重要である」が高くなっていますが「重要ではない」とする比率も高くなっています。



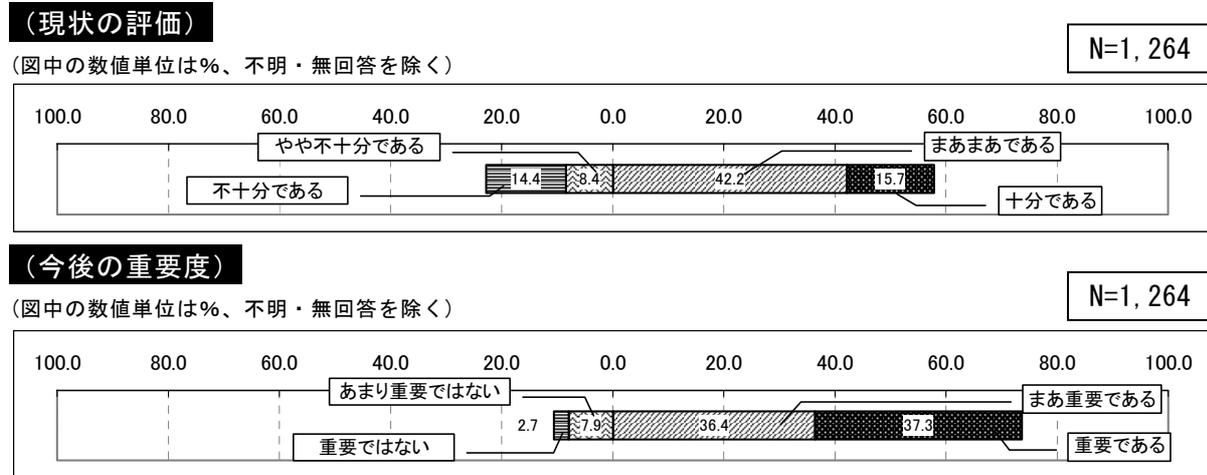
### (8) 上水道対策

上水道についての現状の評価は、「まあまあである」と「十分である」を合わせると7割を超えるなど評価は高くなっています。ただし、今後についても引き続き重要とする比率が高くなっています。



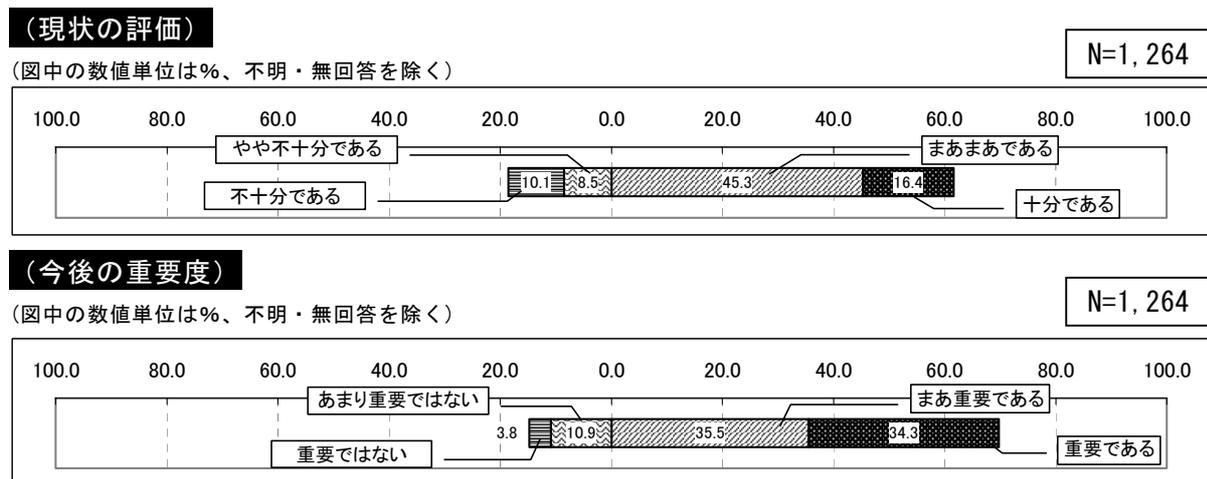
### (9) 下水道対策

下水道の現状の評価は、上水道に比べると低く、「不十分である」も 14.4%と高くなっています。今後の重要度については、上水道と同様に高くなっています。



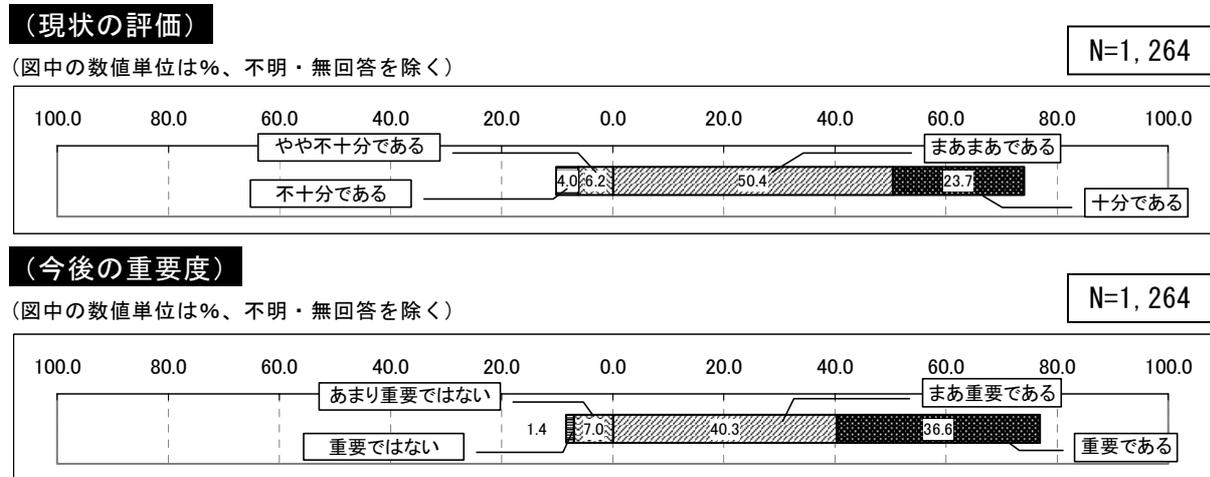
### (10) 公害対策

公害対策についての現状の評価は、「まあまあである」が 45.3%と高く、「十分である」も 16.4%となっています。今後の重要度については、「重要である」と「まあ重要である」を合わせると約 70%と高く、公害対策は現状でも十分ではあるが今後も重要となっています。



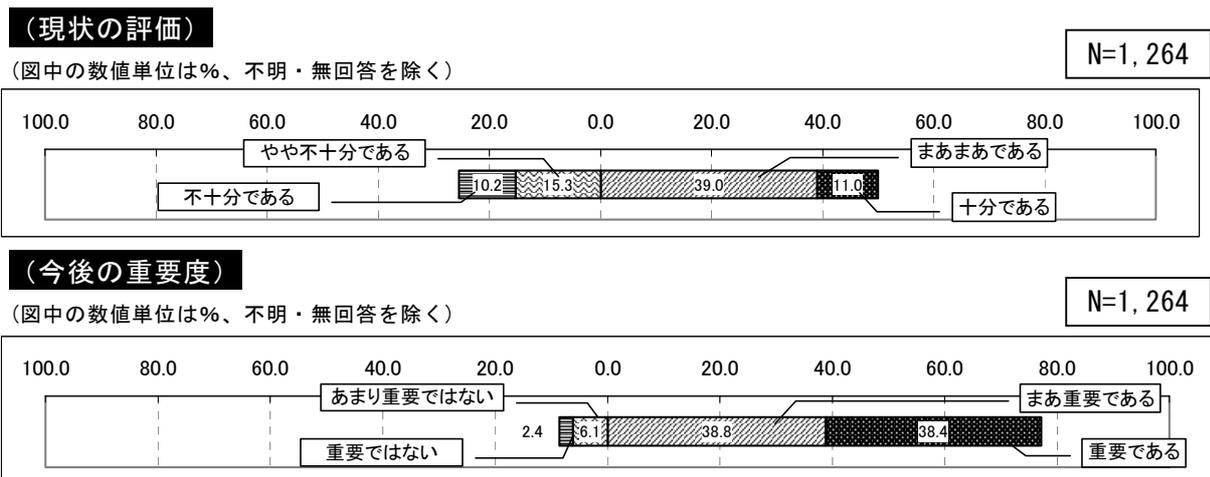
### (11) 環境衛生対策

環境衛生対策についても現状の評価の「十分である」と「まあまあである」、今後の重要度の「重要である」、「まあ重要である」を合わせると、ともに7割を超え高くなっています。



### (12) 交通安全対策

交通安全対策についての現状の評価は、「まあまあである」が 39.0%ですが、「十分である」も 11.0%となっていますが、「不十分である」と「やや不十分である」との評価も合わせると 25.5%あります。今後の重要度については、「重要である」と「まあ重要である」を合わせると8割近くに上ります。



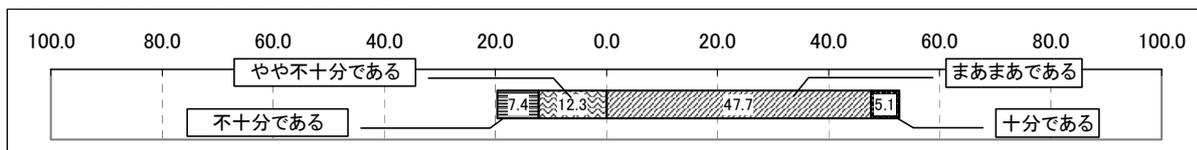
### (13) 青少年対策

青少年対策の現状の評価としては、「まあまあである」が 47.7%と高くなっていますが、「十分である」は 5.1%と低く、「やや不十分である」との評価も 12.3%あります。今後の重要度については、「重要である」と「まあ重要である」を合わせると7割を超え、重要度が高いことがわかります。

#### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

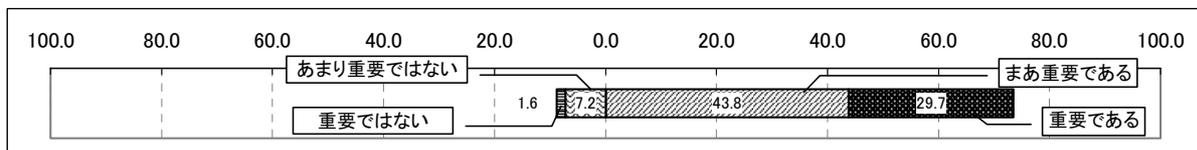
N=1,264



#### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



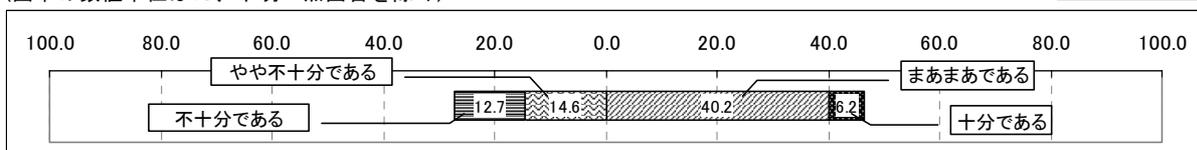
### (14) 防災対策

防災についての現状の評価は、「まあまあである」が高くなっていますが、「不十分である」も 12.7%となっており、評価が分かれています。今後の重要度については、「重要である」と「まあ重要である」を合わせると8割を超え高くなっています。

#### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

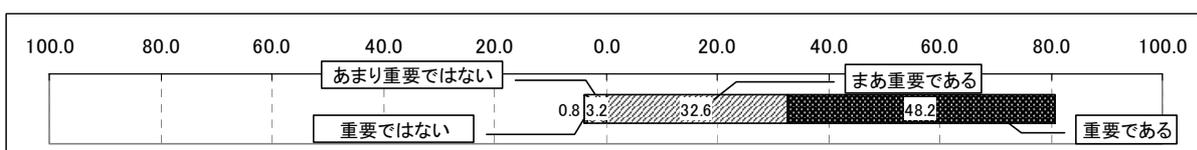
N=1,264



#### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



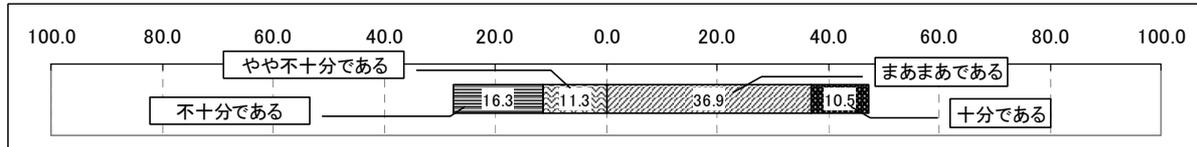
### (15) 住宅対策

住宅対策についての現状の評価は、「まあまあである」を除くと「不十分である」とする比率が高く評価が分かれています。今後の重要度についても、「重要である」とする比率が高いものの、「あまり重要ではない」とする比率が他の施策より若干高くなっています。

#### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

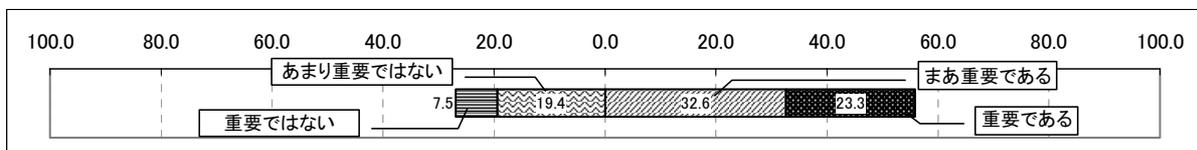
N=1,264



#### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



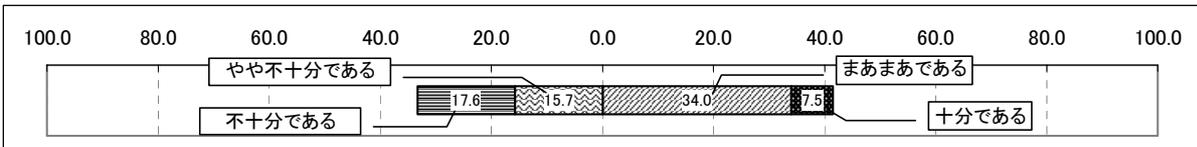
### (16) 保健・医療の充実

保健・医療についての現状の評価は、「まあまあである」であるを除くと、「不十分である」という比率が高く、評価としては低い結果になっています。今後の重要度についても、「重要である」が半数を超え高くなっています。

#### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

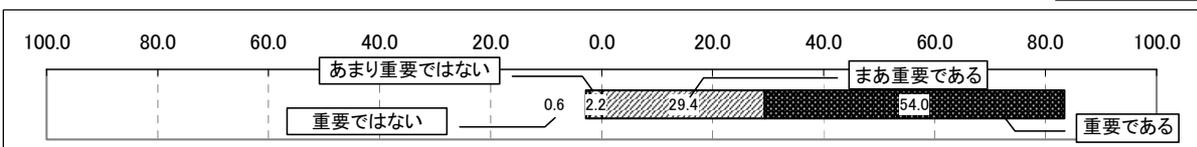
N=1,264



#### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



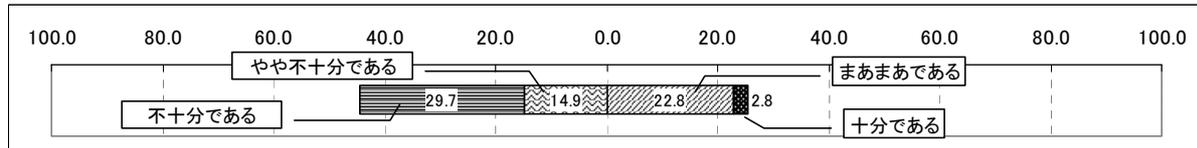
### (17) 産業の振興

産業の振興の現状の評価としては、「不十分である」が 29.7%となっており、評価としては低くなっています。一方で、今後の重要度について、「重要である」が 40.3%となっており、評価としては低く重要度が高い結果になっています。

#### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

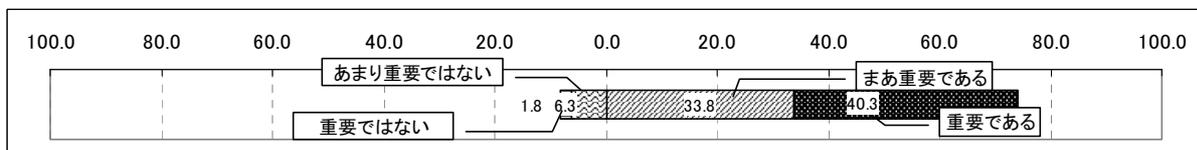
N=1,264



#### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



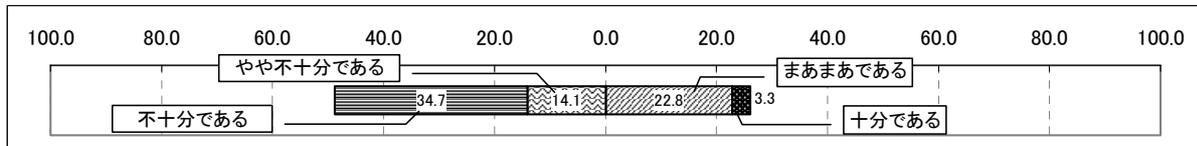
### (18) 公共交通の充実

公共交通については、「不十分である」が 34.7%と全施策の中でもっとも評価の低い結果になっています。今後の重要度についても「重要である」が 44.6%に上るなど特に期待の高い施策であることがわかります。

#### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

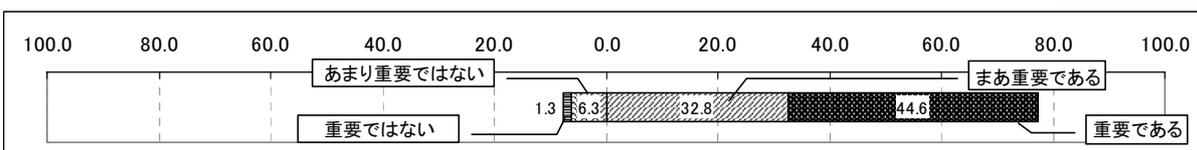
N=1,264



#### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



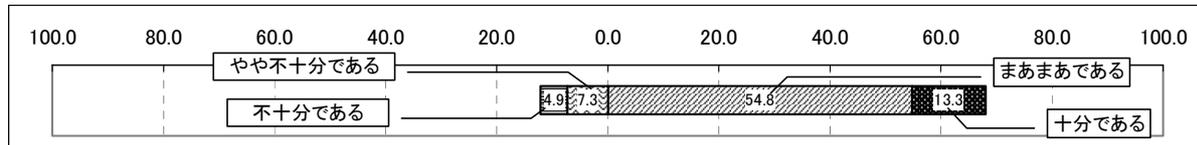
## (19) 文化財の保護

文化財の保護については、「十分である」が 13.3%、「まあまあである」も 54.8%となっており、評価としては高くなっています。今後の重要度についても、「重要である」と「まあ重要である」を合わせると6割を超えています、「あまり重要ではない」も 16.2%あります。

### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

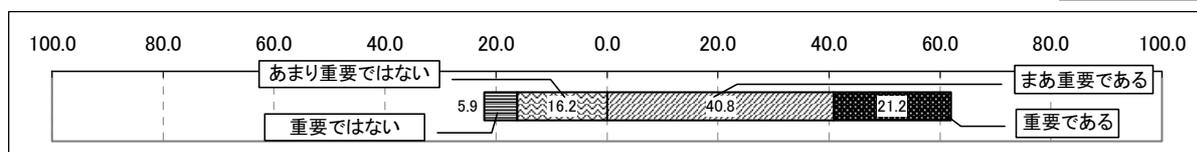
N=1,264



### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



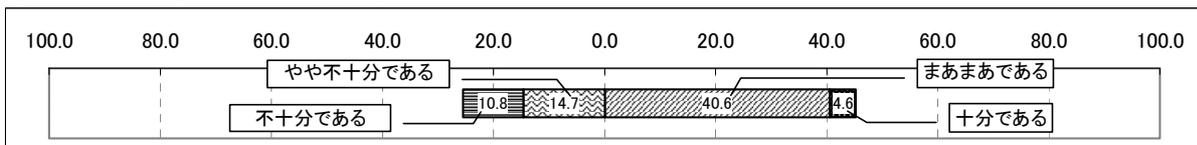
## (20) 消費者の保護

消費者保護についての現状の評価は、「まあまあである」を除くと、「十分である」が 4.6%と低く、「不十分である」が 10.8%、「やや不十分である」が 14.7%と施策の評価としては低くなっています。今後の重要度については、「重要である」が2割を超えるなど高くなっています。

### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

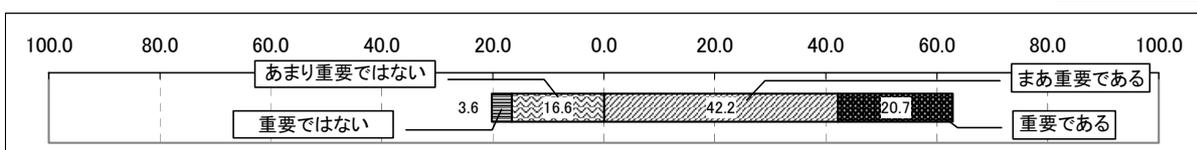
N=1,264



### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



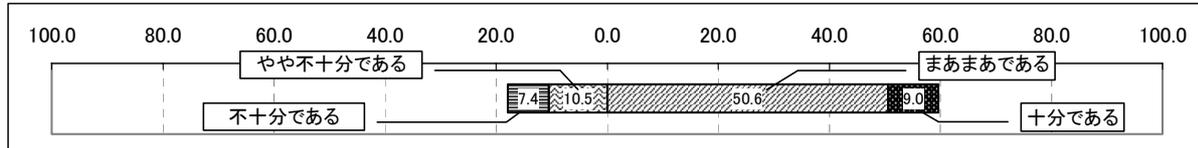
## (21) 自然環境の保護

自然環境の保護の現状の評価は、「まあまあである」が半数を超える評価となっています。しかし、今後の重要度については、「重要である」が 32.9%、「まあ重要である」も 41.9%となっており、自然環境の保護については、特に取り組みが重要と考えられています。

### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

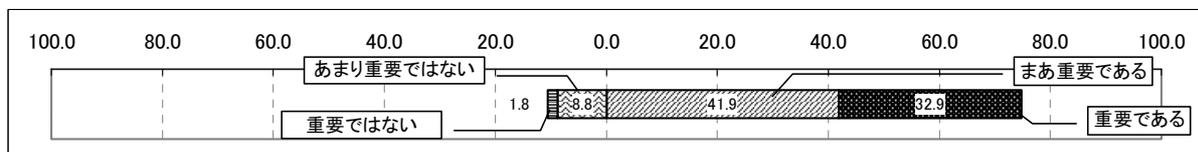
N=1,264



### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



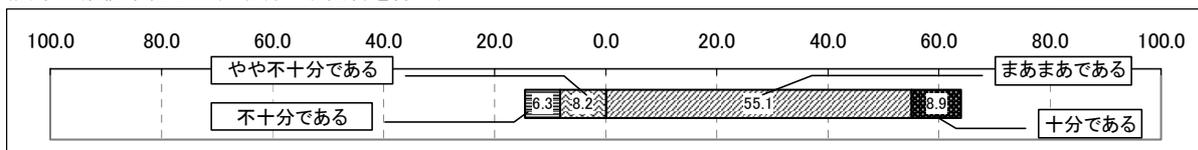
## (22) 伝統文化の保護

伝統文化の保護についても、自然環境の保護とほぼ同様の傾向にあり、施策の評価が高く重要度も高くなっています。

### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

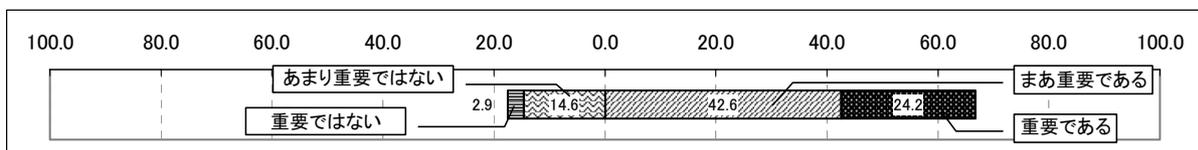
N=1,264



### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



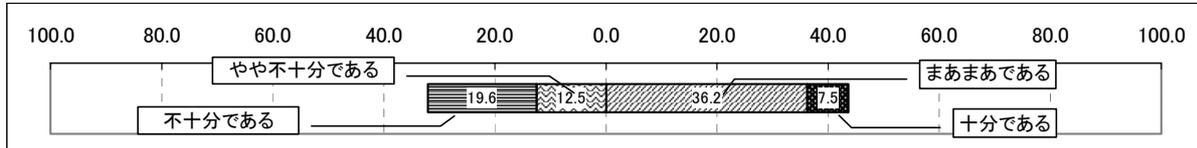
### (23) 観光の振興

観光の振興についての現状の評価としては、「まあまあである」の36.2%を除くと、「不十分である」が2割近くあり、評価としては低くなっています。今後の重要度については、「重要である」と「まあ重要である」を合わせると7割を超え、期待される施策であることがわかります。

#### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

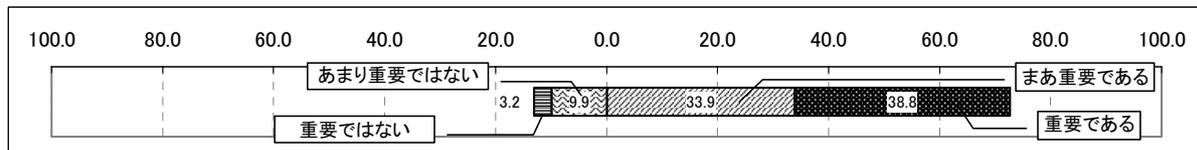
N=1,264



#### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264



### (24) その他

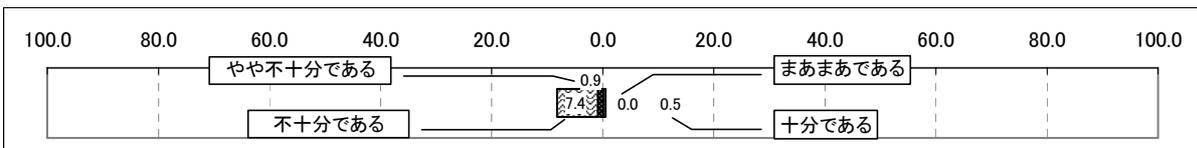
その他については、内容が詳細かつ多岐にわたり、評価も分かれています。

主に上げられた内容としては、「定住促進」「人口増加策」「企業誘致」「不便さの解消」「村の活性化」「観光施設」「村の財政」などとなっています。

#### (現状の評価)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

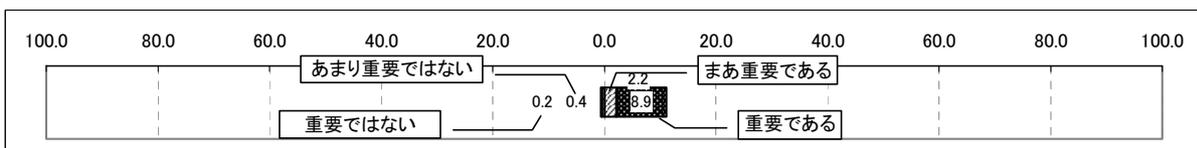
N=1,264



#### (今後の重要度)

(図中の数値単位は%、不明・無回答を除く)

N=1,264

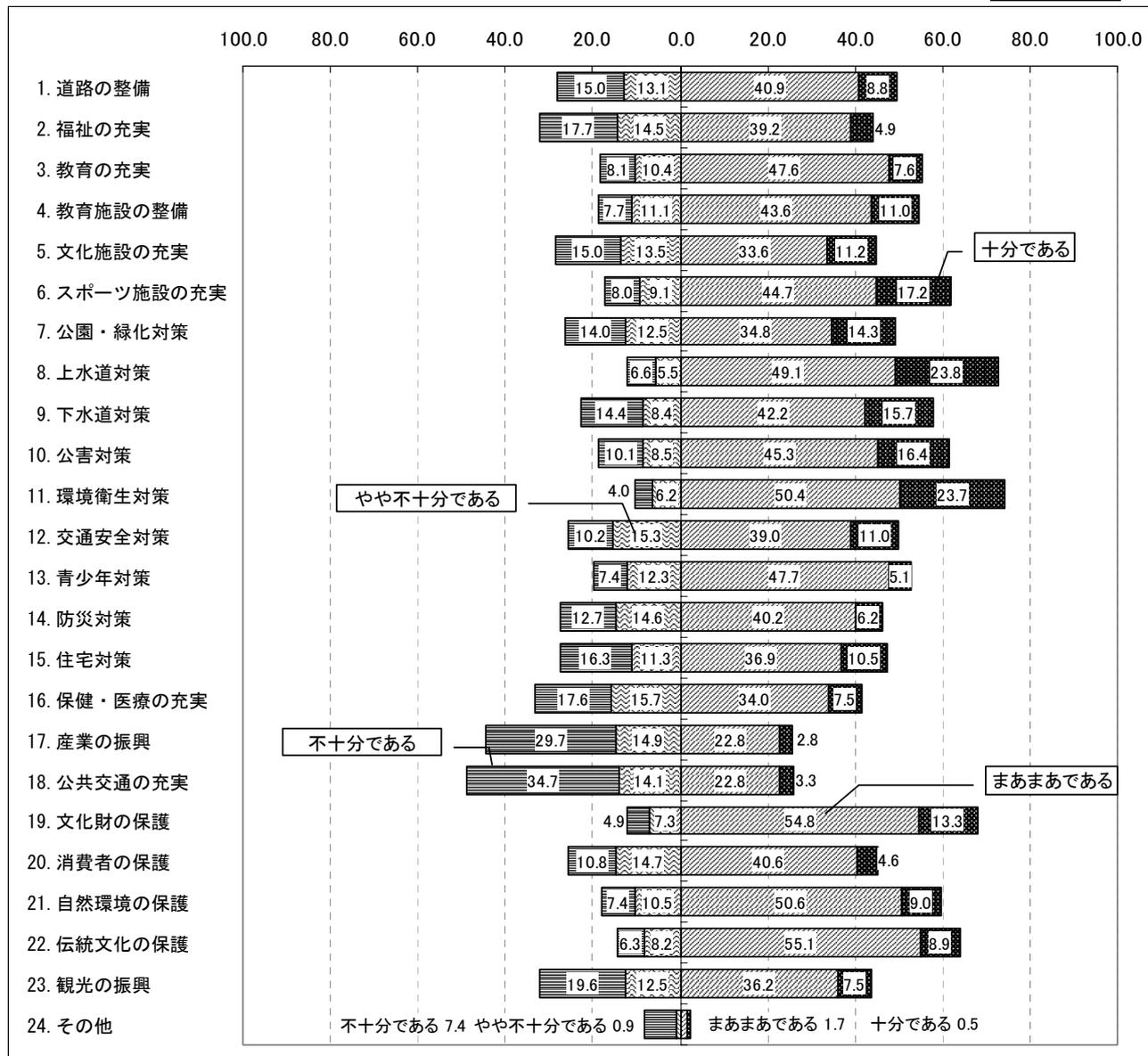


## 問 1 2. 現状の評価と今後の取り組みの重要性（一覧）

### （現状評価）

（図中の数値単位は%、不明・無回答を除く）

N=1,264



不十分 ←

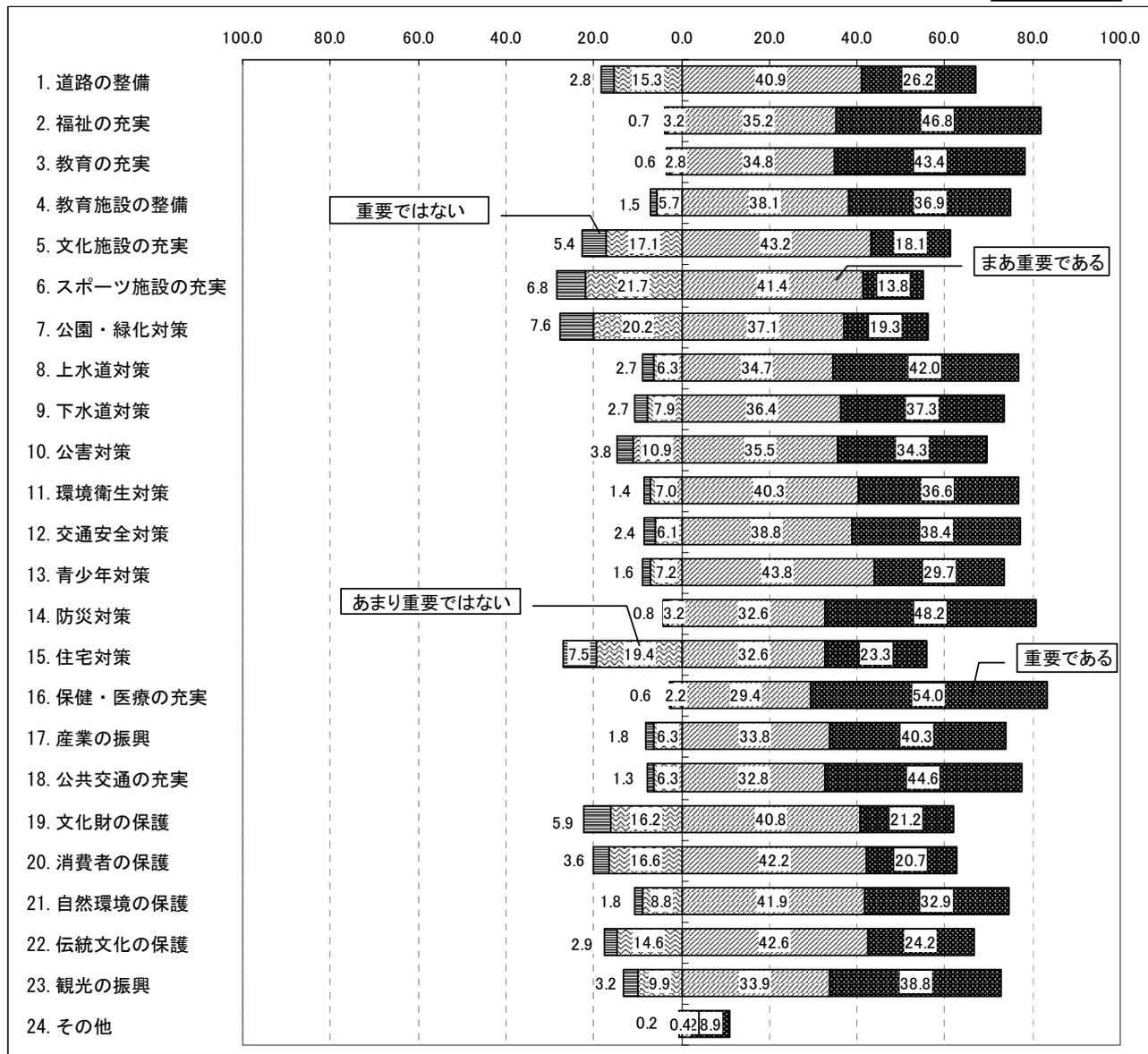
→ 十分

問 1 2. 現状の評価と今後の取り組みの重要性（一覧）

**（今後の重要性）**

（図中の数値単位は%、不明・無回答を除く）

N=1, 264

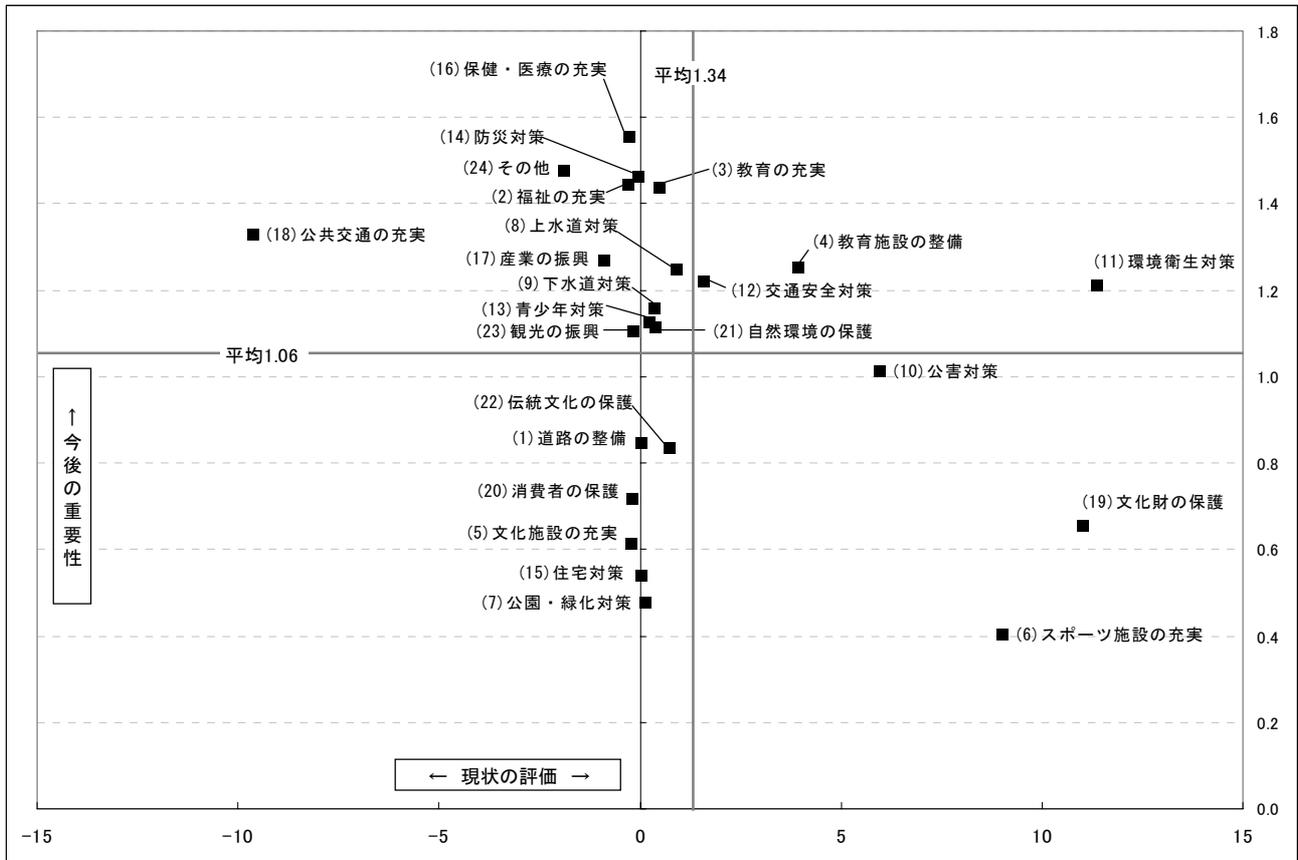


重要でない ←

→ 重要である

(参考)

### 現状の評価と今後の重要性 散布図



### (コメント)

現状の評価についてはそれぞれの件数に、「十分である」×2、「まあまあである」×1、「やや不十分である」×-1、「不十分である」×-2をそれぞれかけて合計との比率を出しています。

今後の取り組みの重要性についてもそれぞれの件数に、「重要である」×2、「まあ重要である」×1、「あまり重要ではない」×-1、「重要ではない」×-2をそれぞれかけて合計との比率を出しています。

結果として、「公共交通の充実」、「環境衛生対策」、「文化財の保護」、「スポーツ施設の充実」の4項目の現状の評価に大きな差があること、今後の重要性についてマイナスの評価が少ないことなどから、中央に集中する散布図となっています。

## 4. 今後の土地利用

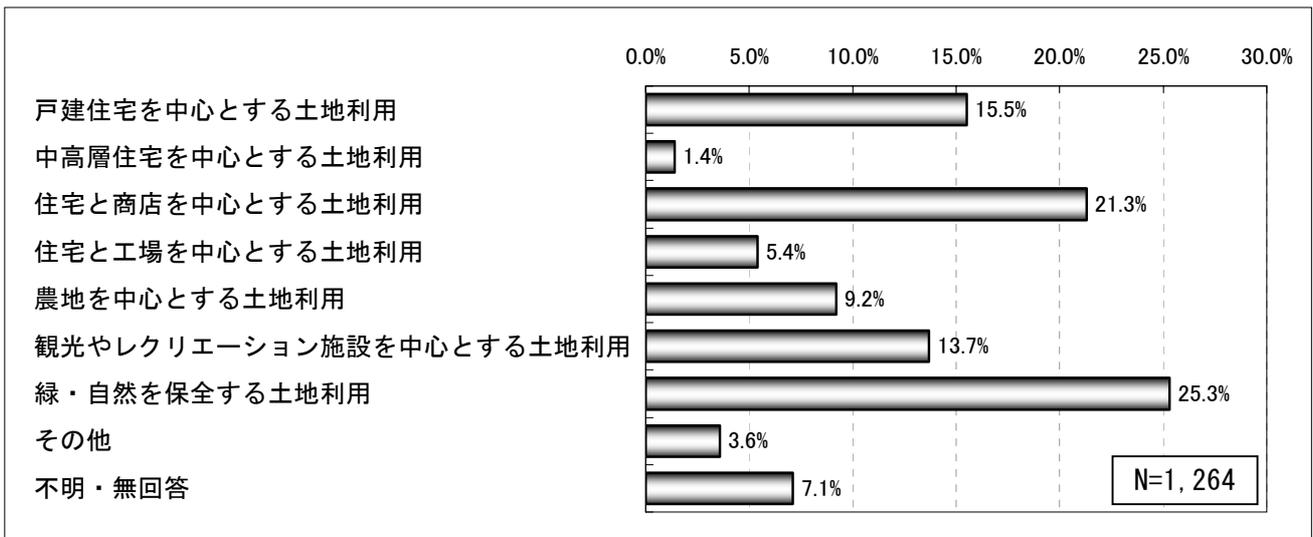
### (1) 将来の土地利用について

問13. 住んでいる地域の周辺は、将来どのような土地利用をすればよいと思いますか。  
 <○は1つ>

住んでいる周辺の将来の土地利用については、「緑・自然を保全する土地利用」が25.3%ともっとも高く、次いで「住宅と商店を中心とする土地利用」が21.3%、「戸建て住宅を中心とする土地利用」が15.5%となっています。

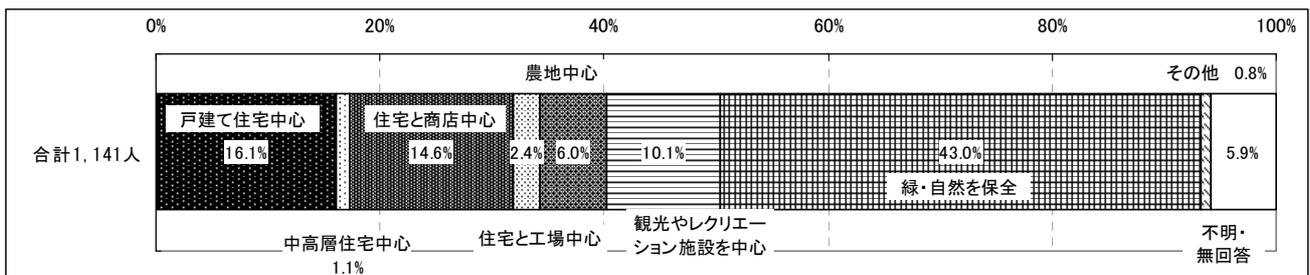
平成10年度調査と比較すると、「緑・自然を保全する土地利用」が、43.0%から25.3%へと大きく減少しています。一方で、「住宅と商店を中心とする土地利用」は7.7ポイント上がるなど、生活利便性向上のための土地利用が以前より望まれていることがうかがえます。

#### 問13 (全体)



※設問は「1つまで」でしたが、複数に○をするケースが多かったため、複数回答として集計しています。

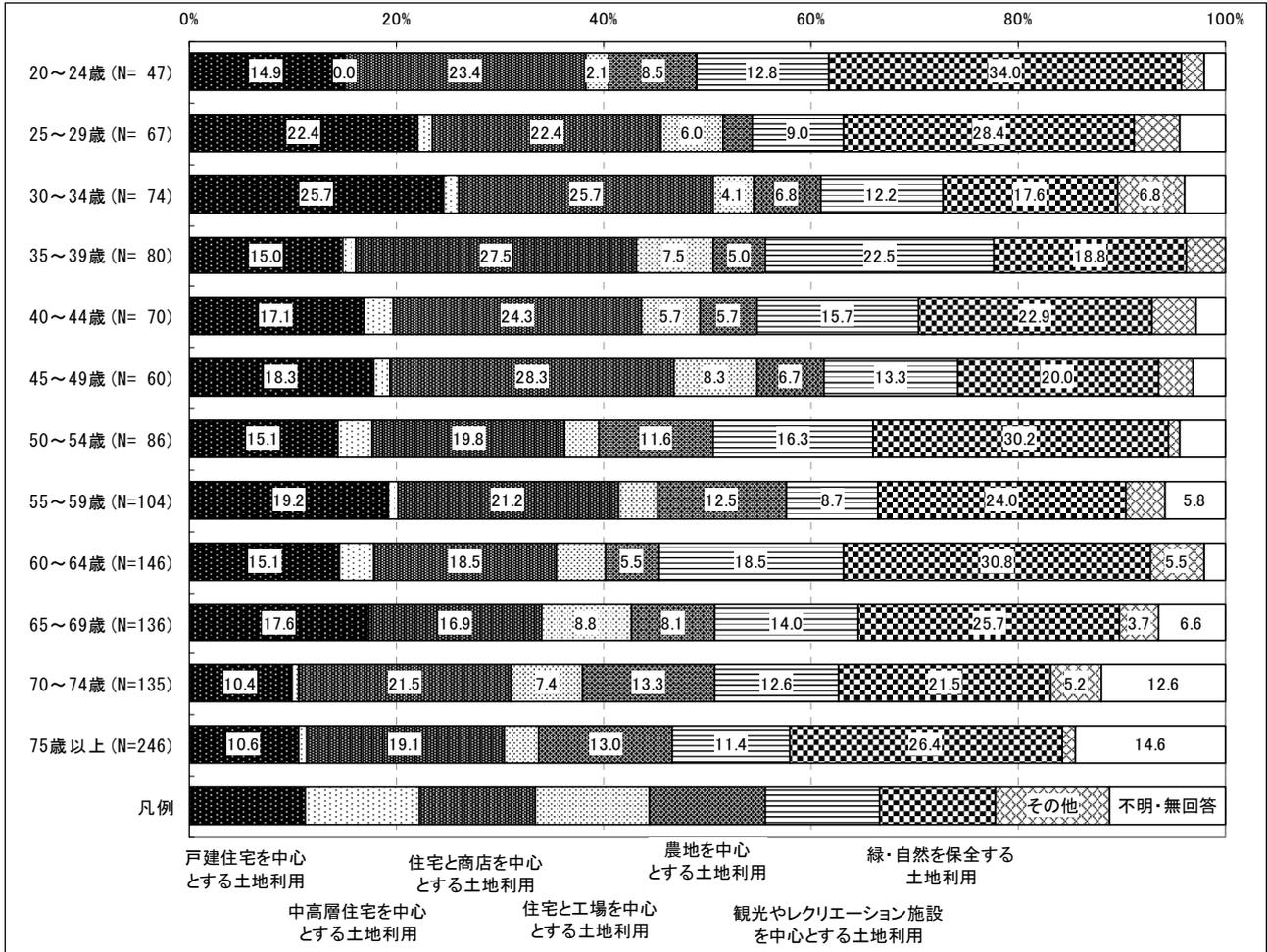
#### (参考) 平成10年度調査



**【年代別】**

- ◆ 「緑・自然を保全する土地利用」が全体的に高く、「20～24 歳」が他の年代より高くなっています。一方で、30 歳代と 40 歳代ではその比率は低く、「住宅と商店を中心とする土地利用」が第1位となっています。
- ◆ 70 歳以上では、「緑・自然を保全する土地利用」が他の年代より比較的低くなっていますが、「農地を中心とする土地利用」は比較的高くなっています。また「戸建て住宅を中心とする土地利用」も他の年代より若干低くなっています。

**問 1 3 (年代別)**



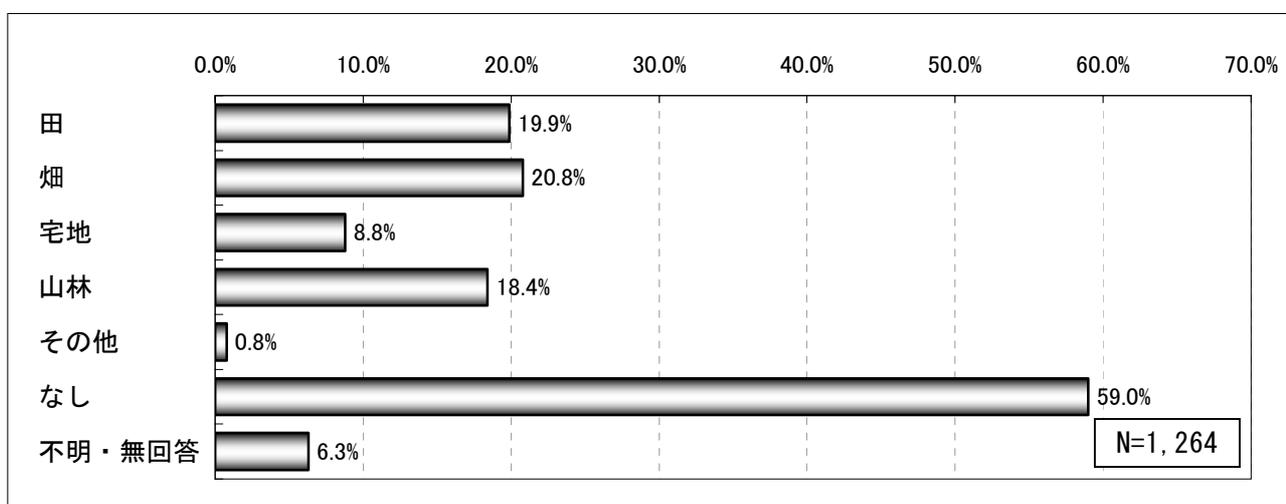
## (2) 宅地以外の村内の土地所有について

### 問14. 住宅地以外で、村内に土地をお持ちですか。〈あてはまるものすべてに○〉

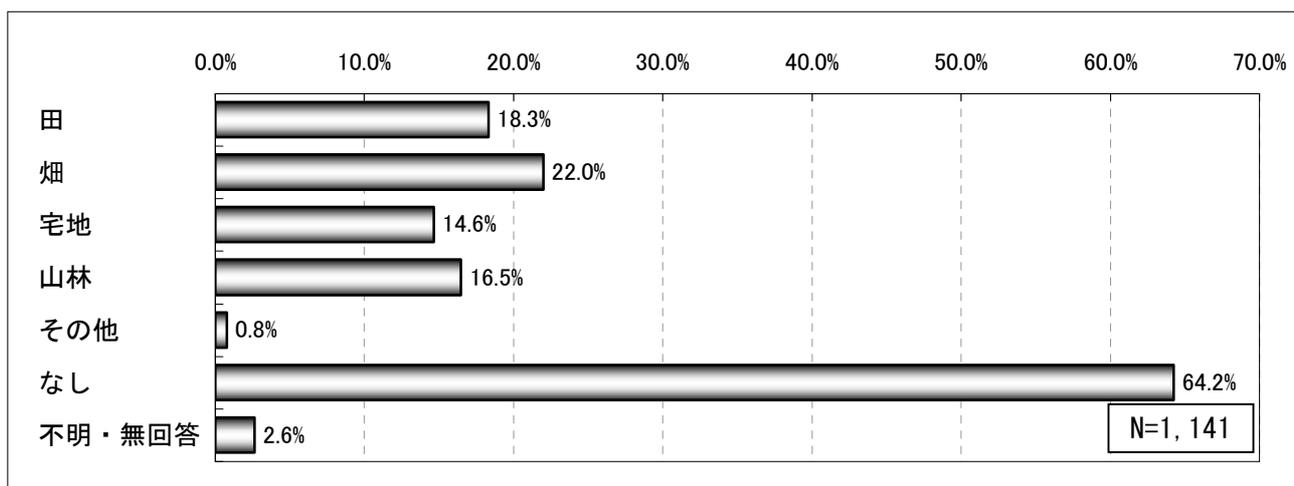
住んでいる住宅地以外の村内の土地所有については、「なし」が6割近くでもっとも高く、次いで「畑」が20.8%、「田」が19.9%、「山林」が18.4%となっています。

平成10年度調査との比較では、「なし」が5.2ポイント減少し、「宅地」は14.6%から8.8%と減少しています。

#### 問14 (全体)



#### (参考) 平成10年度調査

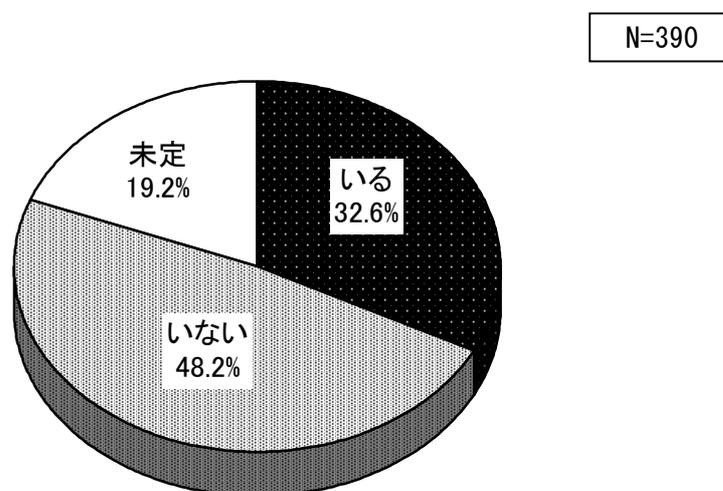


### (3) 農業後継者について

#### 問15-1. 農業を営んでいる方におうかがいします。後継者はいますか。〈〇は1つ〉

問15-1で後継者が「いる」、「いない」、「未定」のいずれかに回答した390人の内訳では、「いない」が48.2%と約半数となっています。また、「いる」との回答も3割を超えていますが、「未定」が2割となっています。

#### 問15-1 (全体)

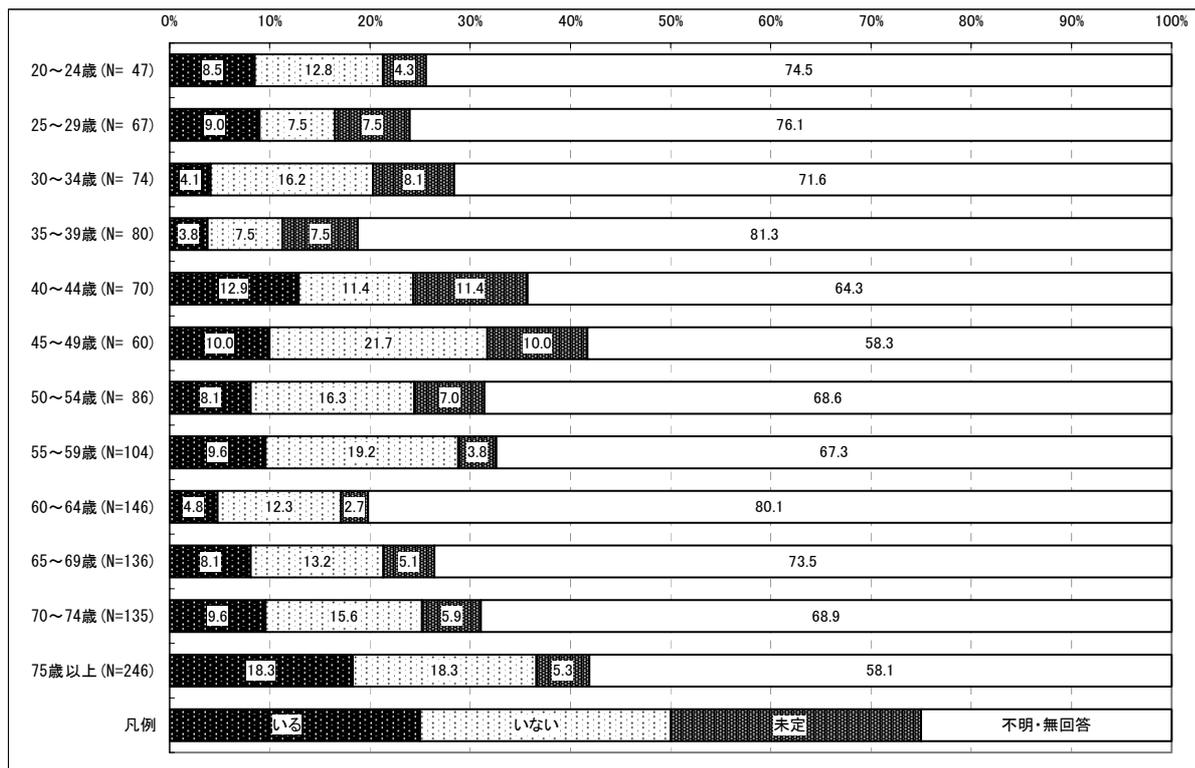


※不明・無回答を除く

#### 【年代別】

- ◆ 後継者が「いる」と回答したのは「75歳以上」が18.3%と高くなっていますが、一方で後継者が「いない」も同数となっています。また、後継者が「いる」のは30歳代と「60～64歳」では低くなっています。
- ◆ 後継者が「いない」との回答は、「45～49歳」が21.7%ともっとも高く、次いで「55～59歳」が19.2%となっています。

### 問15-1 (年代別)

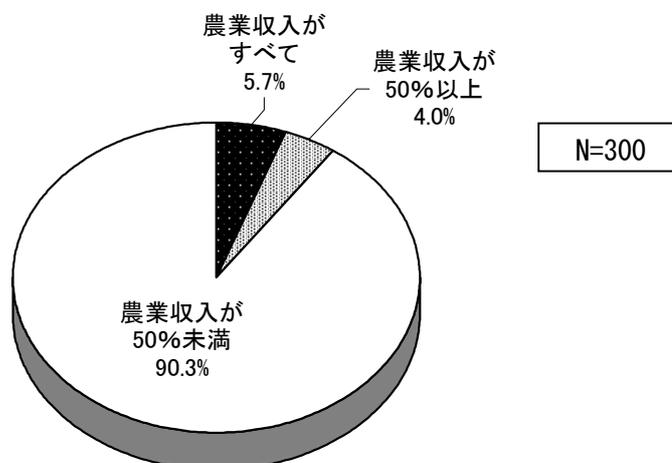


### (4) 農業収入について

#### 問15-2. 一家の収入のうち、農業収入の占める割合はどれくらいですか。〈〇は1つ〉

問15-2で「不明・無回答」を除く 300 人に一家の収入のうち、農業収入の占める割合を聞いたところ、「農業収入が 50%未満」が9割となっており、農家のほとんどが農業以外の収入が中心となっています。「農業収入がすべて」は 5.7%にとどまっています。

#### 問15-2 (全体)



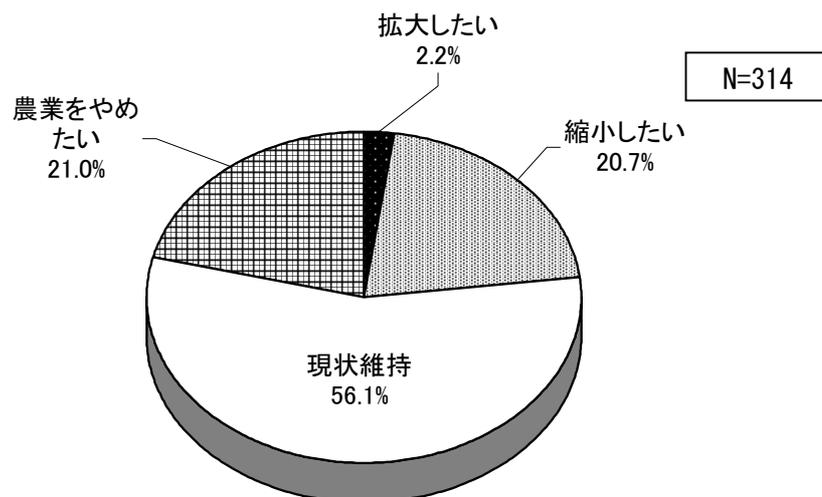
※不明・無回答を除く

## (5) 今後の農業経営の規模について

### 問15-3. 将来(5年後)の農業経営の規模をどう考えていますか。〈〇は1つ〉

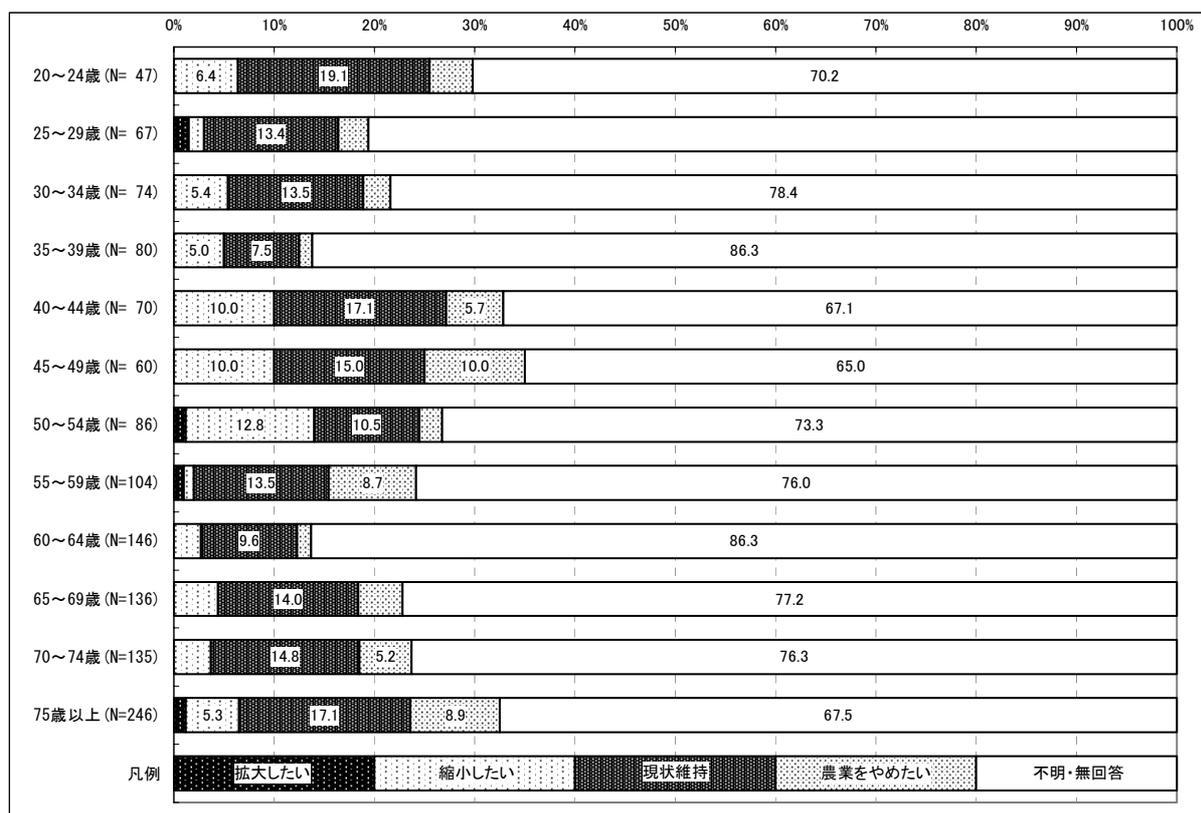
問15-2で「不明・無回答」を除く314人に将来の経営の規模について聞いたところ、「現状維持」が56.1%と半数を超え、「拡大したい」は2.2%にとどまっています。「農業をやめたい」、「縮小したい」がそれぞれ2割となっています。

#### 問15-3 (全体)



※不明・無回答を除く

#### 問15-3 (年代別)

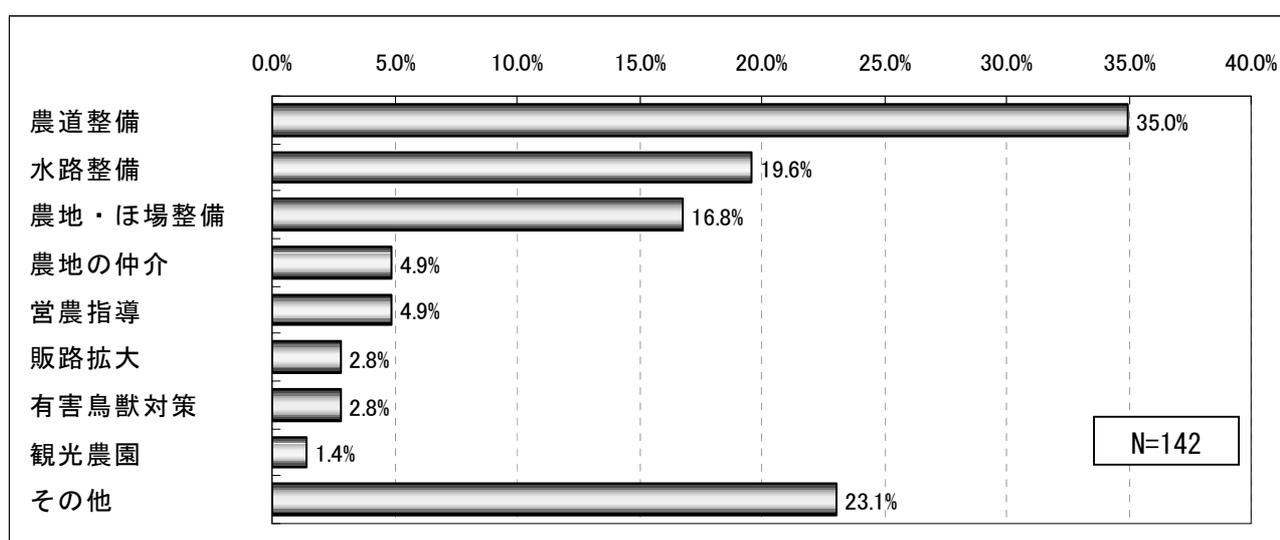


## (6) 村の農業政策について

### 問15-4. 村に農業政策としてどのようなことを期待していますか。(例:農道整備、水路整備、ほ場整備など)

問15-4で村に期待する農業政策を具体的に記入した 142 人の内容としては、「農道整備」が35.0%でもっとも高く、次いで「水路整備」が19.6%、「農地・ほ場整備」が16.8%となっています。

#### 問15-4 (全体)



## 5. 公共施設について

### (1) 公共施設などの利用頻度について

#### 問16-1. 千早赤阪村の公共施設などをどの程度利用されていますか。〈○は1つ〉

##### (利用の頻度)

##### ① 1週間に1回以上

公共施設などの利用頻度について、「1週間に1回以上」の利用は全体的に少なくなっていますが、もっとも高いのは、「いきいきサロン」の6.3%で、その他の施設はいずれも5%未満となっています。「いきいきサロン」は「全く利用したことがない」も半数以上になっていることから、アンケート回答者に占める高齢の方の比率が高いことが影響していると考えられます。

##### ② 1ヶ月に1回以上

「1ヶ月に1回以上」がもっとも高いのは、「くすのきホール図書室」で8.3%、その他では「農産物直売所」、「国保診療所」、「いきいきサロン」となっています。

##### ③ 1年間に1回以上

「1年間に1回以上」では、「保健センター」が20.9%となり5人に1人が利用していることになります。その他では、「くすのきホール大ホール」、「国保診療所」、「農産物直売所」、「役場小吹台連絡所」が15%以上となっています。

##### ④ 過去（1年以上前）に利用したのみである

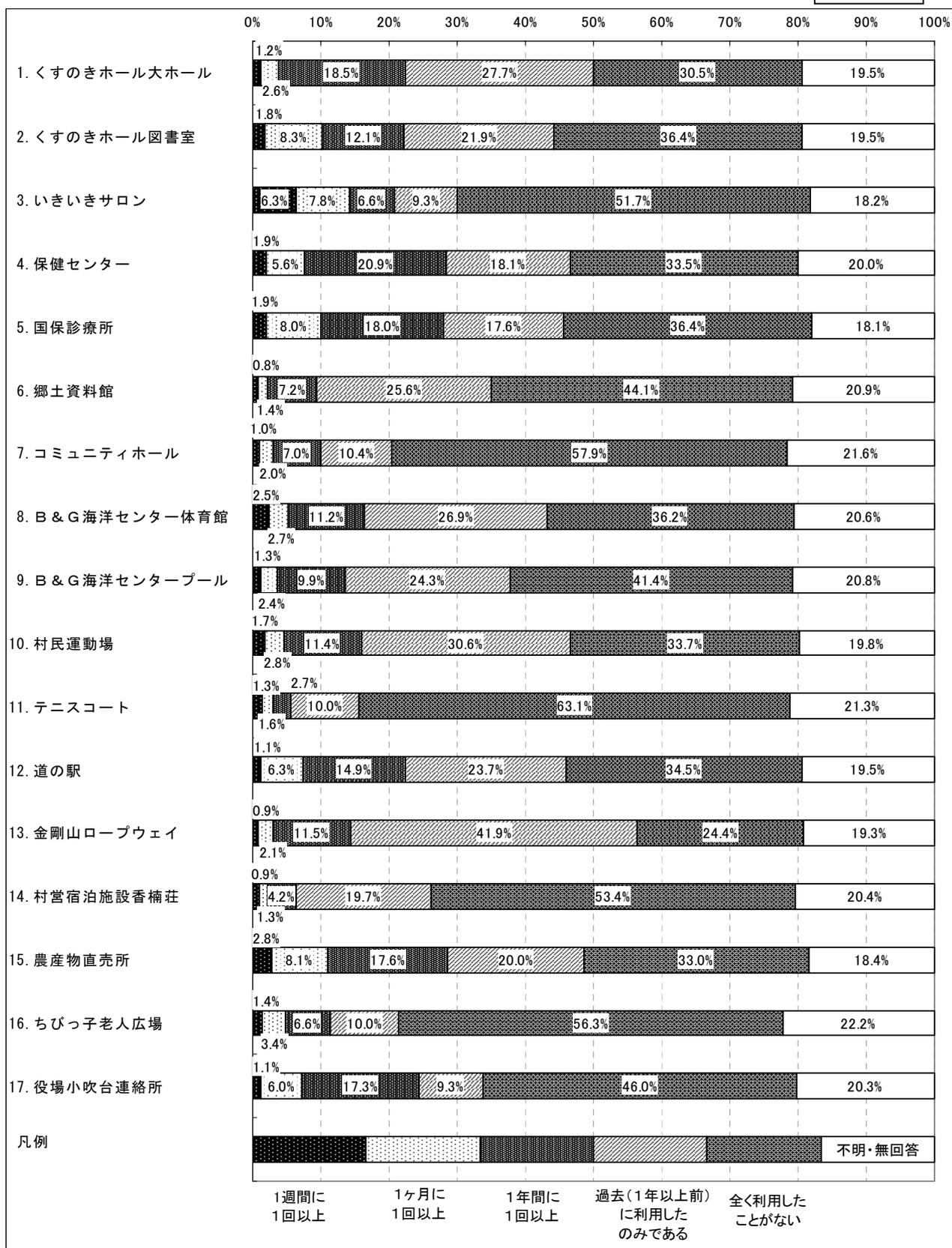
「過去に(1年以上前)に利用したのみである」のは、「金剛山ロープウェイ」が41.9%となっており、1年以内の利用と合わせると2人に1人が利用していることとなります。その他で高いのは、「村民運動場」の30.6%、「くすのきホール大ホール」の27.7%、「B&G海洋センター体育館」の26.9%、「郷土資料館」の25.6%、「B&G海洋センタープール」の24.3%となっています。

##### ⑤ 全く利用したことがない

「全く利用したことがない」のは、「テニスコート」で63.1%となっており、あまり利用されていないことがうかがえます。また、「コミュニティホール」が57.9%、「ちびっ子老人広場」が56.3%、「村営宿泊施設香楠荘」が53.4%となっています。

問16-1 (全体)

N=1,264



## (2) 公共施設などの必要度について

問16-2. 千早赤阪村の公共施設などの必要度についてどのように思いますか。〈○は1つ〉

### (施設などの必要度)

#### ①必要である

公共施設など中で、必要度の高いものとしては、「国保診療所」が 52.1%で第1位、次いで「富田林消防本部千早赤阪分署」が 50.2%、「保健センター」が 45.6%となっており、「富田林消防本部千早赤阪分署」については、「不明・無回答」を除くとさらに必要度が高くなることから、安全・安心に関わる施設の重要度が高くなっています。また、過去の利用がもっとも多い「金剛山ロープウェイ」の重要度も高くなっています。一方で過去の利用が少ない「コミュニティホール」と「テニスコート」についての必要度は低くなっています。

#### ②あってもよい

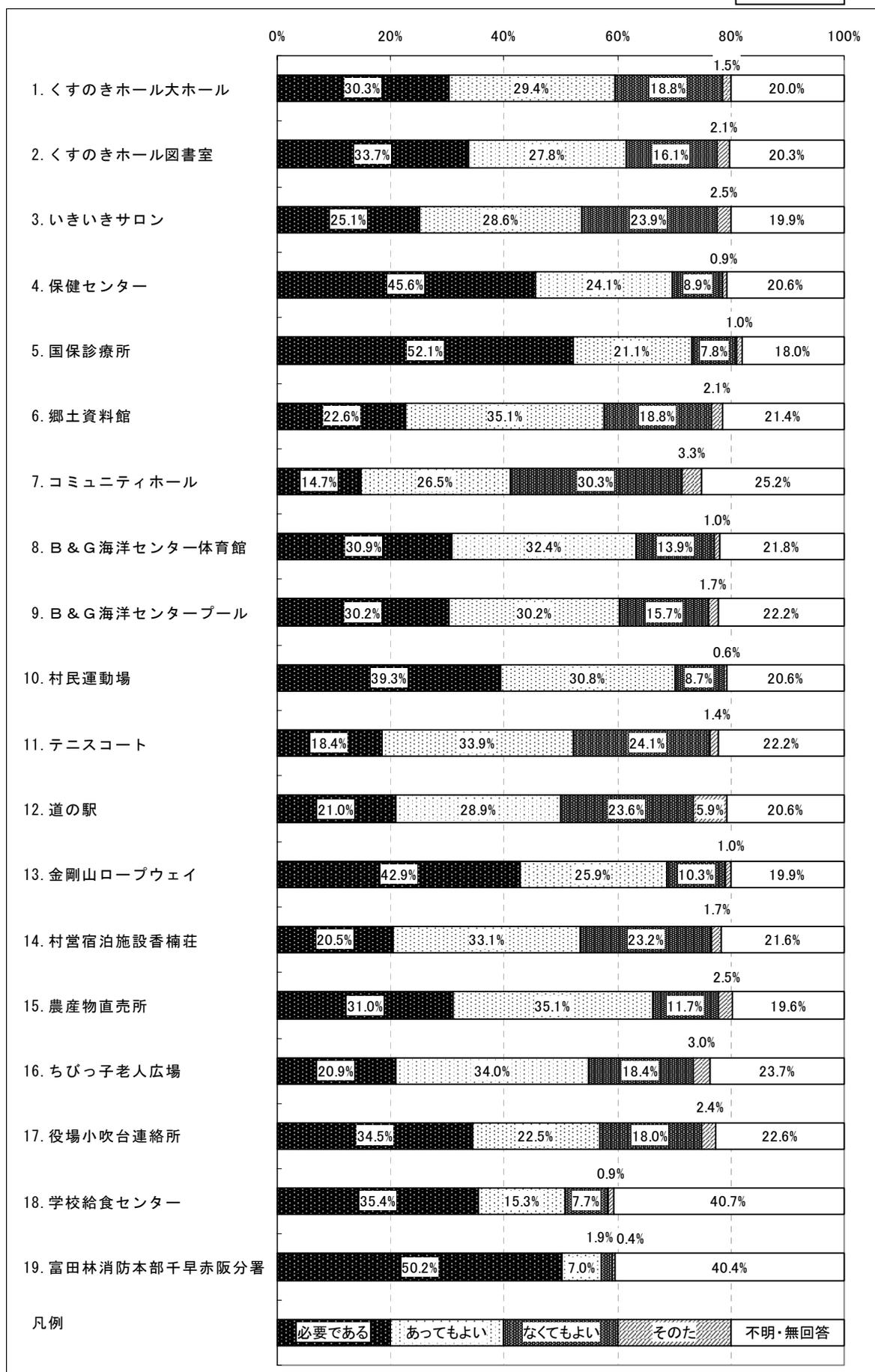
「あってもよい」とする公共施設などとしては、「郷土資料館」と「農産物直売所」が 35.1%でそれぞれもっとも高くなっています。また、利用度は低いものの「ちびっ子老人広場」も「あってもよい」が 34.0%となっています。

#### ③なくてもよい

「なくてもよい」公共施設などとして、「コミュニティホール」が 30.3%と特に高くなっています。その他で「なくてもよい」とする比率が高いのは、「テニスコート」、「いきいきサロン」、「道の駅」、「村営宿泊施設香楠荘」となっています。

問16-2 (全体)

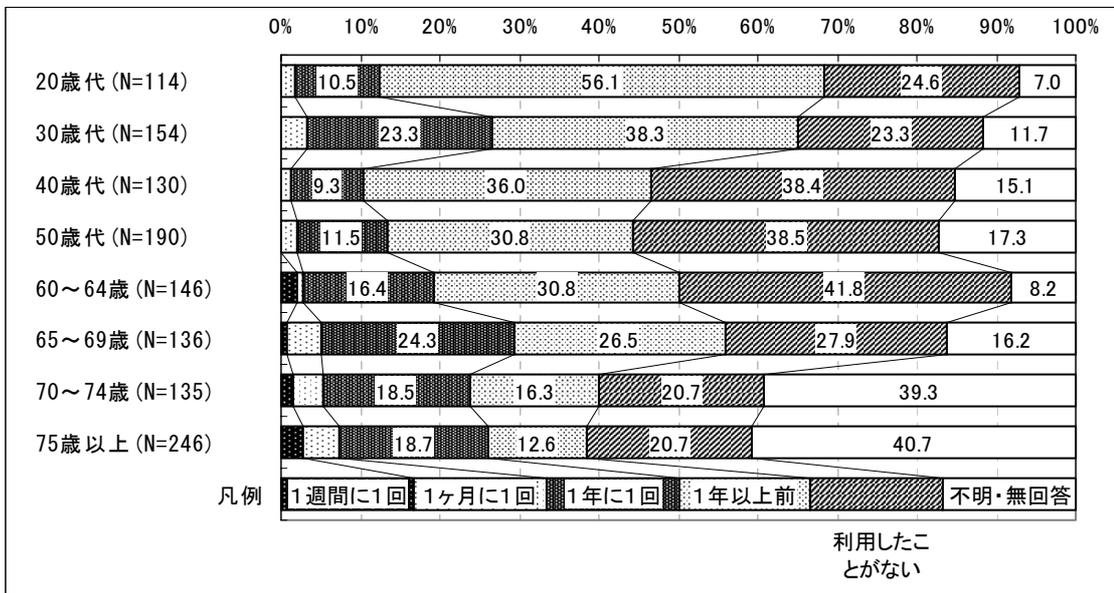
N=1,264



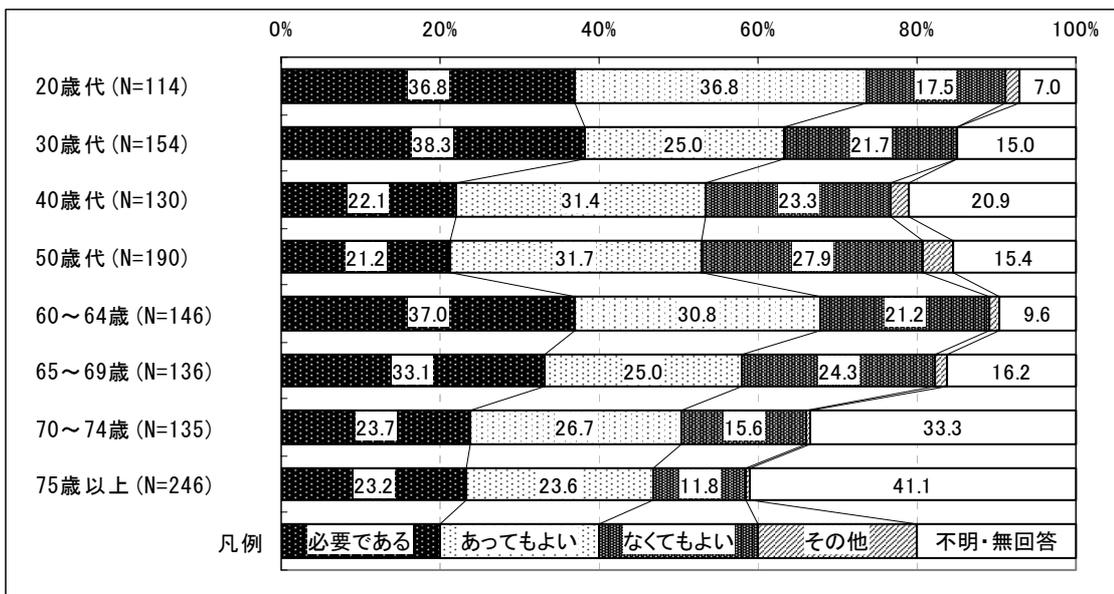
### (3) 年代別の公共施設などの利用の頻度と必要度

#### (1) くすのきホール大ホール

##### (利用の頻度)

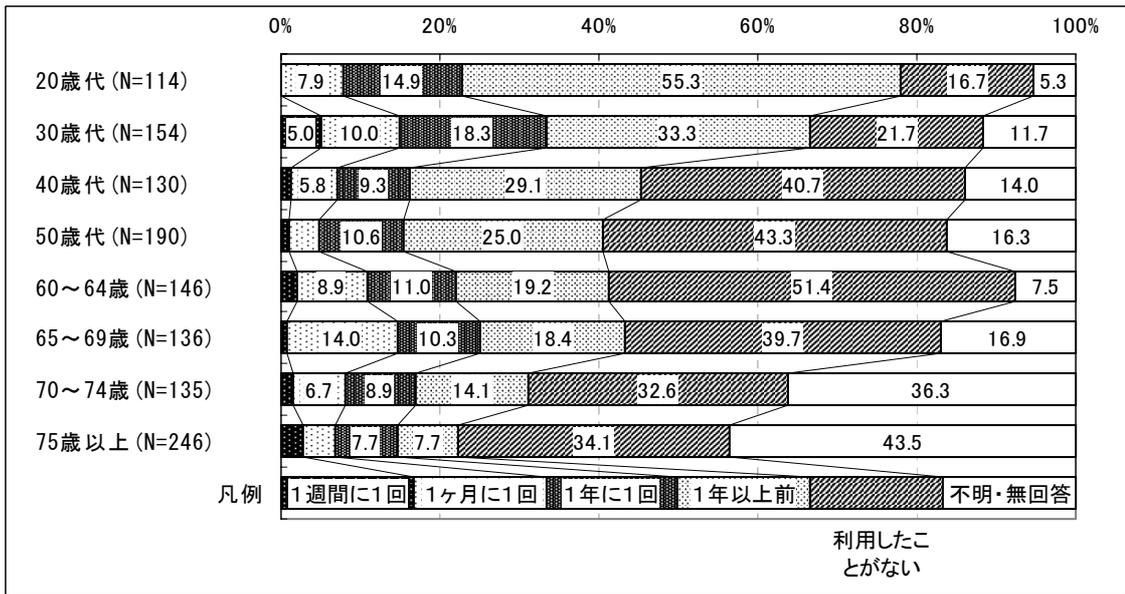


##### (施設の必要度)

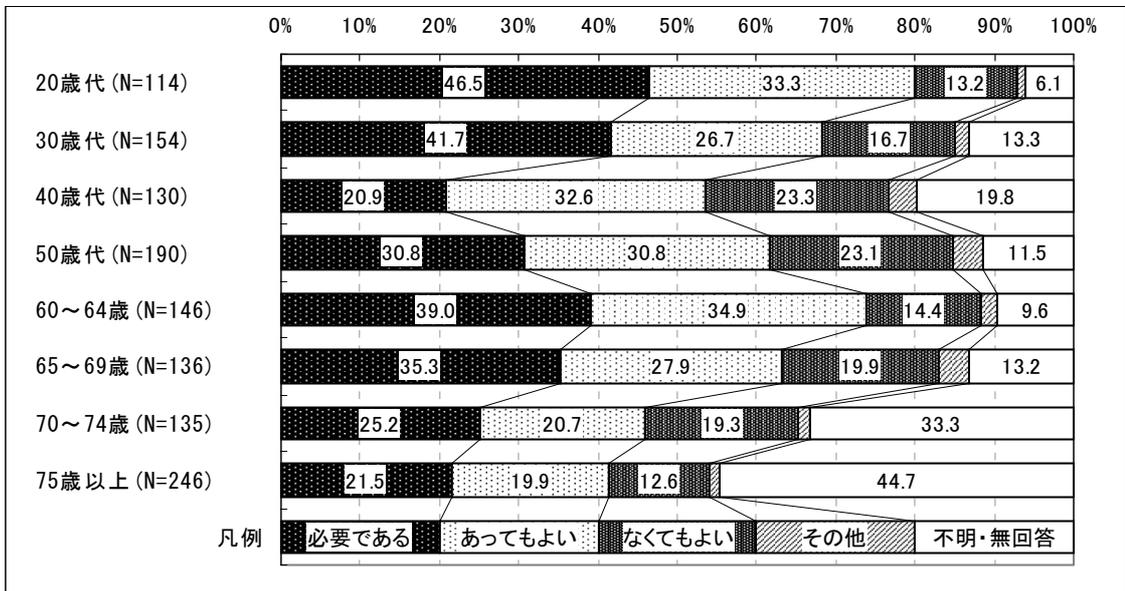


## (2) くすのきホール図書室

### (利用の頻度)

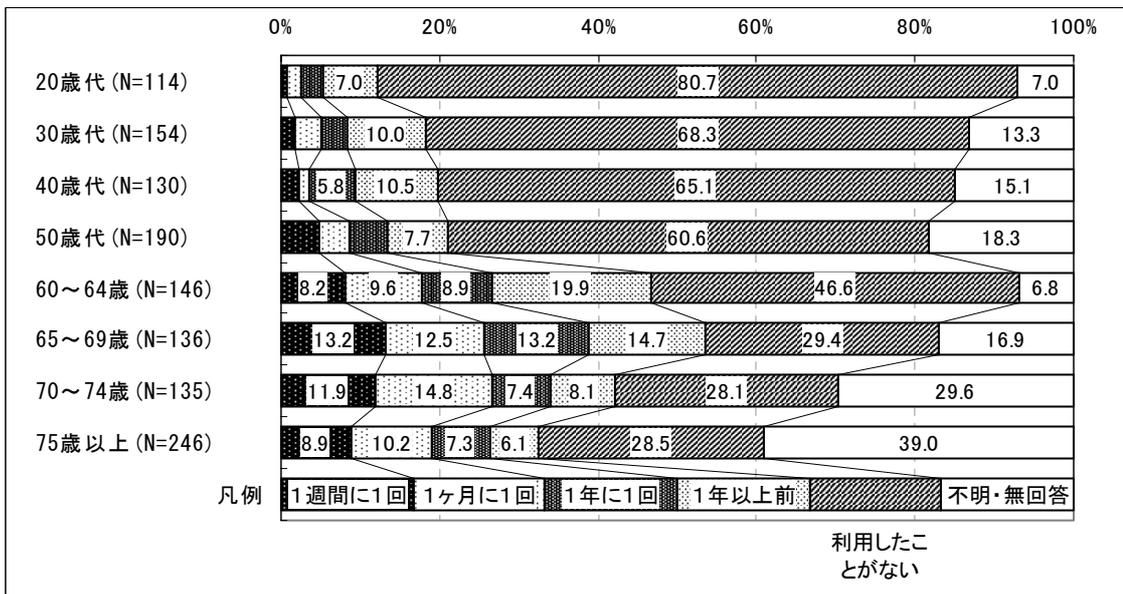


### (施設の必要度)

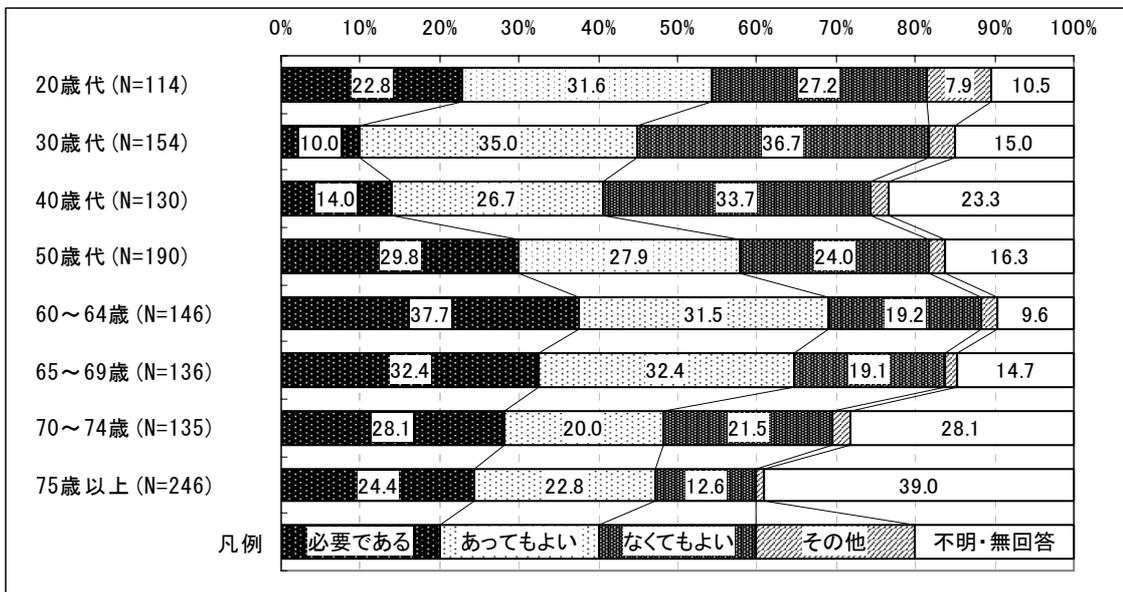


### (3) いきいきサロン

#### (利用の頻度)

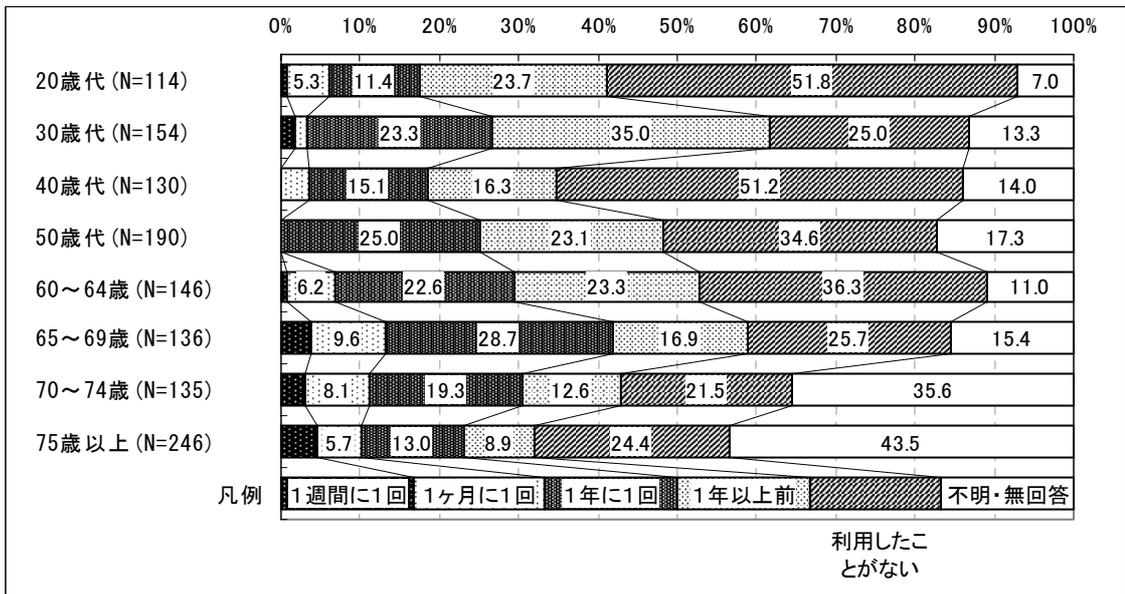


#### (施設の必要度)

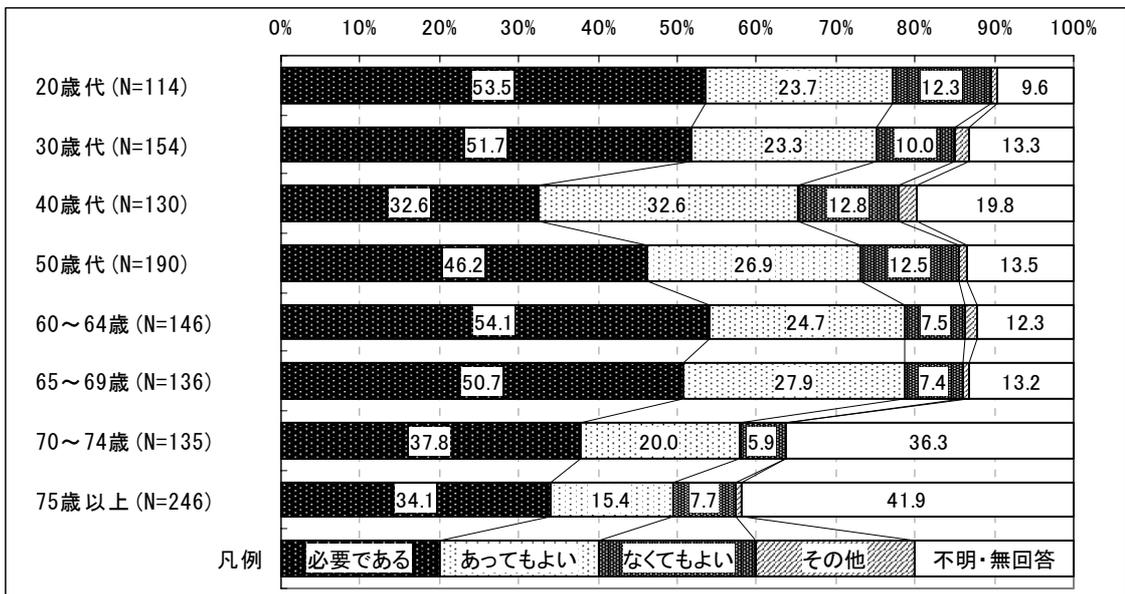


(4) 保健センター（診療所を除く）

(利用の頻度)

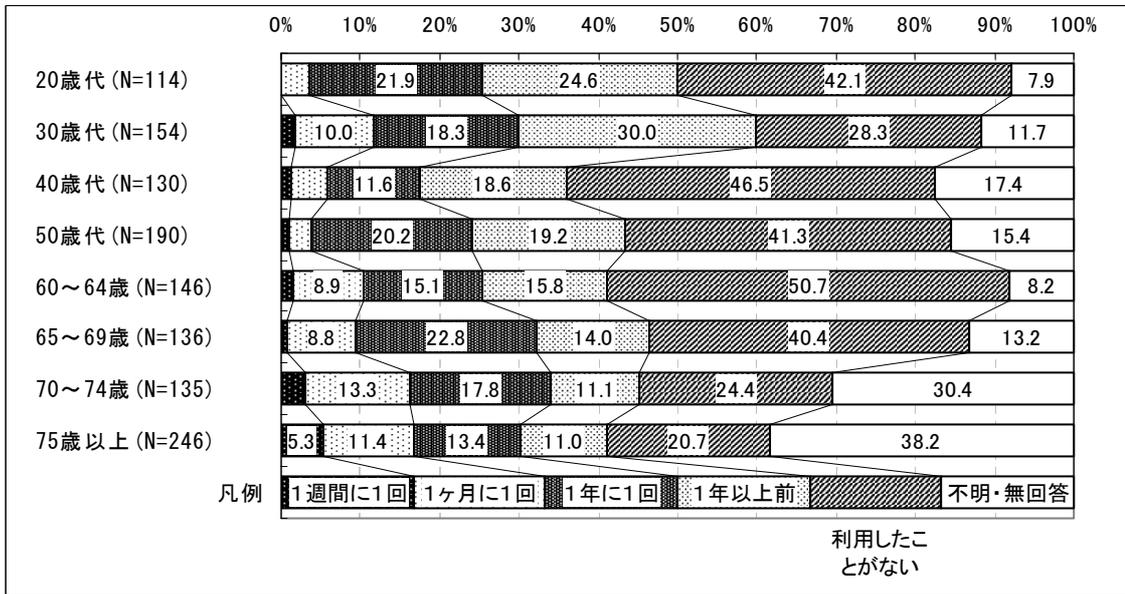


(施設の必要度)

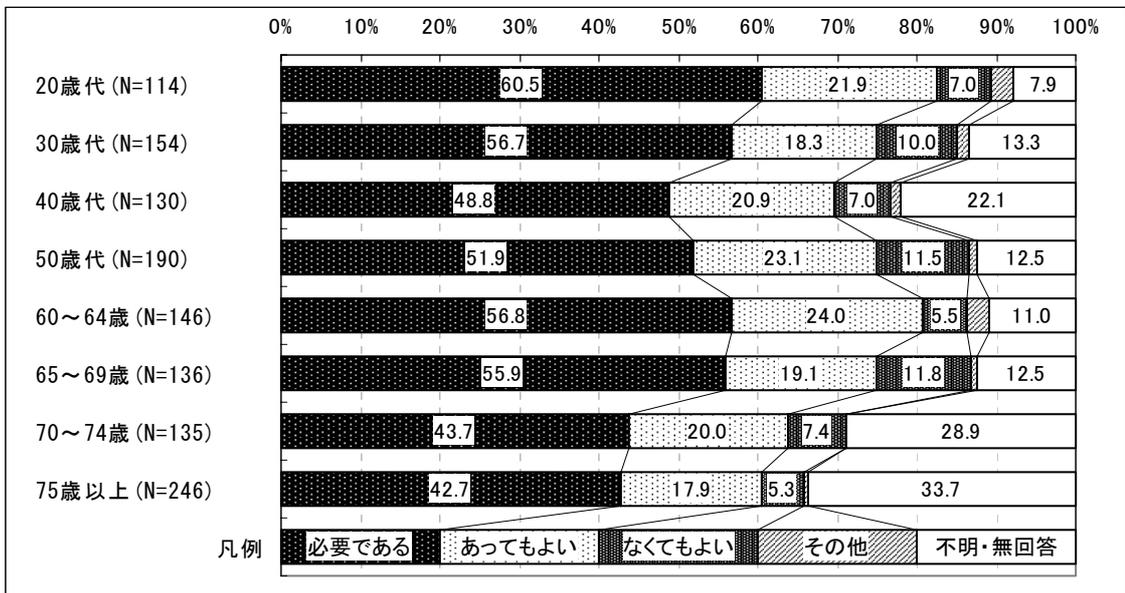


(5) 国保診療所（千早診療所を含む）

(利用の頻度)

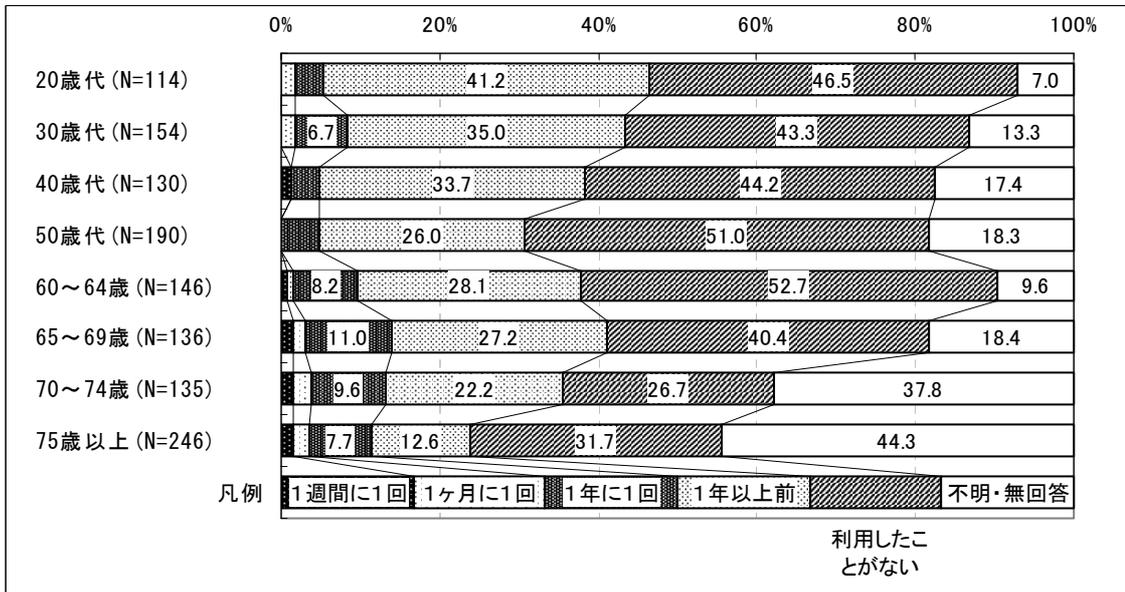


(施設の必要度)

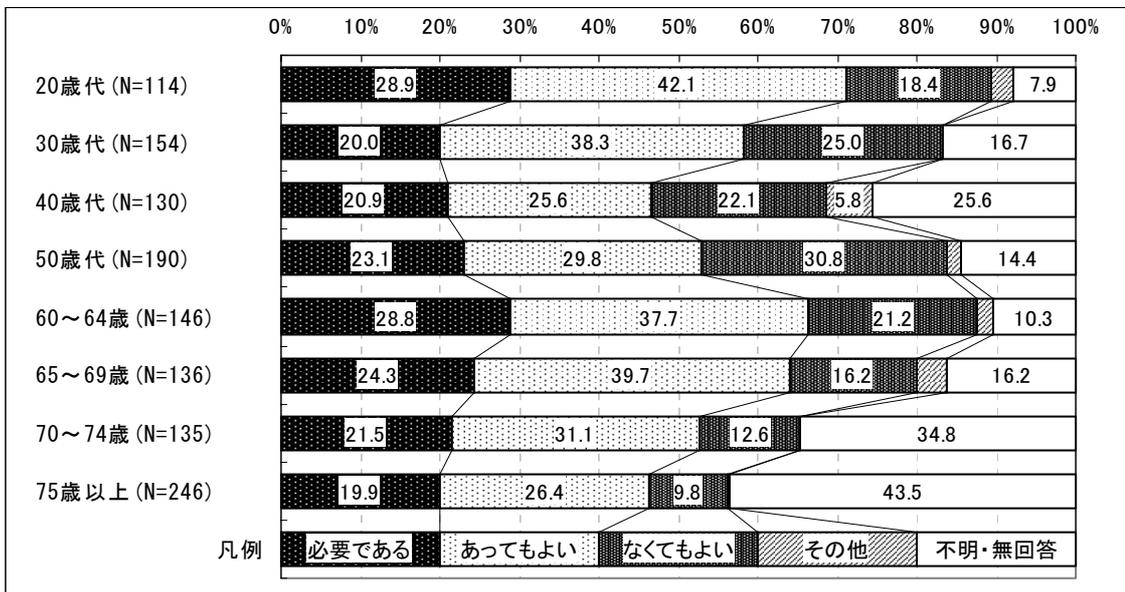


## (6) 郷土資料館

### (利用の頻度)

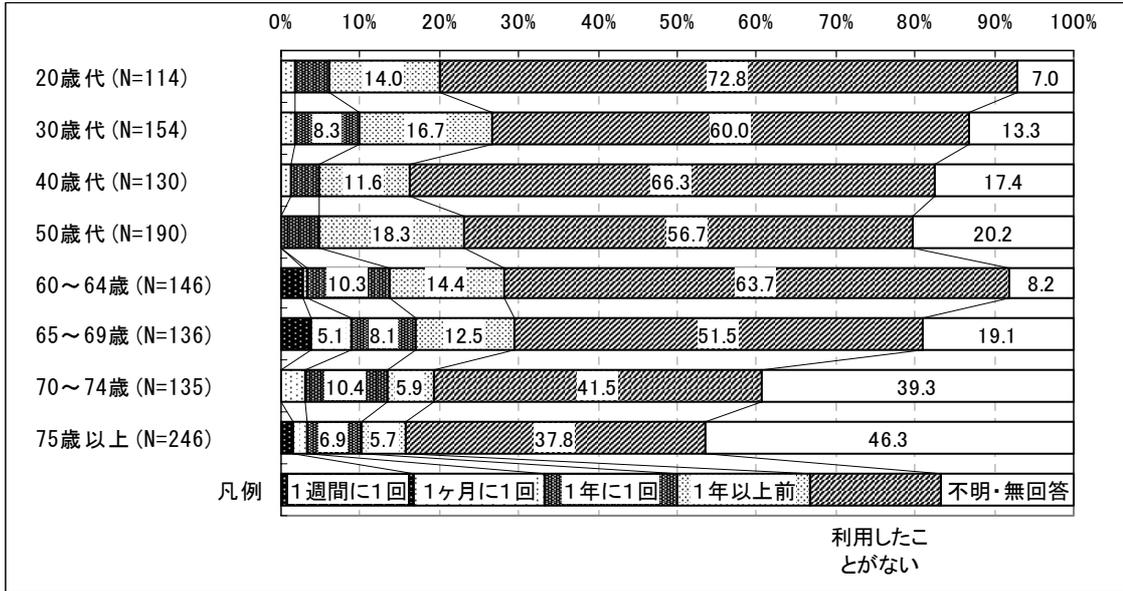


### (施設の必要度)

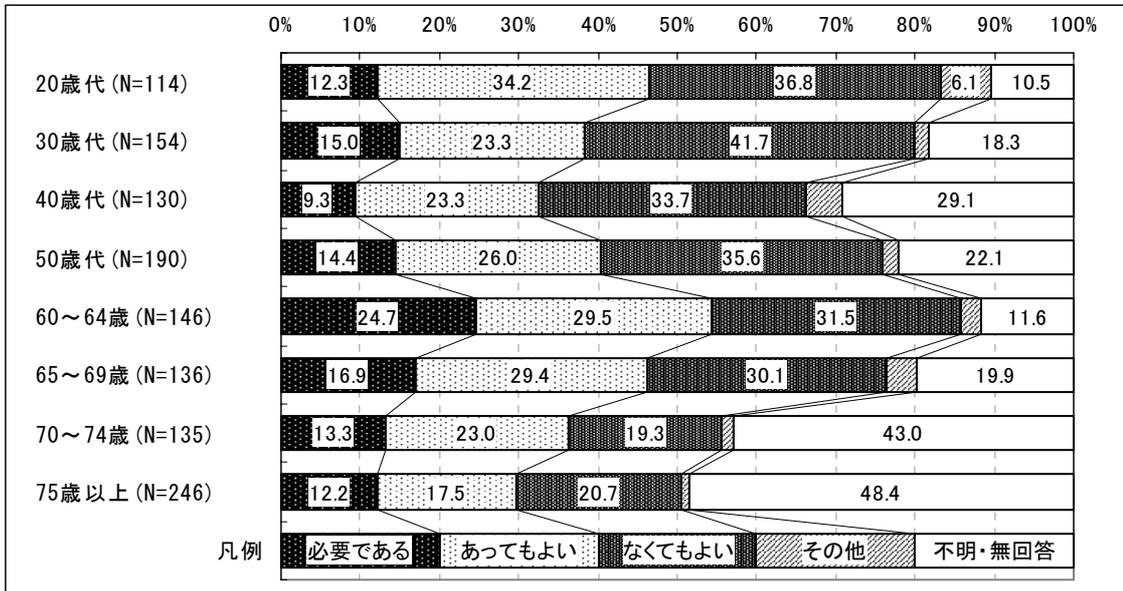


(7) コミュニティホール（千早小吹合小学校内）

(利用の頻度)

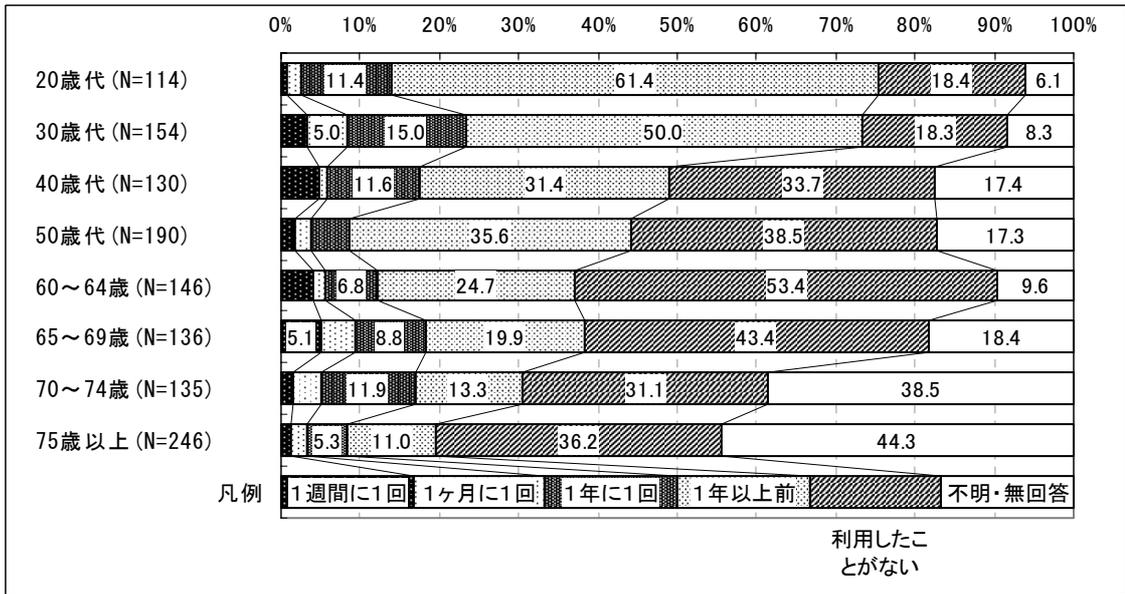


(施設の必要度)

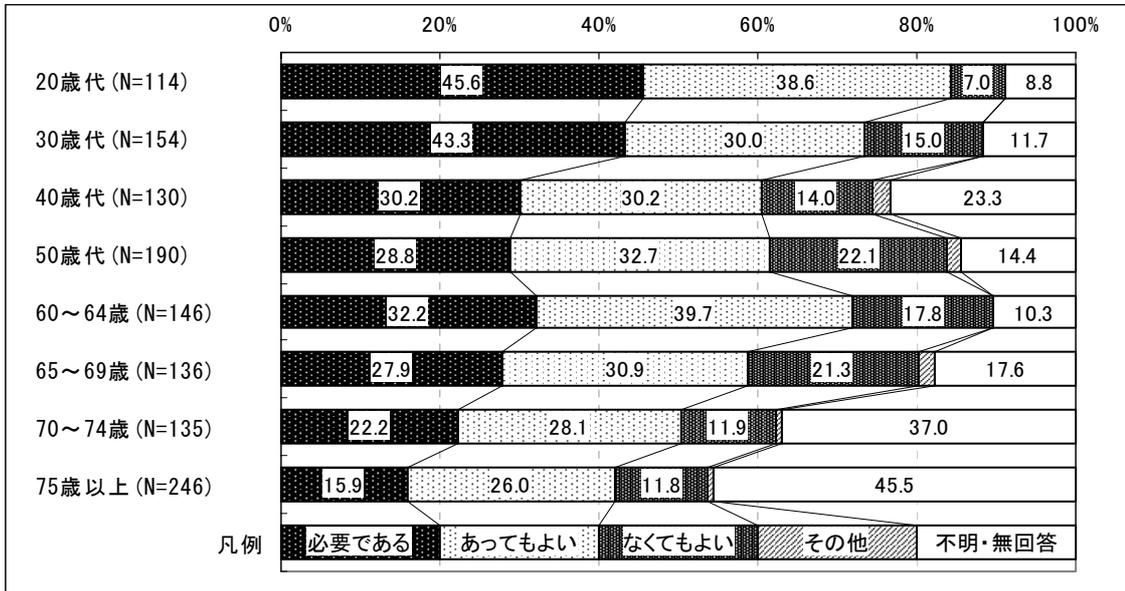


(8) B & G海洋センター体育館

(利用の頻度)

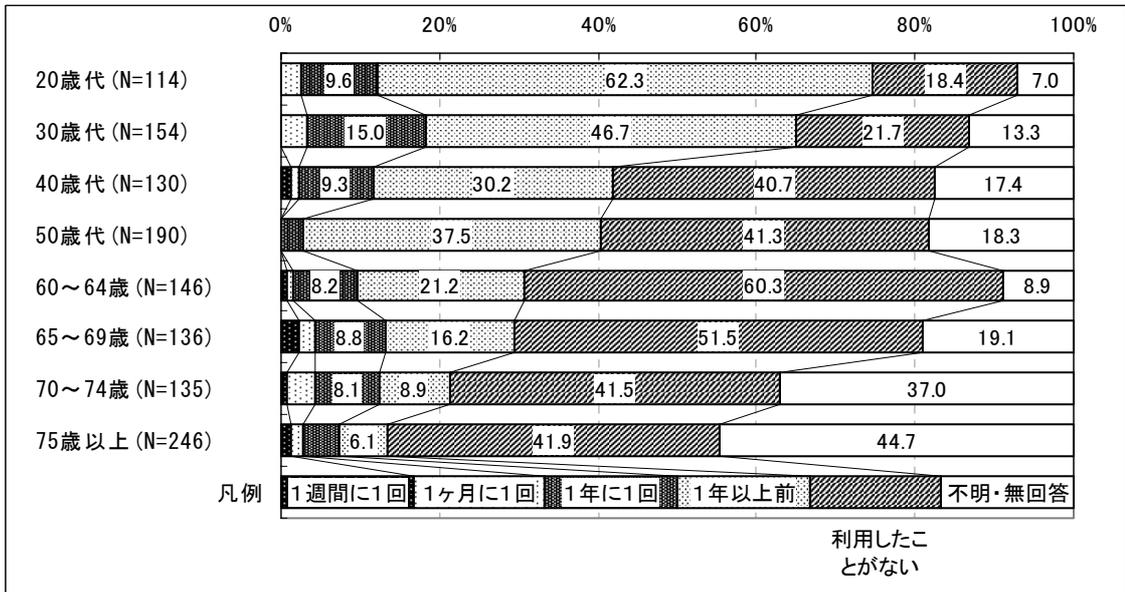


(施設の必要度)

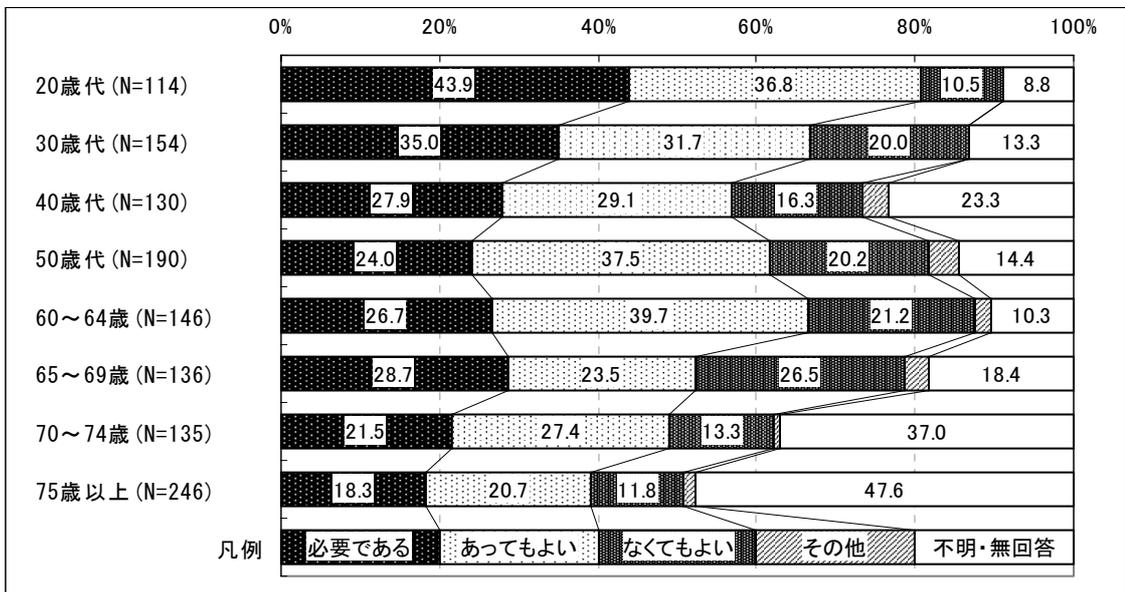


## (9) B & G海洋センタープール（開放期間中）

### （利用の頻度）

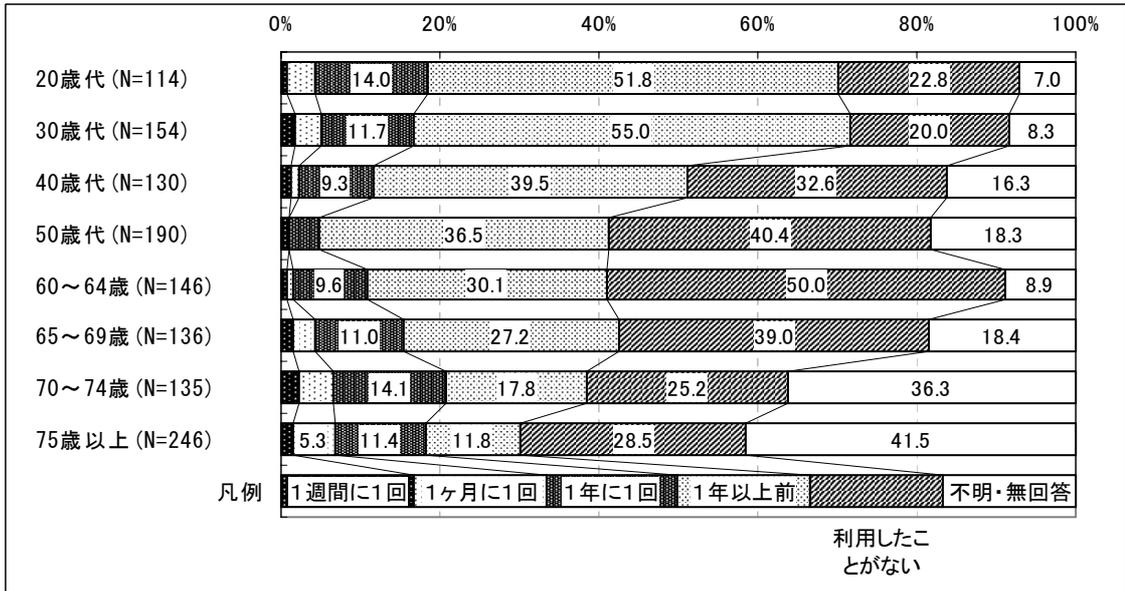


### （施設の必要度）

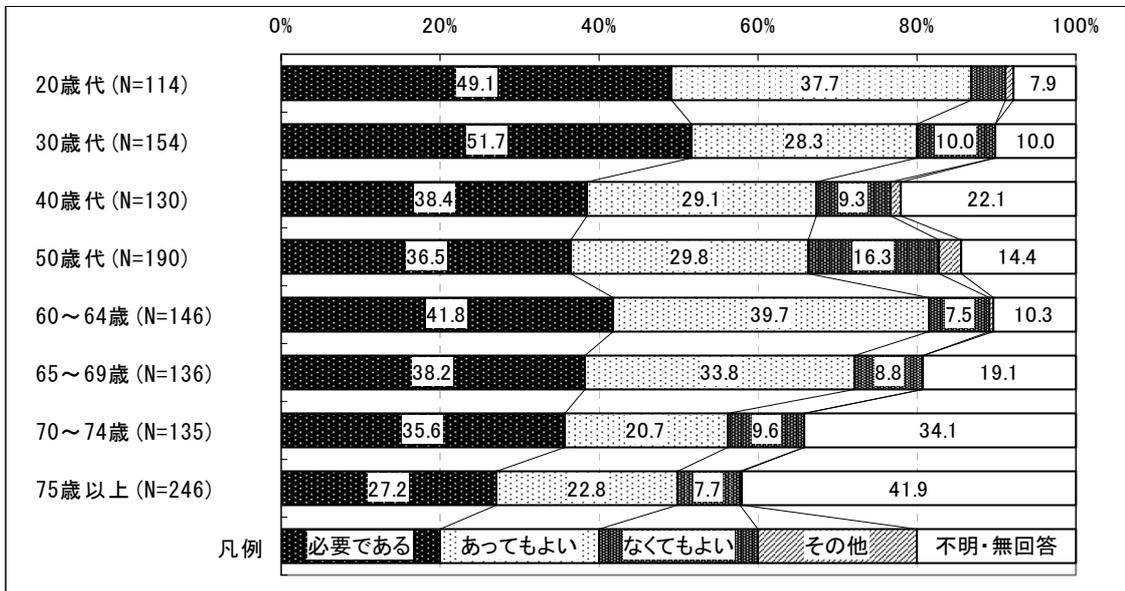


(10) 村民運動場

(利用の頻度)

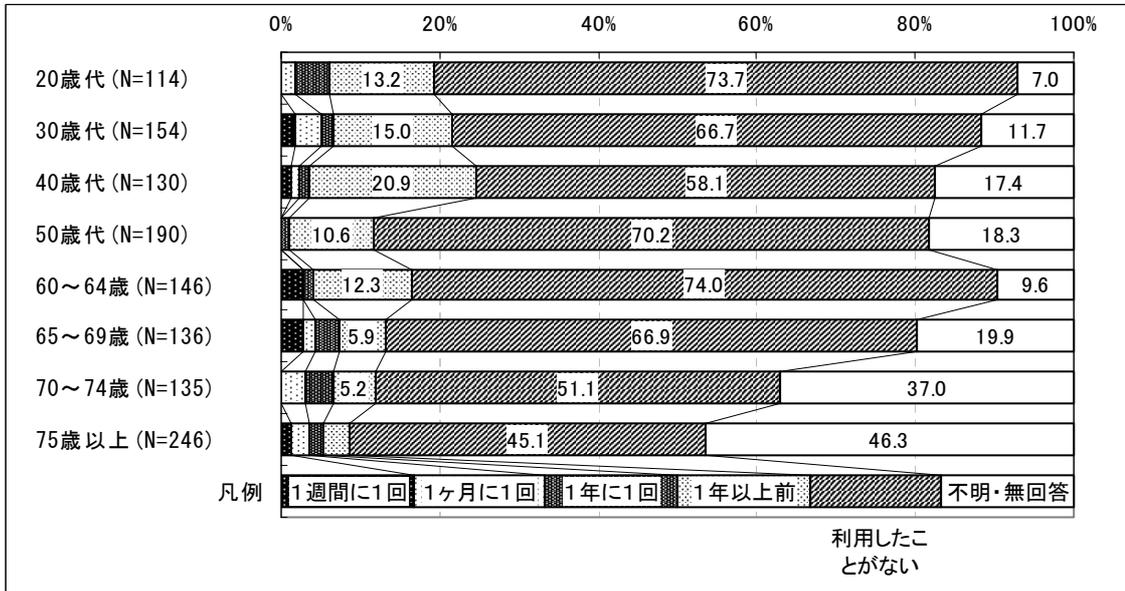


(施設の必要度)

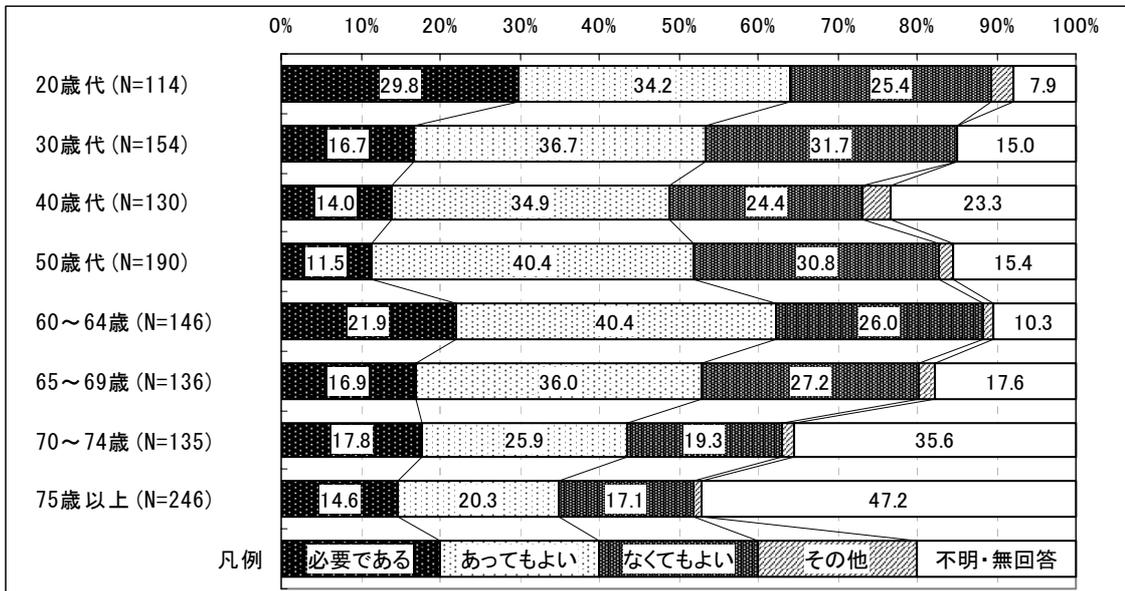


## (11) テニスコート

### (利用の頻度)

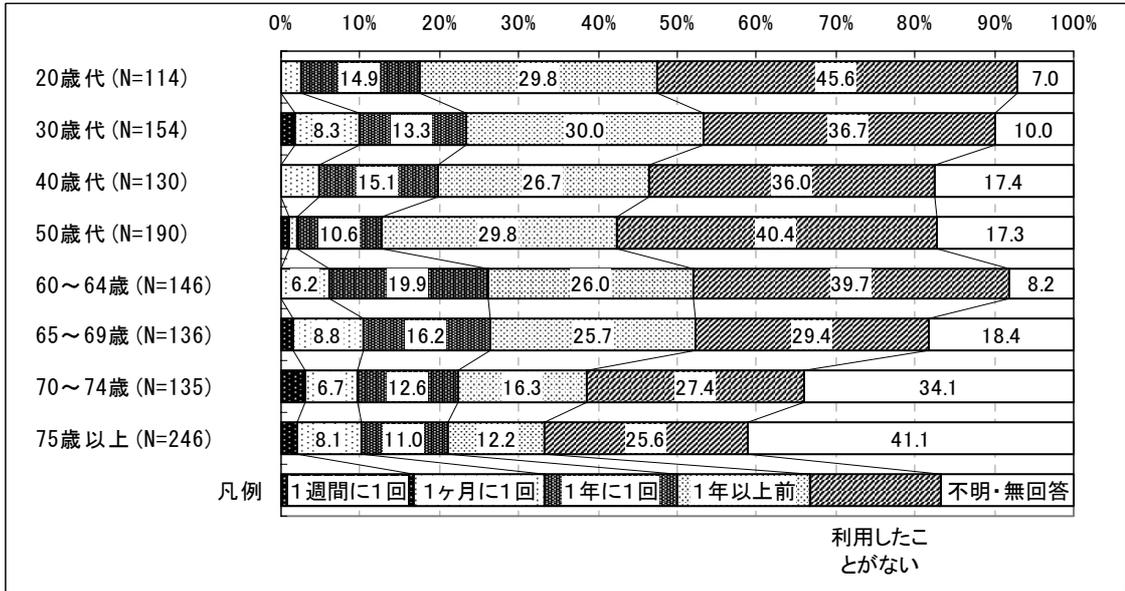


### (施設の必要度)

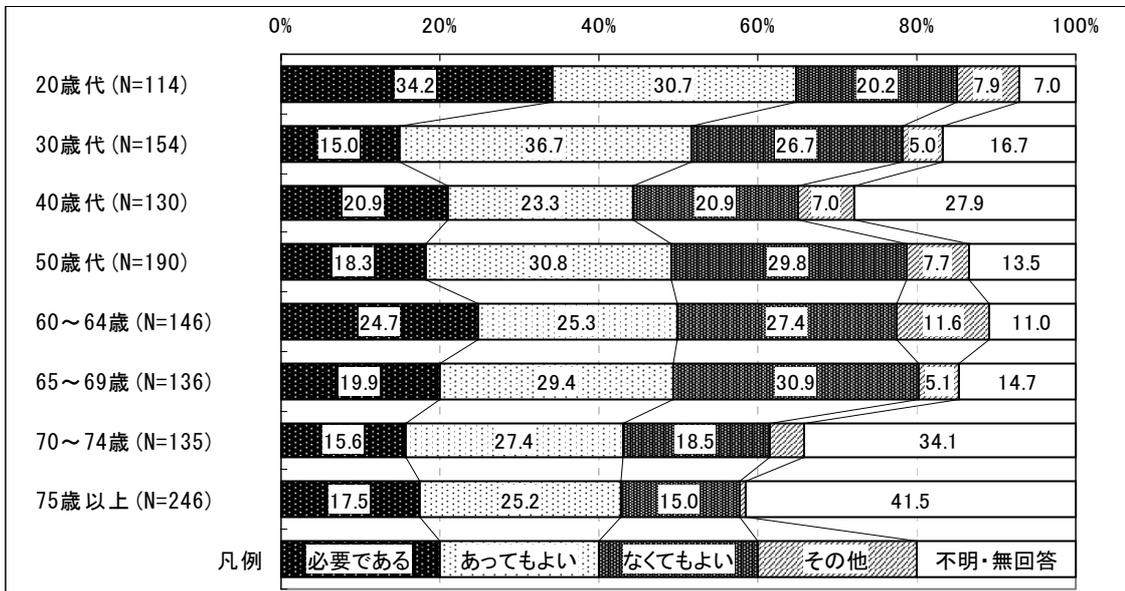


(12) 道の駅

(利用の頻度)

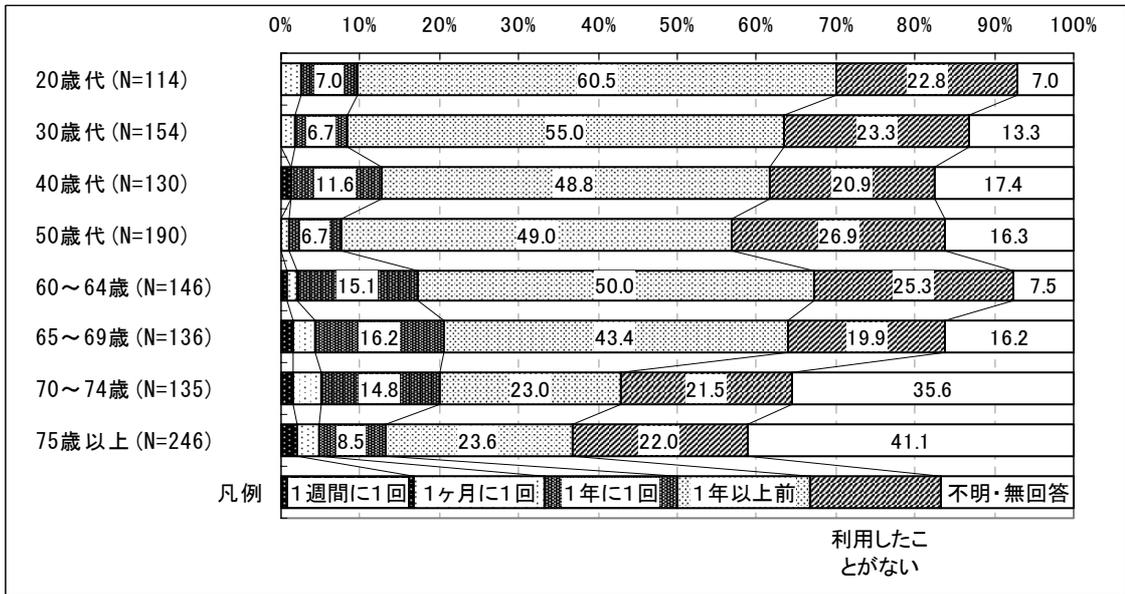


(施設の必要度)

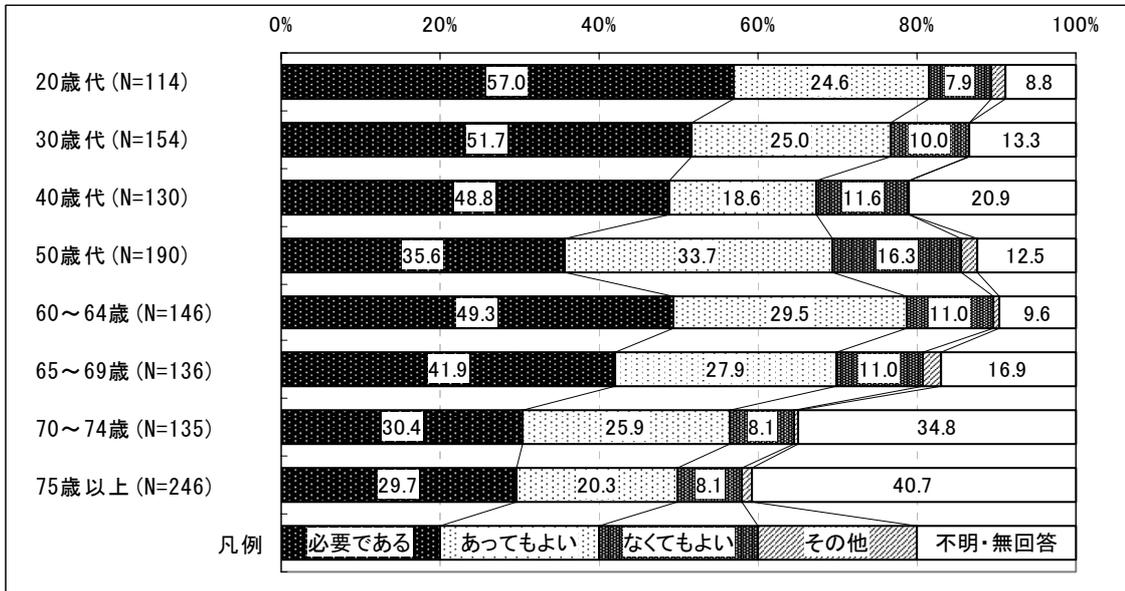


(13) 金剛山ロープウェイ

(利用の頻度)

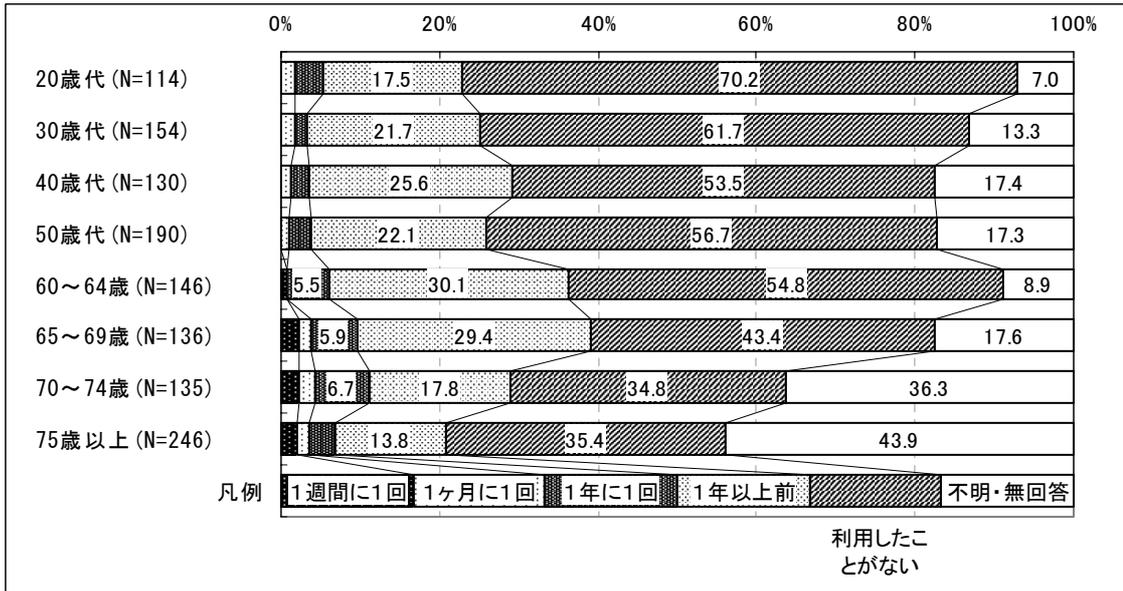


(施設の必要度)

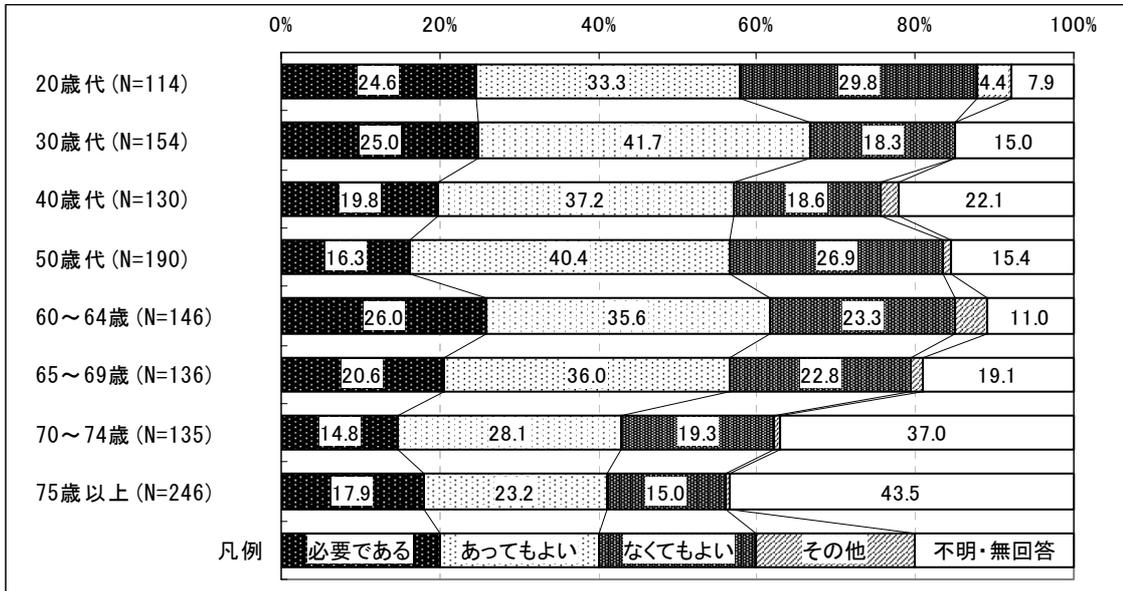


(14) 村営宿泊施設香楠荘

(利用の頻度)

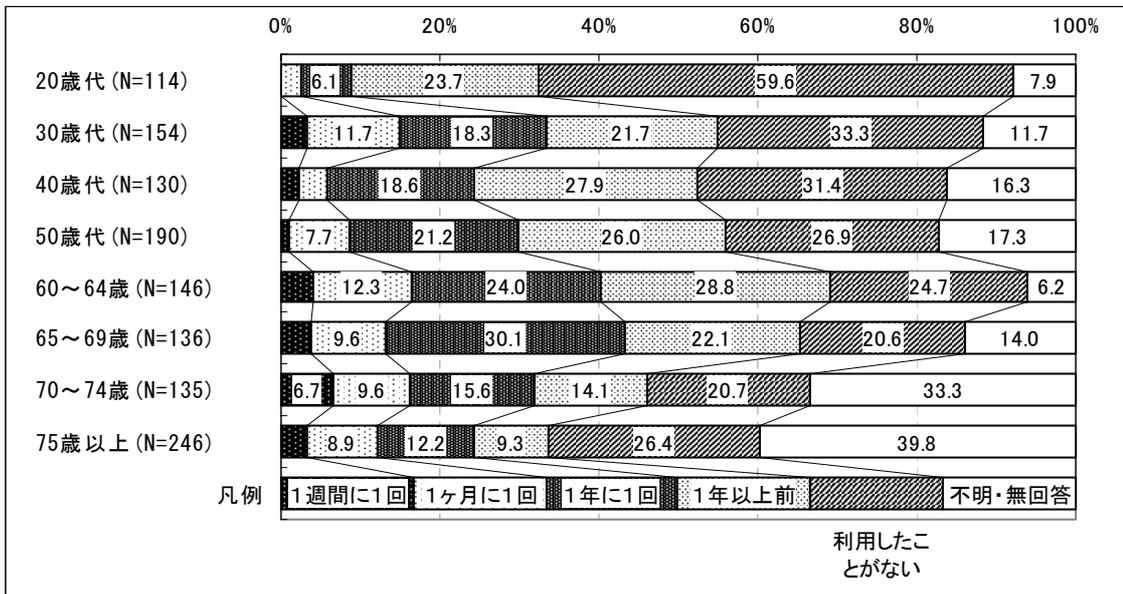


(施設の必要度)

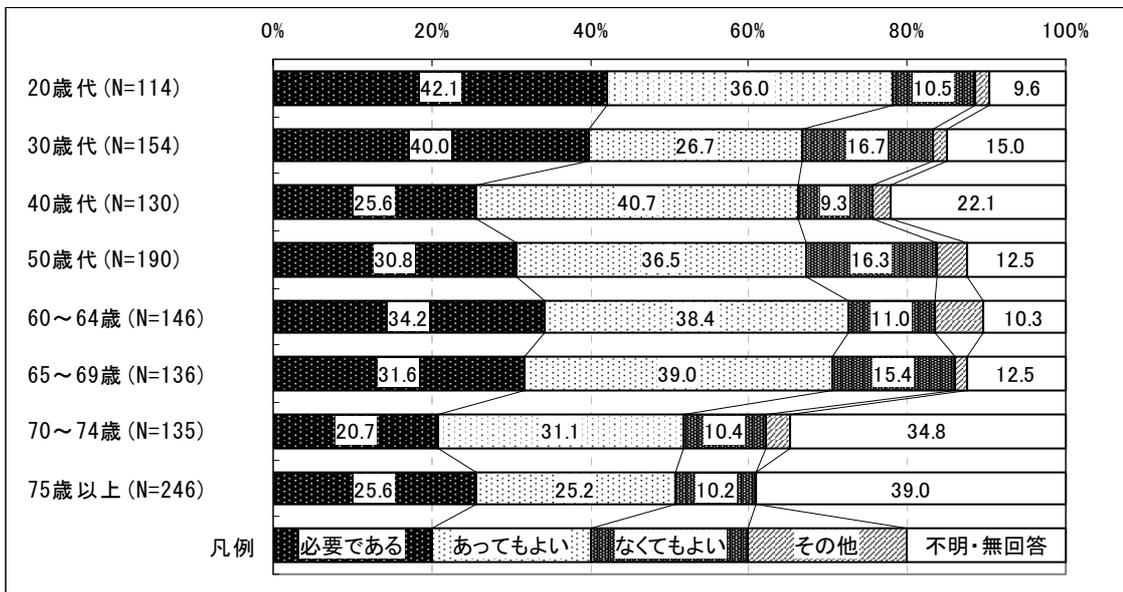


## (15) 農産物直売所

### (利用の頻度)

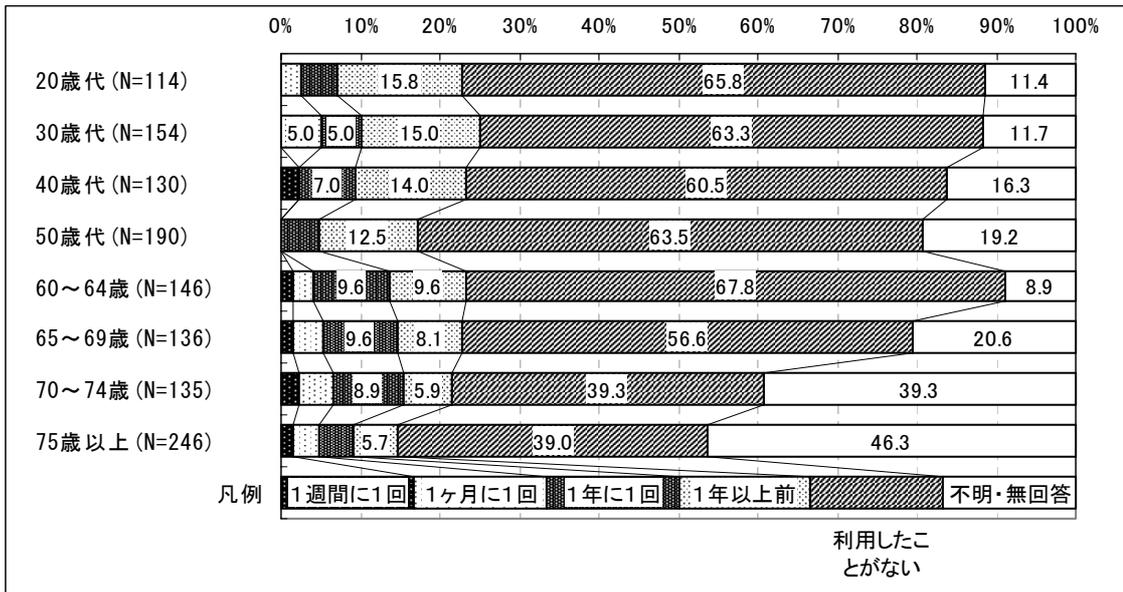


### (施設の必要度)

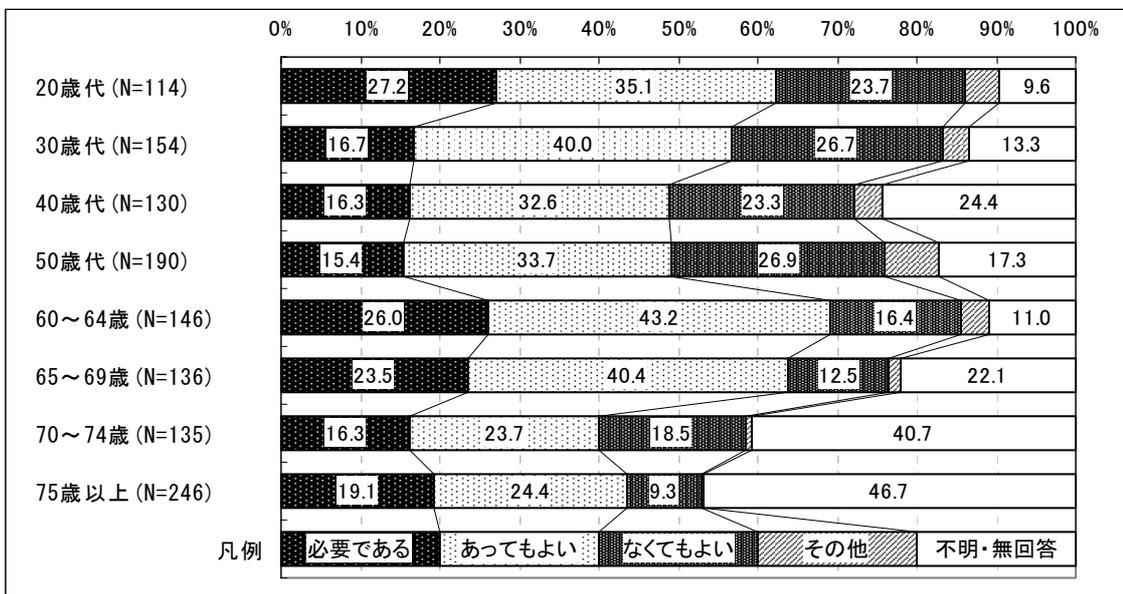


## (16) ちびっ子老人広場

### (利用の頻度)

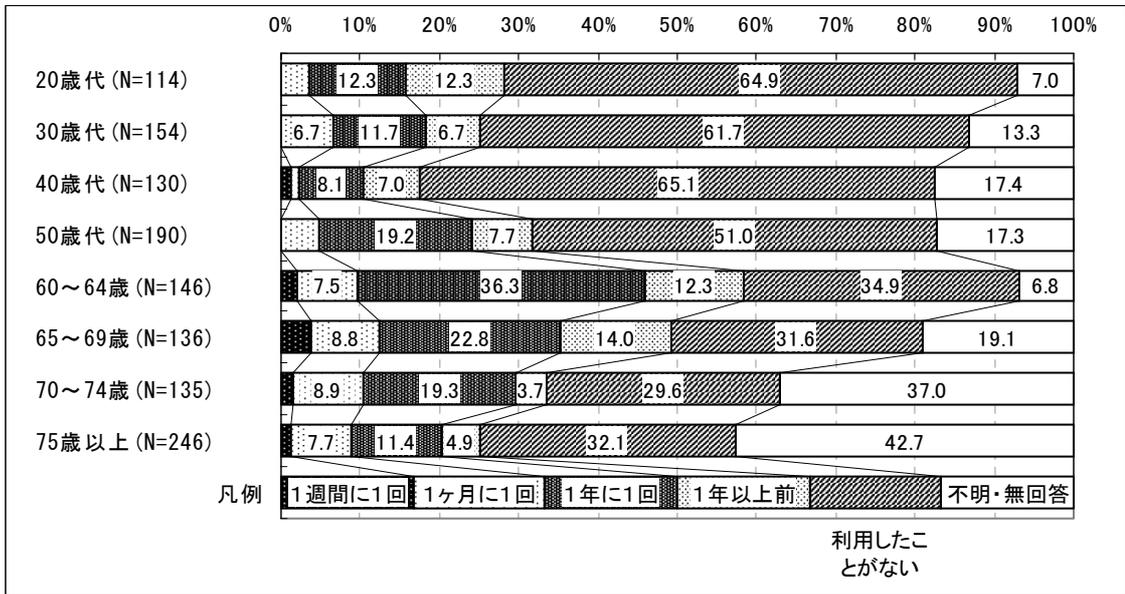


### (施設の必要度)

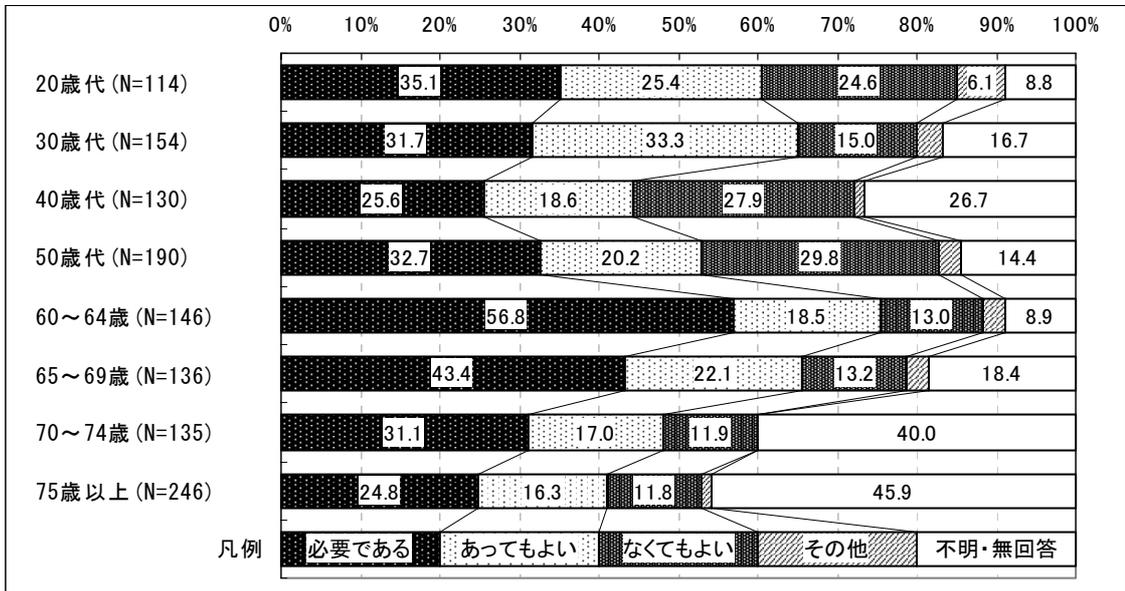


(17) 役場小吹合連絡所

(利用の頻度)

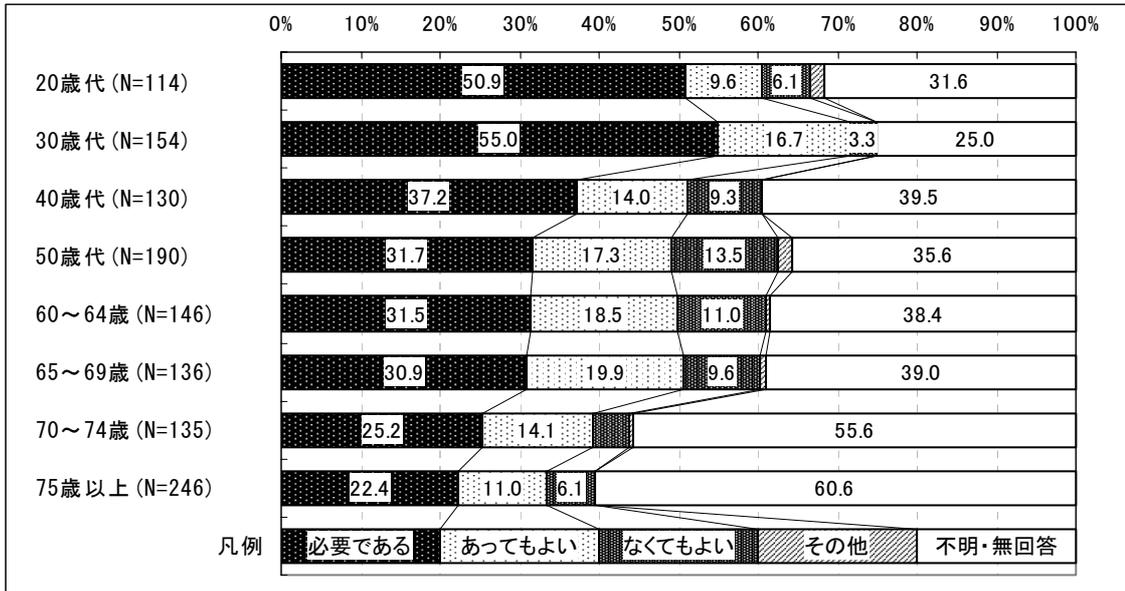


(施設の必要度)



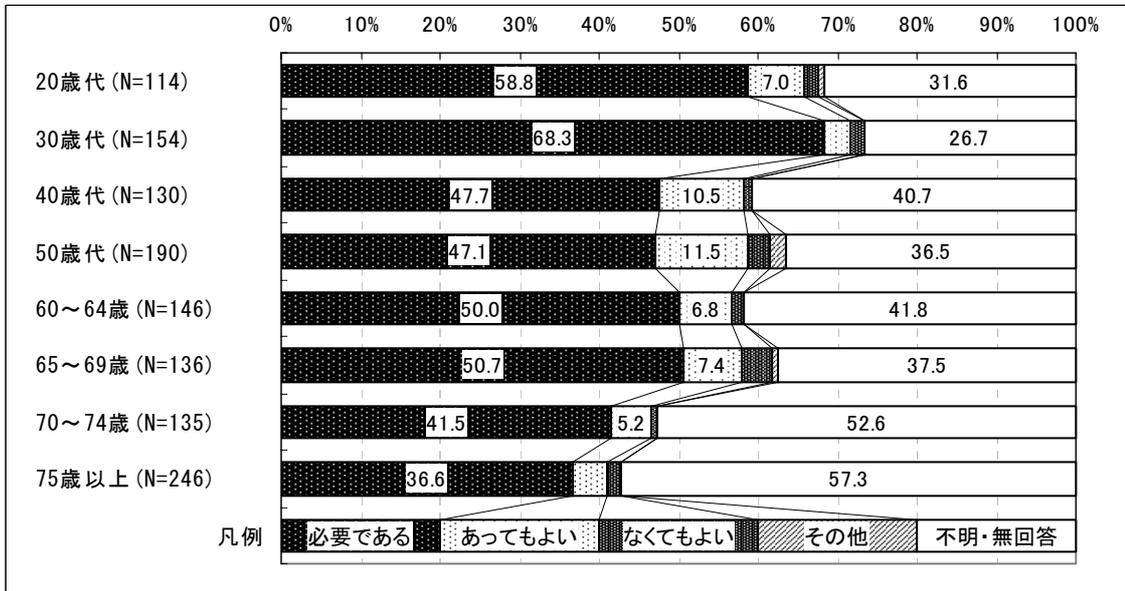
(18) 学校給食センター

(施設の必要度)



(19) 富田林消防本部千早赤阪分署

(施設の必要度)



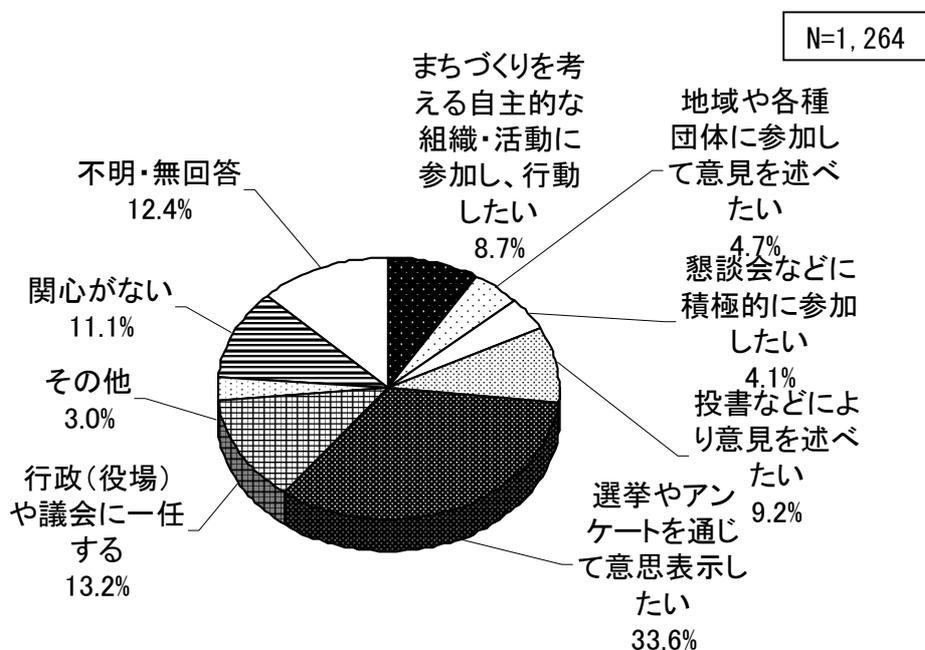
## 6 まちづくりへの参加

### 問17. まちづくりへの参加についてどう考えていますか。〈〇は1つ〉

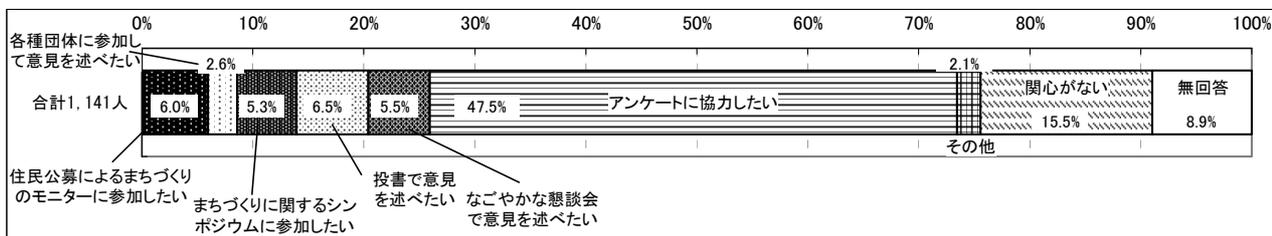
まちづくりへの参加については、「選挙やアンケートを通じて意思表示したい」が 33.6%で最も高く、次いで「行政(役場)や議会に一任する」が 13.2%、「投書などにより意見を述べたい」が 9.2%となっており、間接的な参加の占める比率が高くなっています。

平成 10 年度調査とは選択肢が一部異なっているものの、比較すると、「アンケート」の比率が大きく下がり、また、「関心がない」の比率も下がっています。かわって「まちづくりを考える自主的な組織・活動に参加し、行動したい」が 8.7%になるなど、10 年前よりまちづくりへの参加についての意識が高まっていることがうかがえます。

#### 問 1 7 (全体)



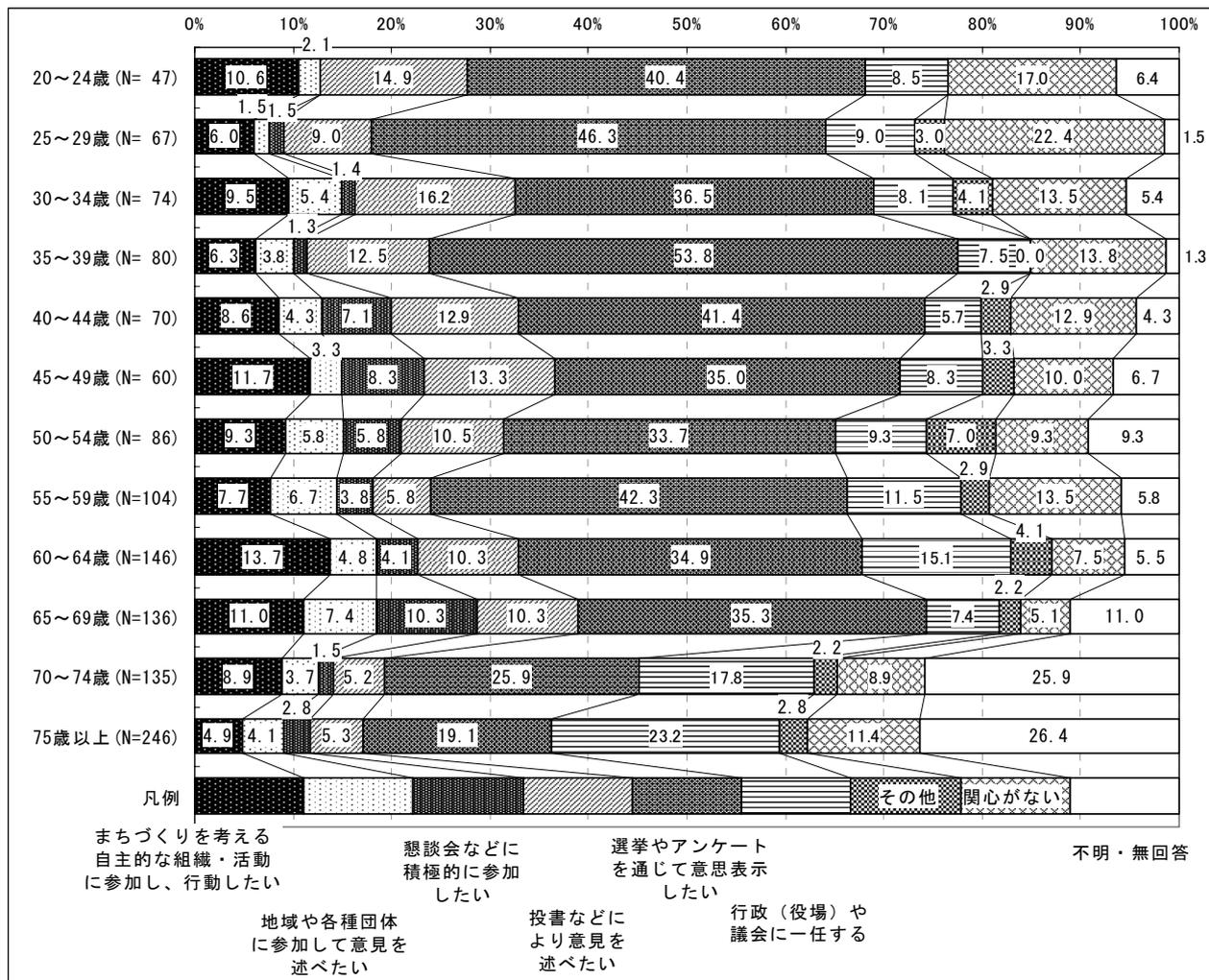
(参考) 平成 10 年度調査



#### 【年代別】

いずれの年代においても、「選挙やアンケートを通じて意思表示したい」が最も高くなっており、「35～39 歳」では5割を超えるなど特に高くなっています。「まちづくりを考える自主的な組織・活動に参加し、行動したい」は、定年前後となる「60～64 歳」で 13.7%となっており、地域での活動に参加する意識が若干高くなっています。「関心がない」は若い世代で高くなっています。

問 1 7 (年代別)



## 7 地域活動・ボランティア活動、参画・協働について

### (1) 地域社会での住民の役割について

問18. これからの地域社会において、住民がどの程度の役割を担っていかなければならないと思いますか。〈〇は1つ〉

これからの地域社会における住民の担う役割について、「自治会など、身近で基礎的な地域活動に積極的に参加する」では、「積極的に行うべき」が21.3%、「できれば行うべき」が44.1%と高くなっています。

「リサイクル運動など環境保全活動に参加する」も同様に高くなっています。

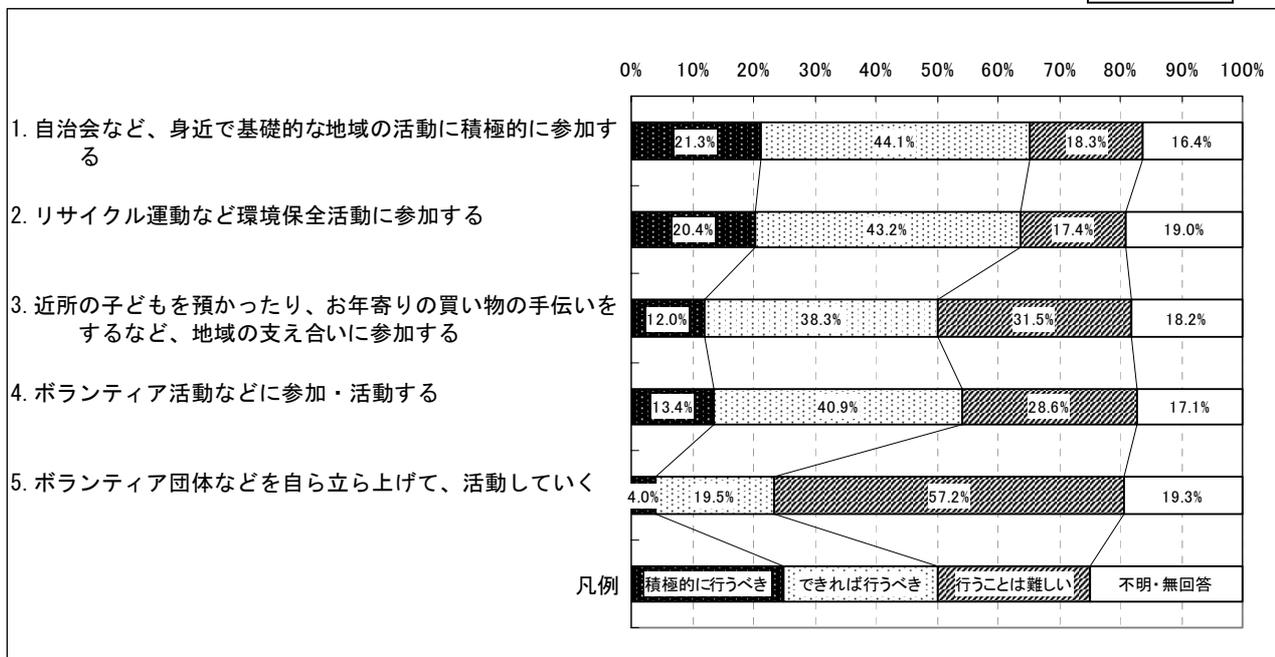
「近所の子どもを預かったり、お年寄りの買い物の手伝いをするなど、地域の支え合いに参加する」は、先の2項目より「積極的に行うべき」が12.0%と低くなり、「行うことが難しい」が3割となっていますが、「できれば行うべき」は4割近くあります。

「ボランティア活動などに参加・活動する」も同様の傾向にあります。

一方で、「ボランティア団体などを自ら立ち上げて、活動していく」については、「行うことが難しい」が6割近くになりますが、「できれば行うべき」も2割程度あります。

#### 問18 (全体)

N=1,264

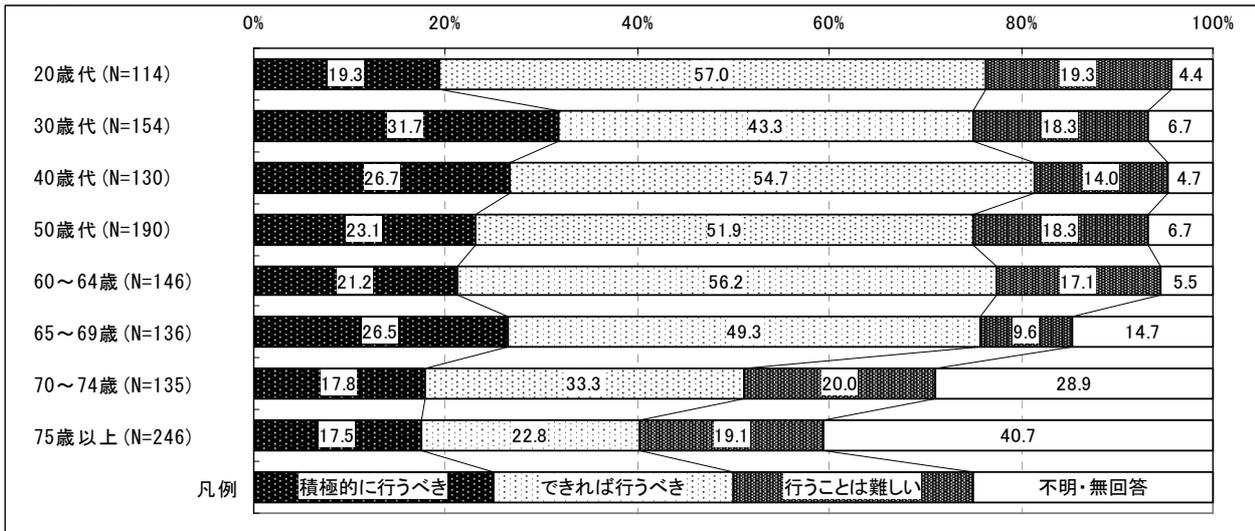


# 1. 自治会など、身近で基礎的な地域の活動に積極的に参加する

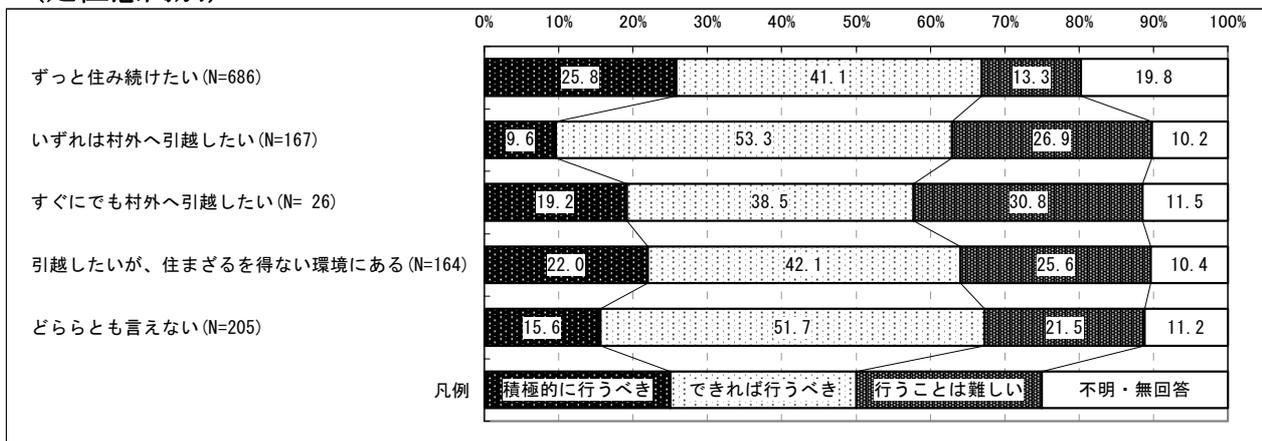
いずれの年代においても、「できれば行うべき」がもっとも高くなっていますが、30歳代と40歳代、「65～69歳」では「積極的に行うべき」の比率が他の年代より高くなっています。40歳代では「積極的に行うべき」と「できれば行うべき」を合わせると8割を超えています。

定住意向別では、やはり「ずっと住み続けたい」の「積極的に行うべき」が高く、一方で「すぐにも村外へ引っ越したい」は、「行うことは難しい」が高くなっています。

(年代別)



(定住意向別)

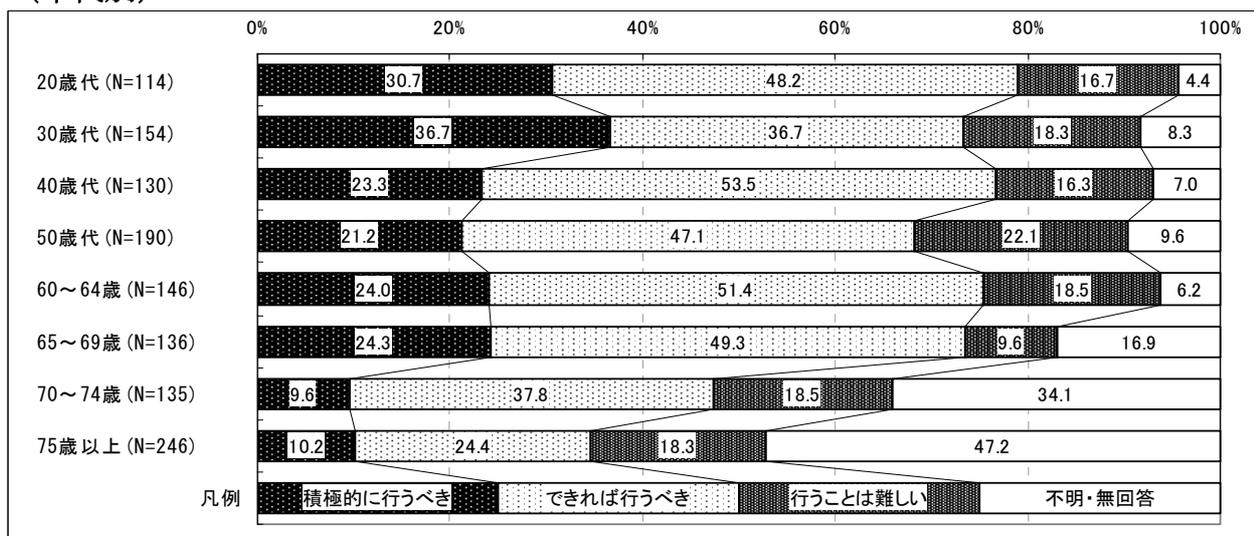


## 2. リサイクル運動など環境保全活動に参加する

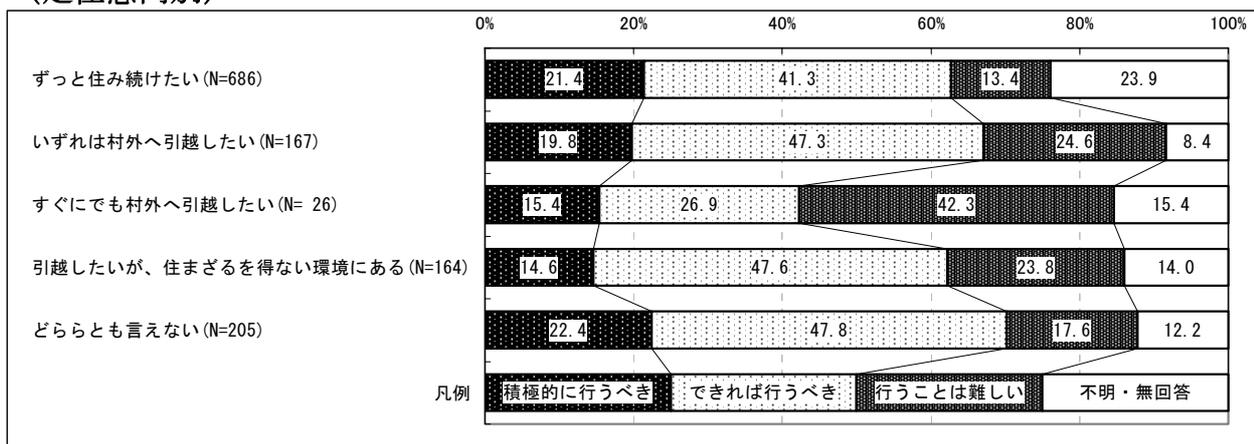
いずれの年代においても、「できれば行うべき」がもっとも高くなっていますが、30歳代では「積極的に行うべき」が同率となっており、意識の高さがうかがえます。一方で70歳以上では、「積極的に行うべき」が1割程度と低くなっています。

定住意向別では、「すぐにも村外へ引っ越したいは、「行うことは難しい」が高くなっています。

### (年代別)



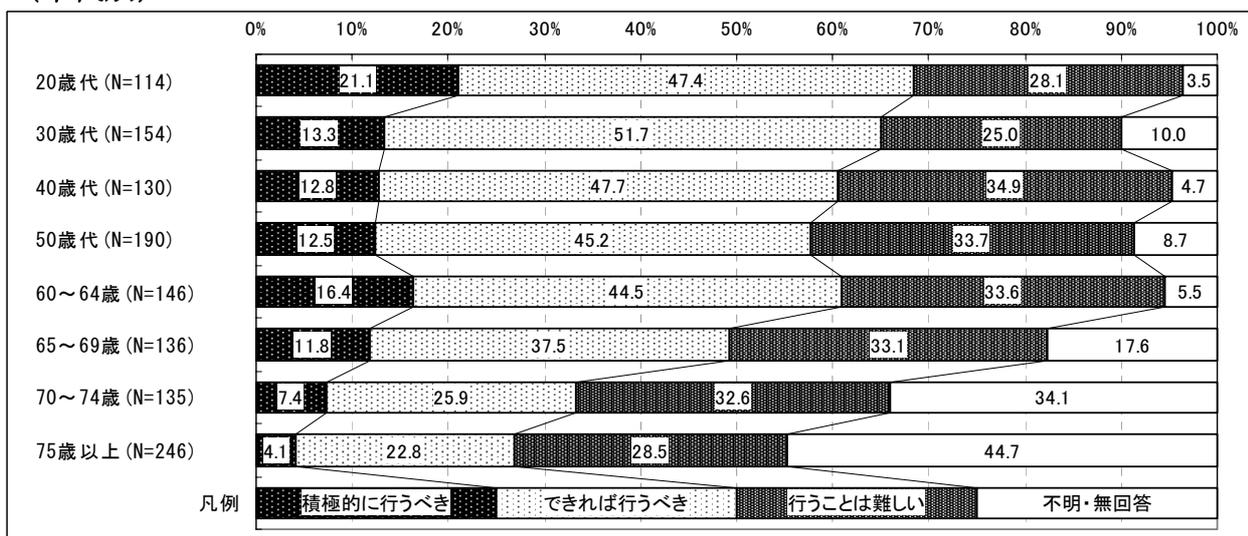
### (定住意向別)



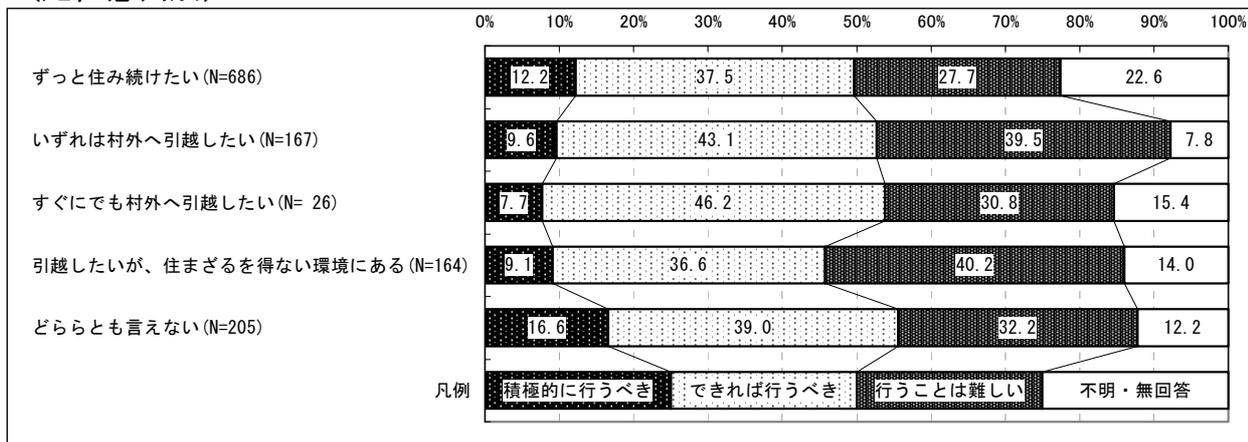
### 3. 近所の子どもを預かったり等の地域の支え合いに参加する

ほとんどの年代で、「できれば行うべき」がもっとも高くなっていますが、70歳以上では「行うことが難しい」が高くなっています。また、「行うことが難しい」はその他の年代でも比較的高く、概ね3割はそのように考えていることがうかがえます。もっとも積極的なのは20歳代の21.1%となっています。

(年代別)



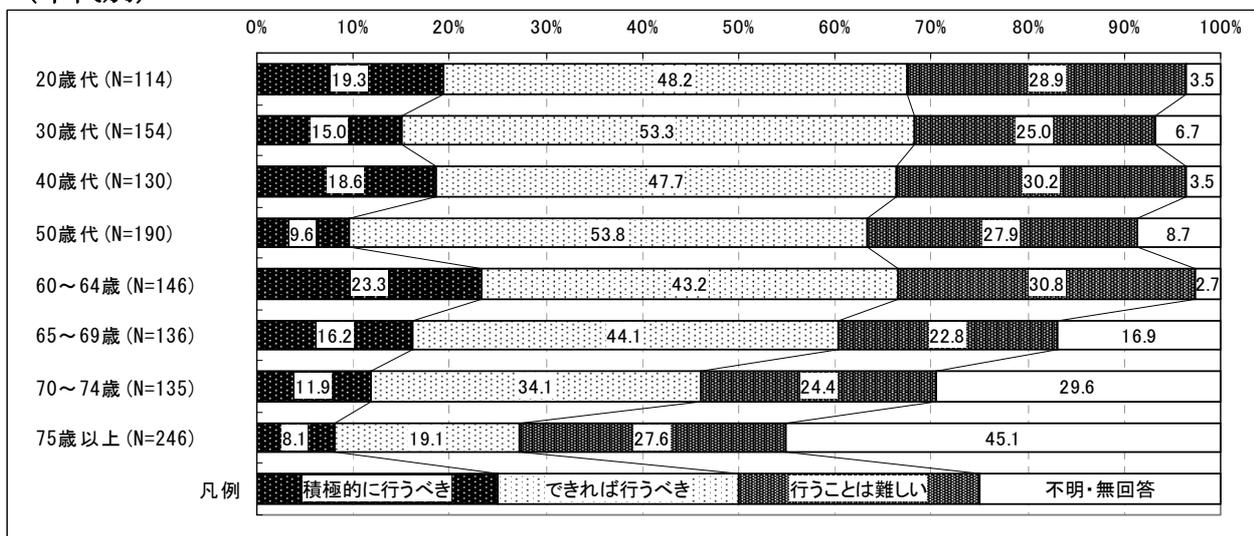
(定住意向別)



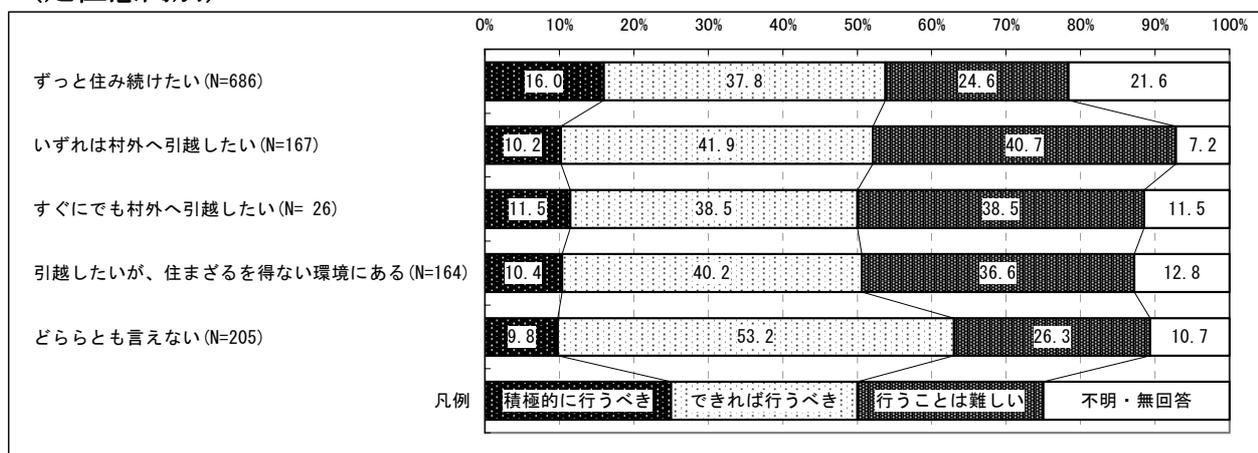
## 4. ボランティア活動などに参加・活動する

ほとんどの年代で「できれば行うべき」がもっとも高くなっていますが、「75 歳以上」では「行うことが難しい」が高くなっています。「積極的に行うべき」は「60 歳～64 歳」で 23.3%と特に高くなっています。一方でその下の世代となる 50 歳代では、大きく下がって 9.6%となっています。

(年代別)



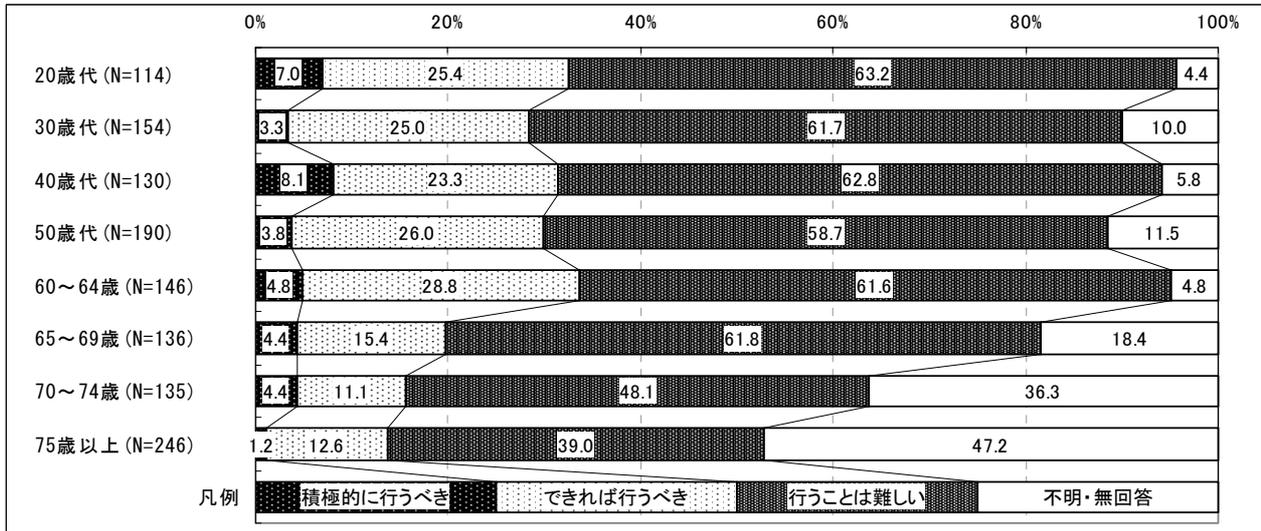
(定住意向別)



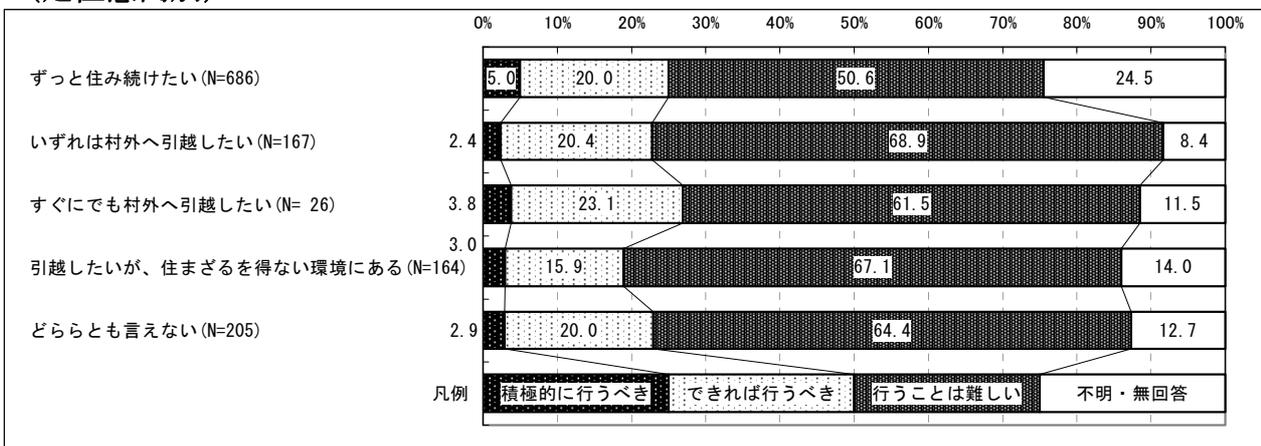
## 5. ボランティア団体などを自ら立上げて、活動していく

いずれの年代においても、「行うことが難しい」がもっとも高くなっており、60歳代までは年代を問わず同様の回答となっています。20歳代と40歳代で「積極的に行うべき」が他の年代より若干高くなっています。

### (年代別)



### (定住意向別)

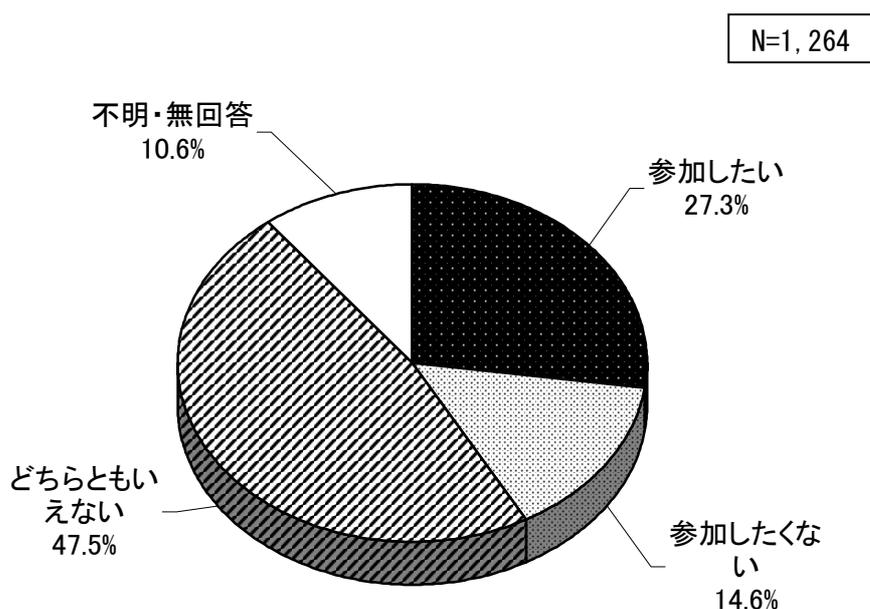


## (2) ボランティア活動への参加意向

### 問19. ボランティア活動などの地域活動について、参加の機会があれば積極的に参加したいと思いますか。〈〇は1つ〉

ボランティア活動など地域活動への参加意向は、「参加したい」が 27.3%、「参加したくない」が 14.6%となっています。もっとも高いのは「どちらとも言えない」で 47.5%となっています。

#### 問19 (全体)



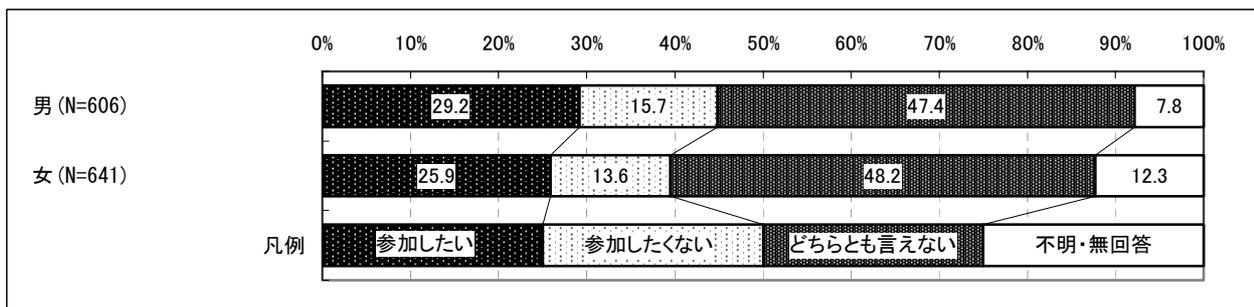
#### 【男女別】

男女ともほぼ同様の傾向ですが、男性の方が「参加したい」の比率が若干高くなっています。

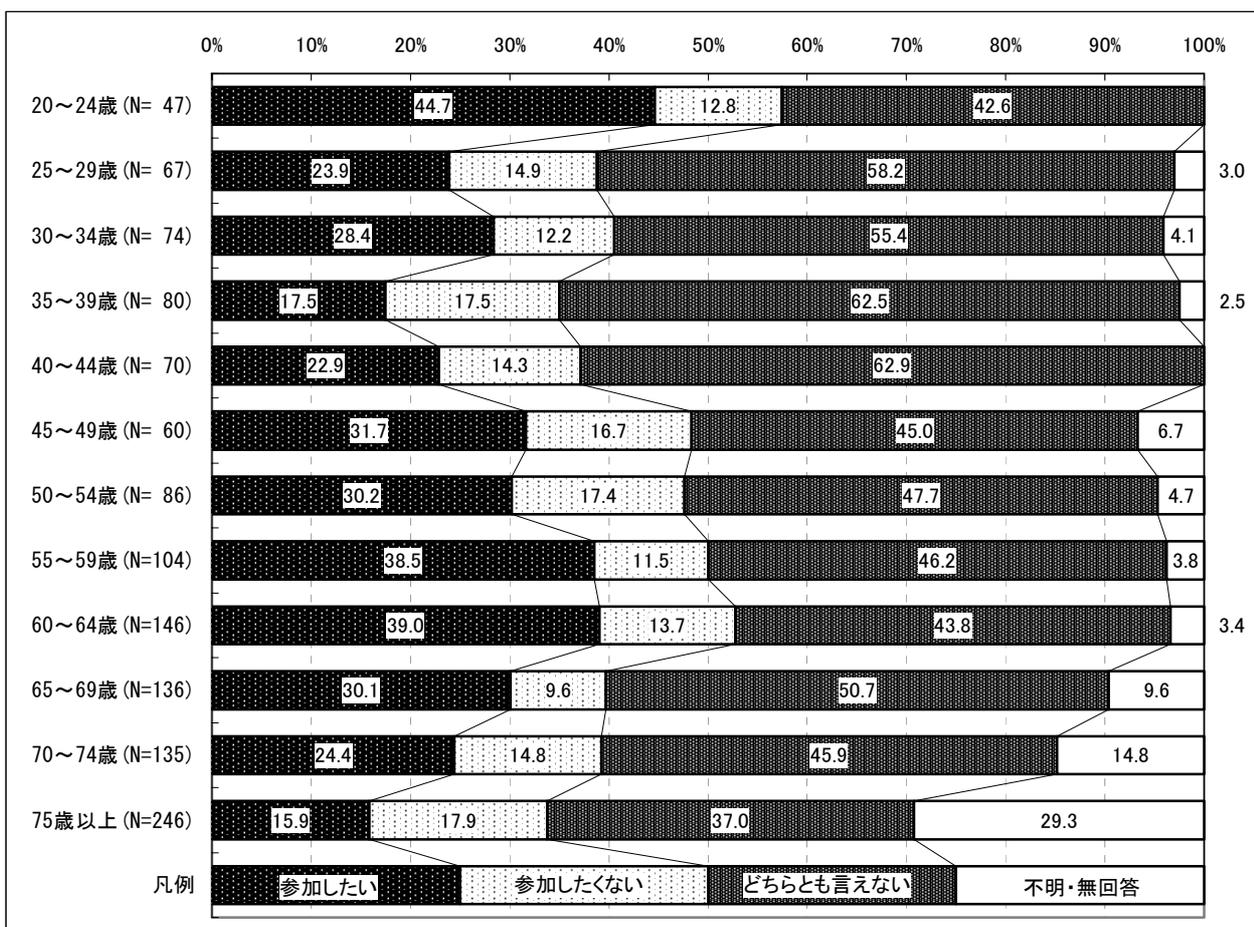
#### 【年代別】

「参加したい」がもっとも高いのは「20歳～24歳」で、同じ20歳代でも「25～29歳」と大きく差が広がっています。「参加したい」がもっとも低いのは「75歳以上」で、年齢的なこともあると思いますが、次いで低いのが「35～39歳」となっており、「どちらとも言えない」がより高くなっています。

問 1 9 (男女別)



問 1 9 (年代別)

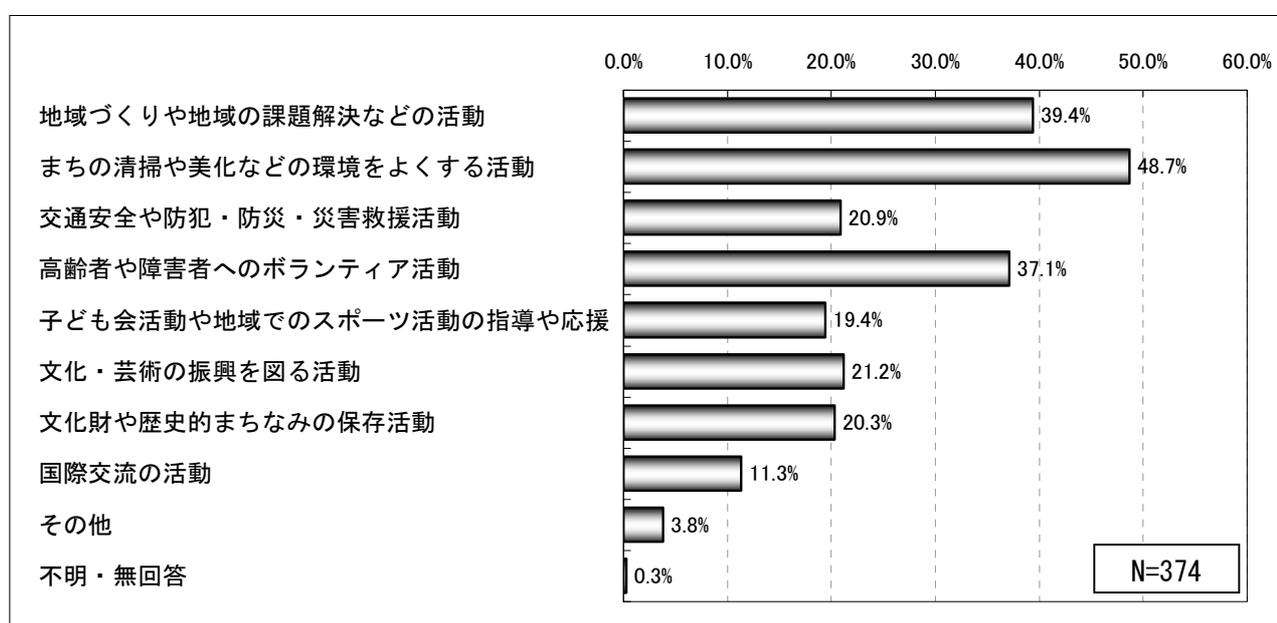


### (3) 参加したい活動の内容

#### 問19-1. 問19で「1. 参加したい」とお答えの方にお聞きします。どのような内容の活動に参加したいですか。〈〇は3つまで〉

問19で「1. 参加したい」と回答された 374 人に、どのような活動に参加したいか聞いたところ、「まちの清掃や美化などの環境をよくする活動」が 48.7%と約半数となっています。次いで、「地域づくりや地域の課題解決などの活動」が 39.4%、「高齢者や障害者へのボランティア活動」が 37.1%となっています。

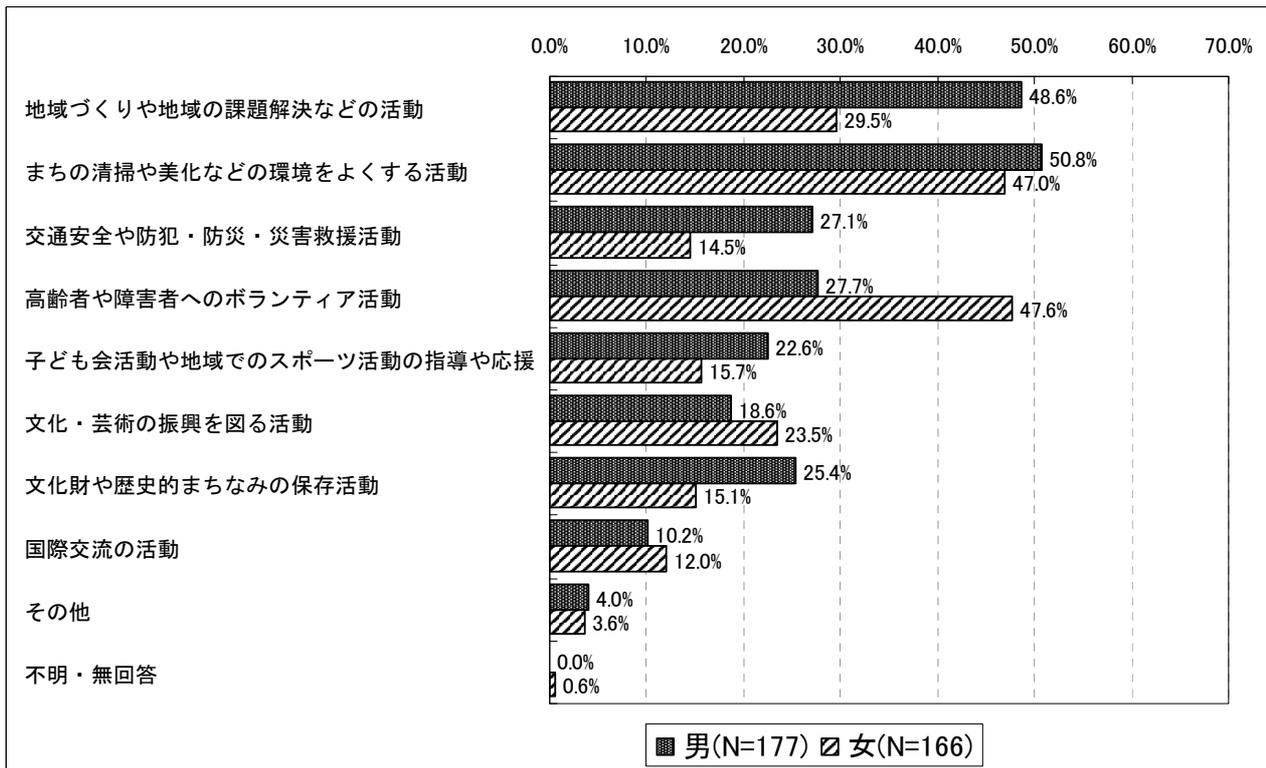
#### 問19-1 (全体)



#### 【男女別】

「まちの清掃や美化などの環境をよくする活動」は男女いずれも約5割となっていますが、「地域づくりや地域の課題解決などの活動」は男性の方が5割、女性が3割、「高齢者や障害者へのボランティア活動」には女性が5割、男性が3割とほぼ逆の意向があらわれています。

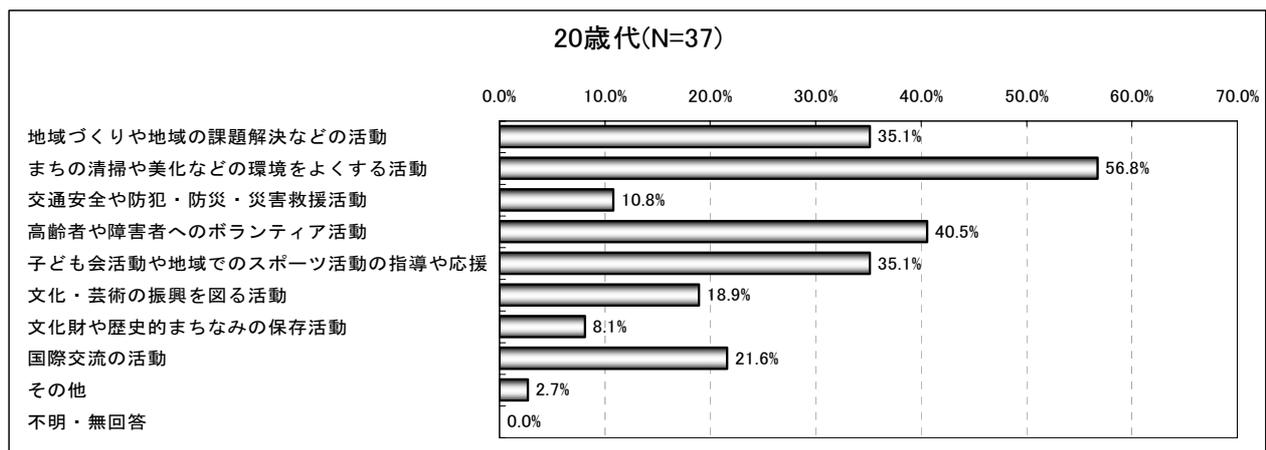
問 1 9-1 (男女別)



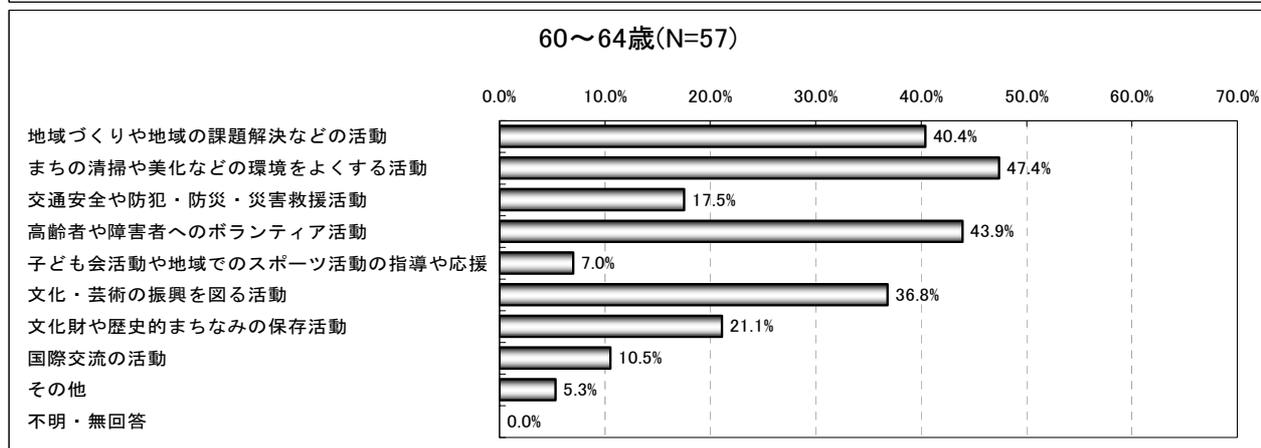
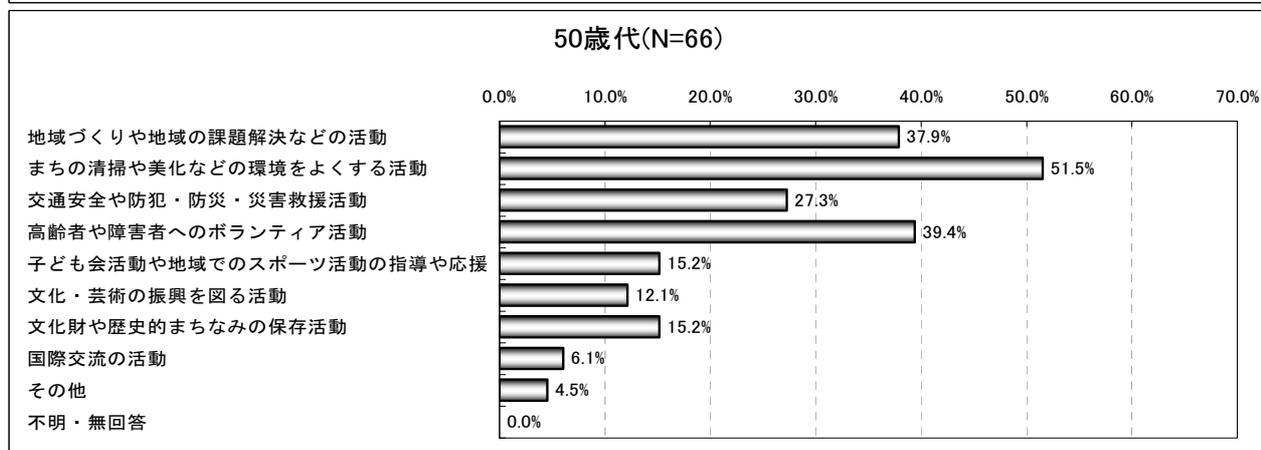
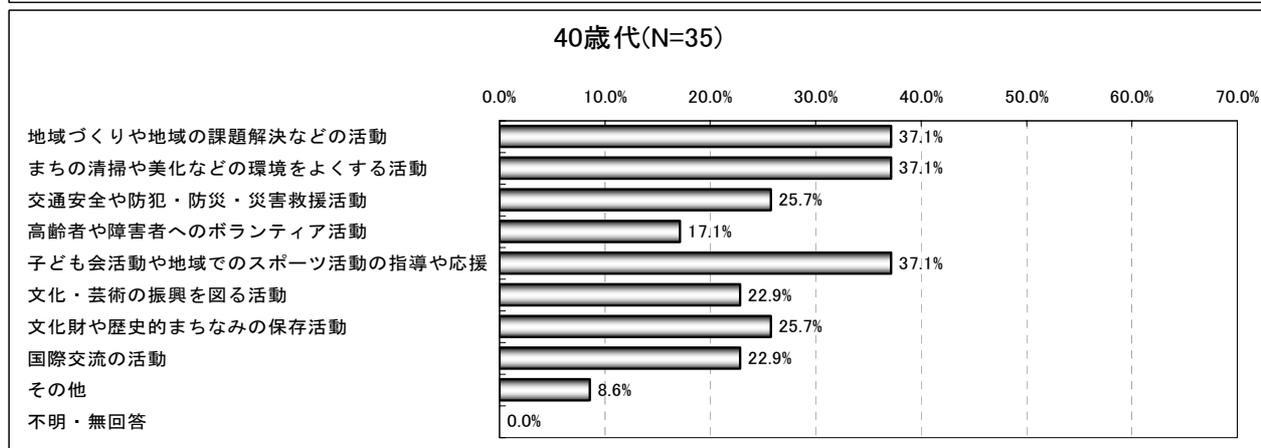
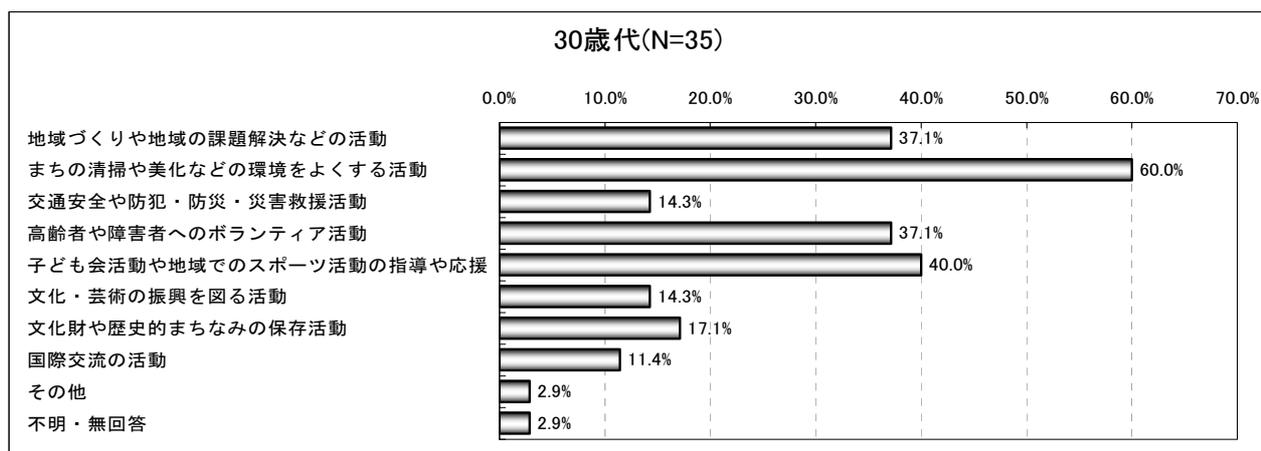
【年代別】

「75 歳以上」を除くと、いずれの年代においても「まちの清掃や美化などの環境をよくする活動」がもっとも高くなっており、特に 30 歳代で6割と高くなっています。

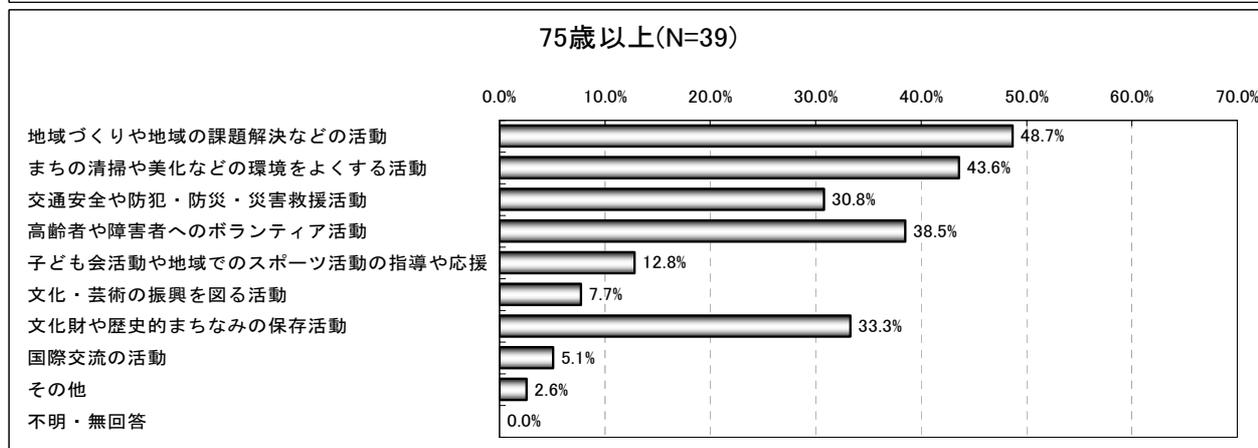
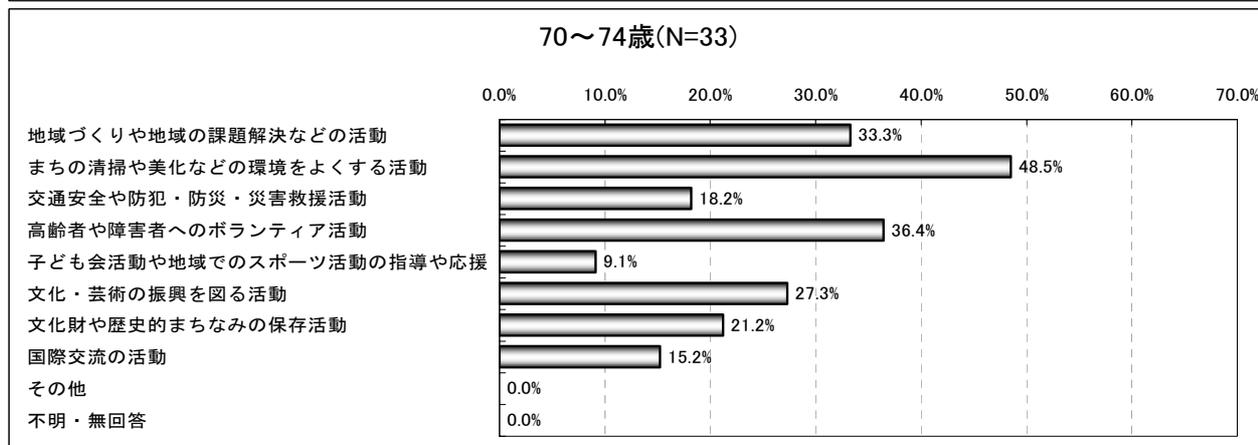
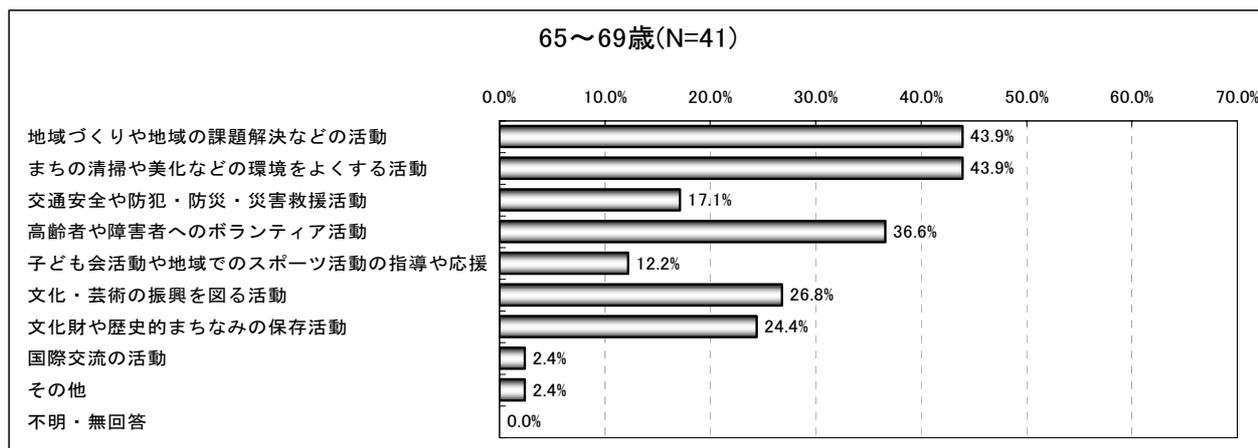
問 1 9-1 (年代別)



問19-1 (年代別) つづき



問19-1 (年代別) つづき

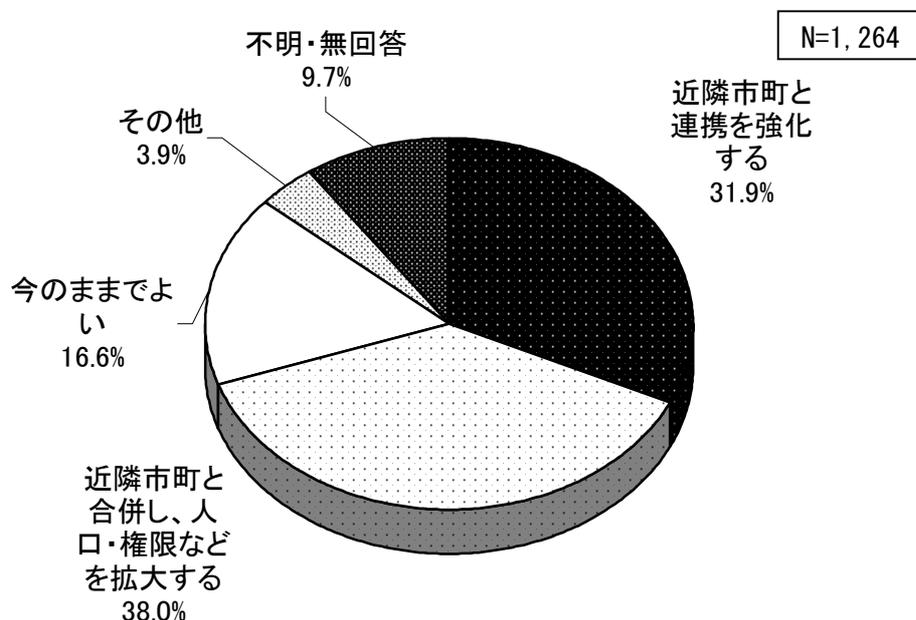


## 8 行政の広域化

問20. これからの時代によっては、行政のあり方が大きく変わることも考えられます。行政の広域化についてどのようにお考えですか。〈〇は1つ〉

行政の広域化については「近隣市町と合併し、人口・権限などを拡大する」が38.0%でもっとも高くなっていますが、「近隣市町と連携を強化する」も31.9%となっており、「今のままでよい」は16.6%にとどまるなど、いずれにしても近隣市町との合併もしくは連携を住民の方も意識されていることがうかがえます。

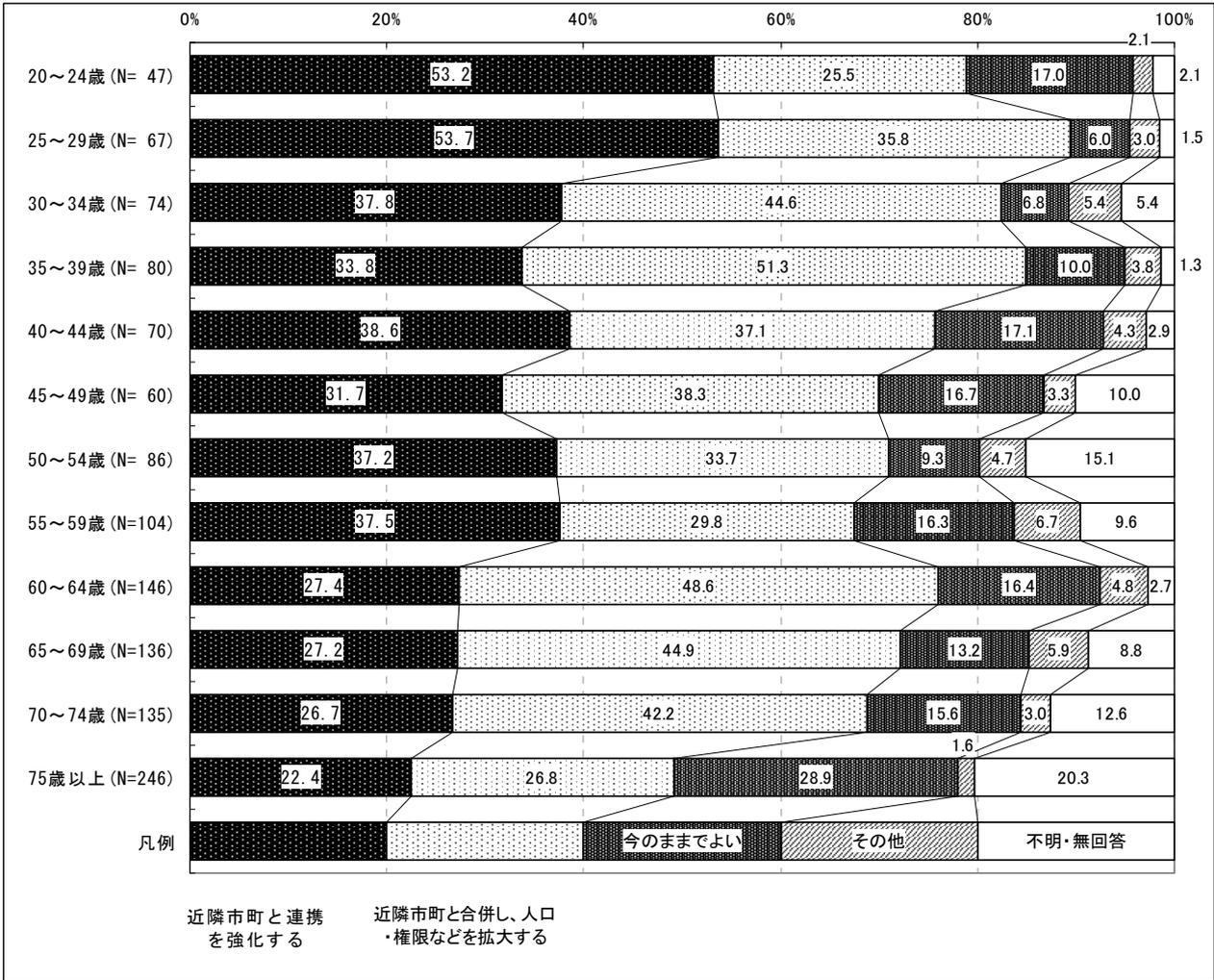
問20（全体）



### 【年代別】

20歳代では「近隣市町と連携を強化する」が5割を超えもっとも高く、30歳代以上では「近隣市町と合併し、人口・権限などを拡大する」がもっとも高くなっています。「今のままでよい」は「75歳以上」で高くなり、「25～29歳」、「30～34歳」で低くなっています。

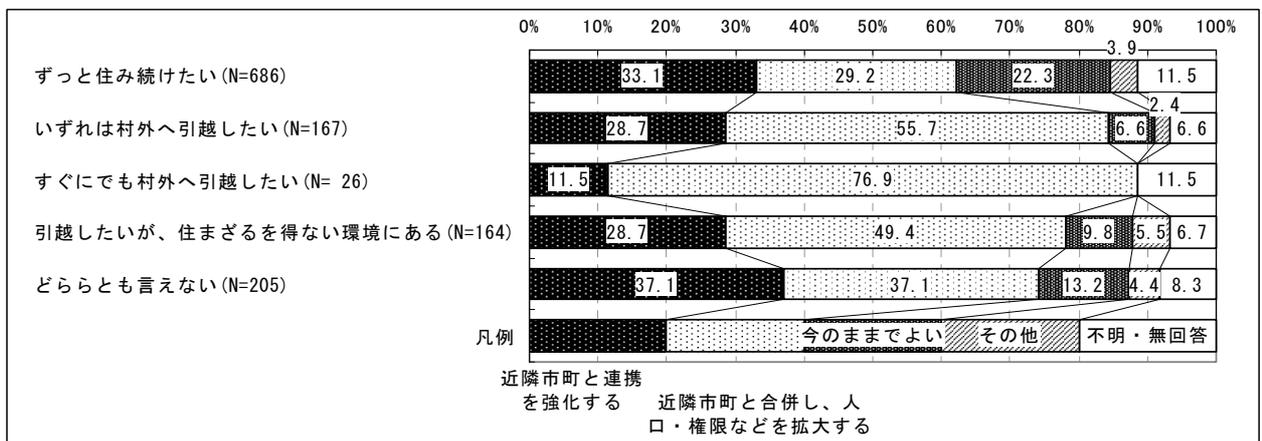
問 2 0 (年代別)



【定住意向別】

「ずっと住み続けたい」では、「近隣市町と連携を強化する」がもっとも高く、また、「今のままでよい」とする比率も高くなっていますが、「すぐにでも村外へ引っ越したい」はサンプル数が少ないものの「近隣市町と合併し、人口・権限などを拡大する」が8割近くを占めています。

問 2 0 (定住意向別)



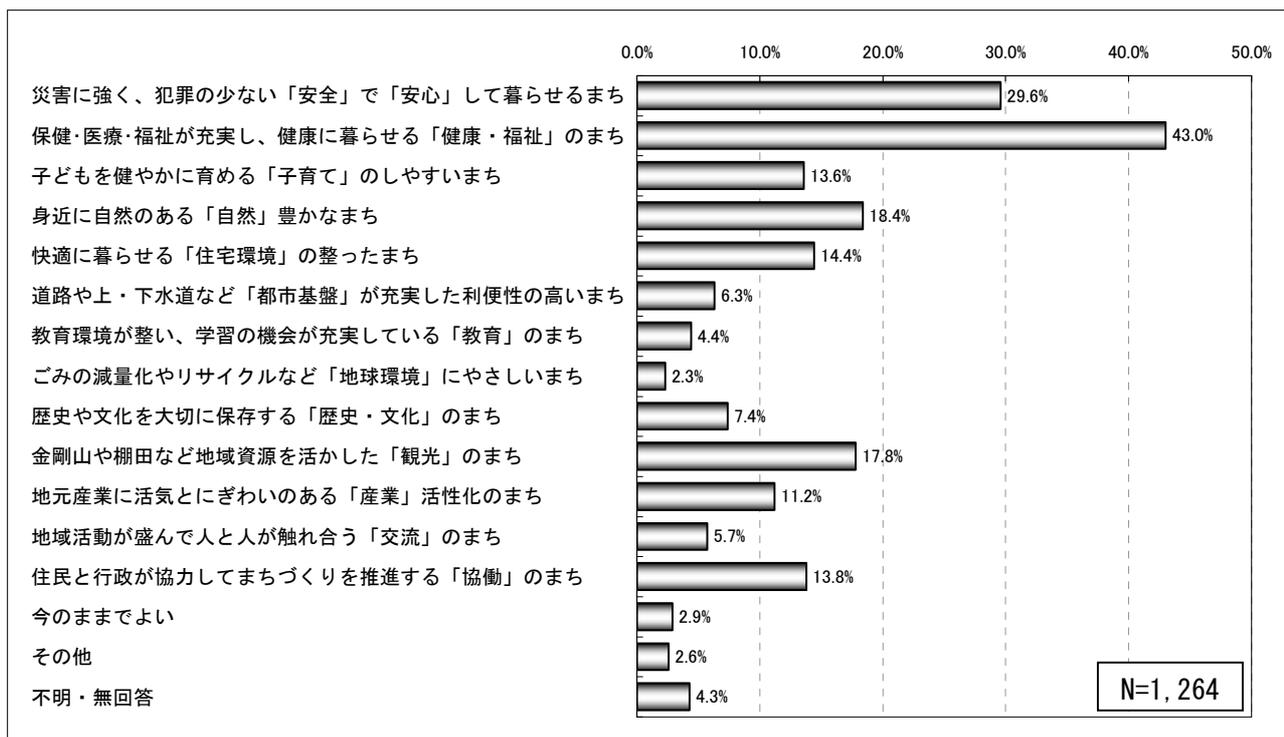
## 9 村の望ましい将来像

### (1) 村の将来像

#### 問21. 将来、千早赤阪村がどのようなまちであってほしいとお考えですか。〈〇は2つ〉

将来の望ましい姿としては、「保健・医療・福祉が充実し、健康に暮らせる「健康・福祉」のまち」が 43.0%でもっとも高くなっています。次いで「災害に強く、犯罪の少ない「安全」で「安心」して暮らせるまち」が 29.6%となっています。村への愛着や誇りを感じる理由で「緑が豊富で潤いがある」が74.5%、将来の土地利用でも「緑・自然を保全する土地利用」が25.3%とそれぞれ高くなっていますが、将来の姿として「身近にある「自然」豊かなまち」は18.4%にとどまっています。

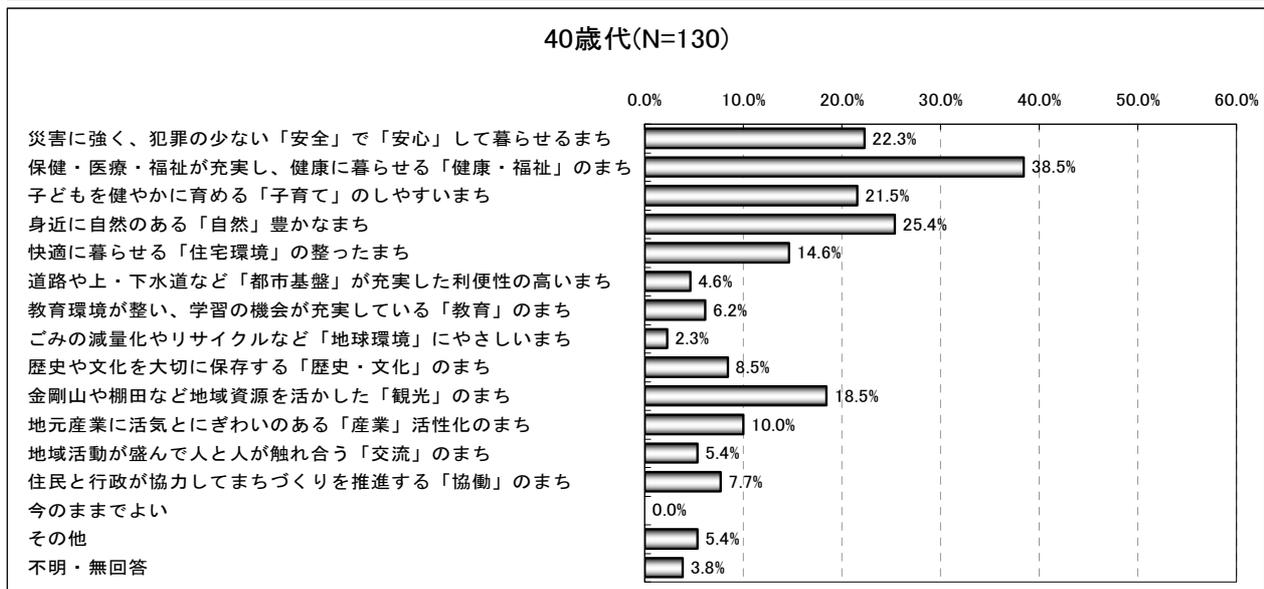
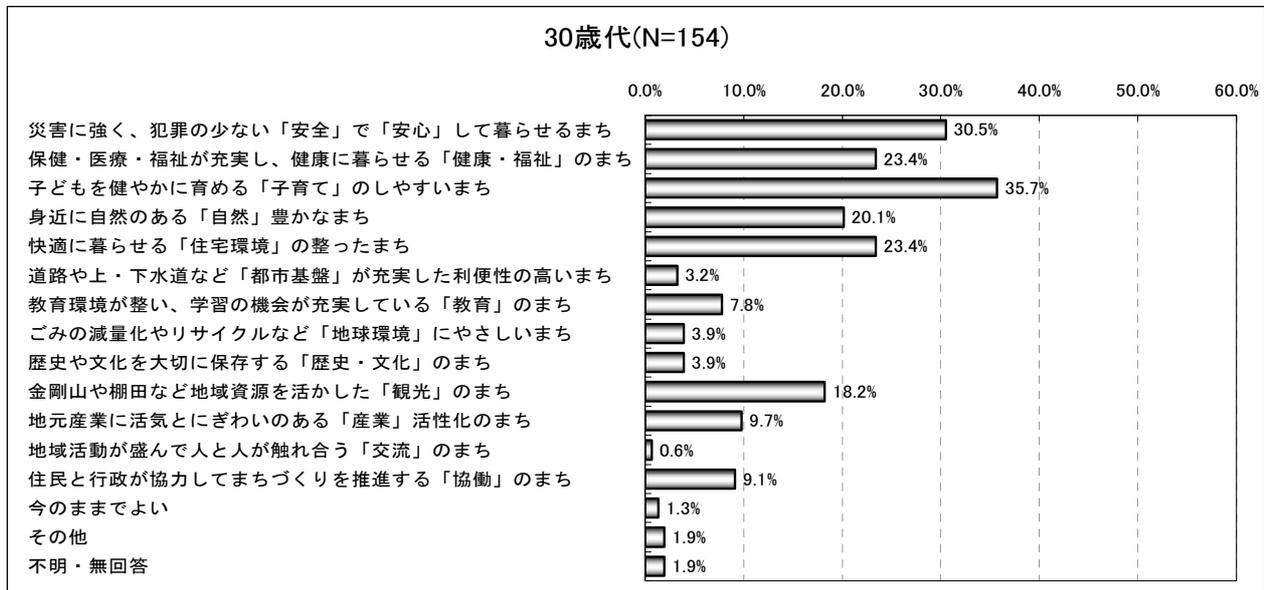
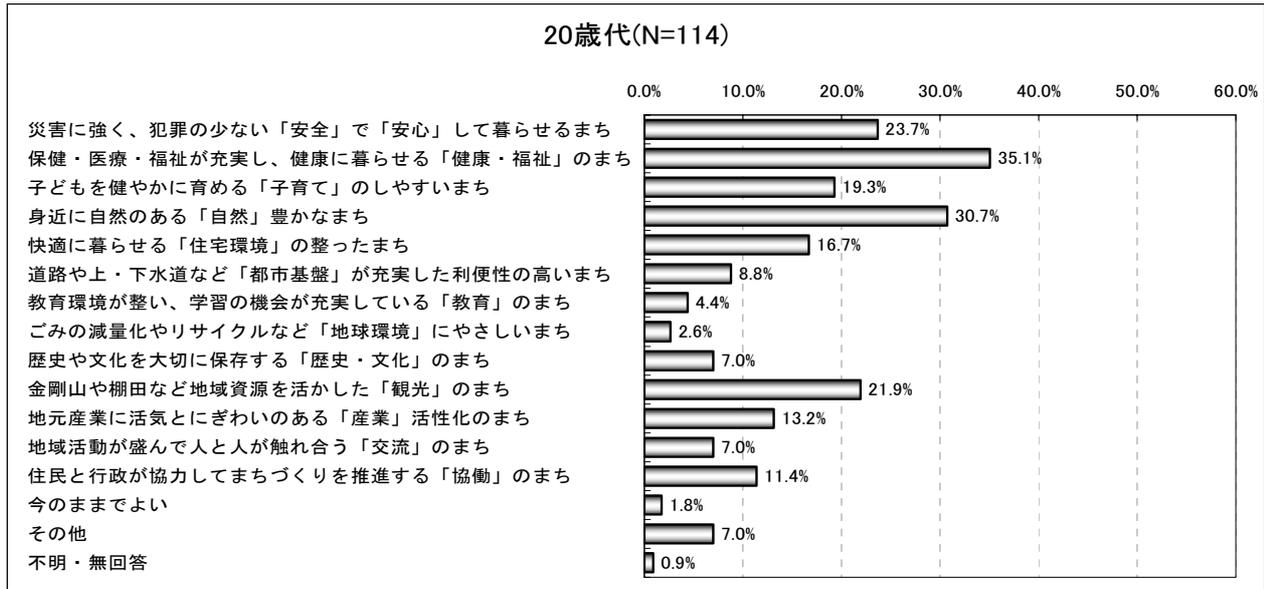
#### 問21 (全体)



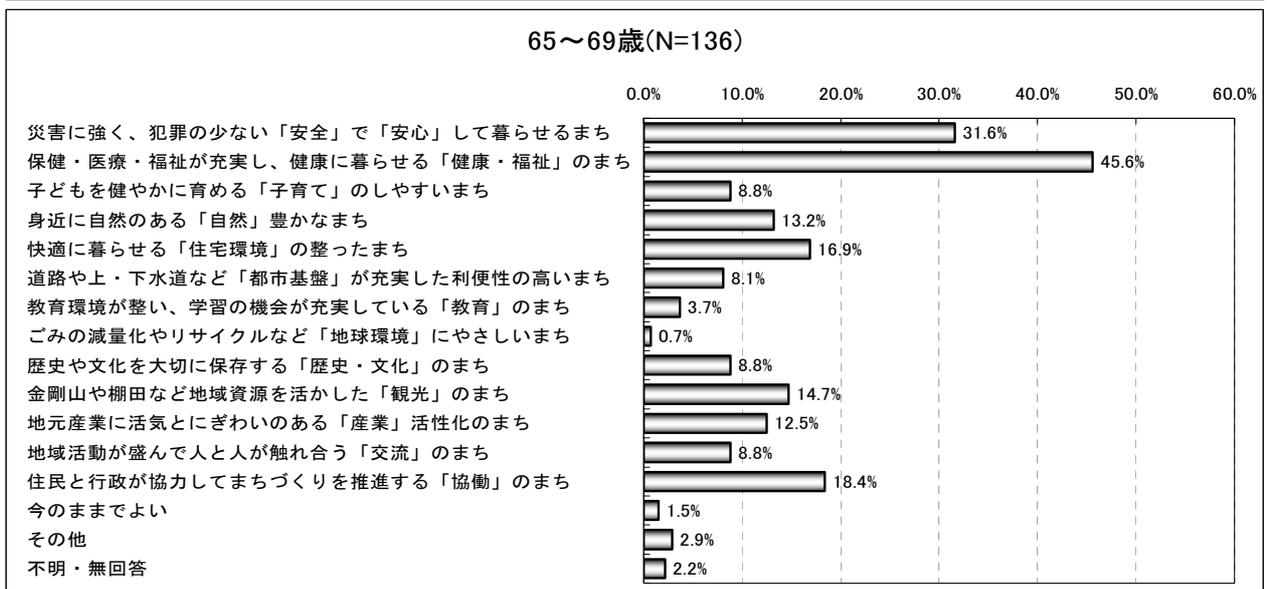
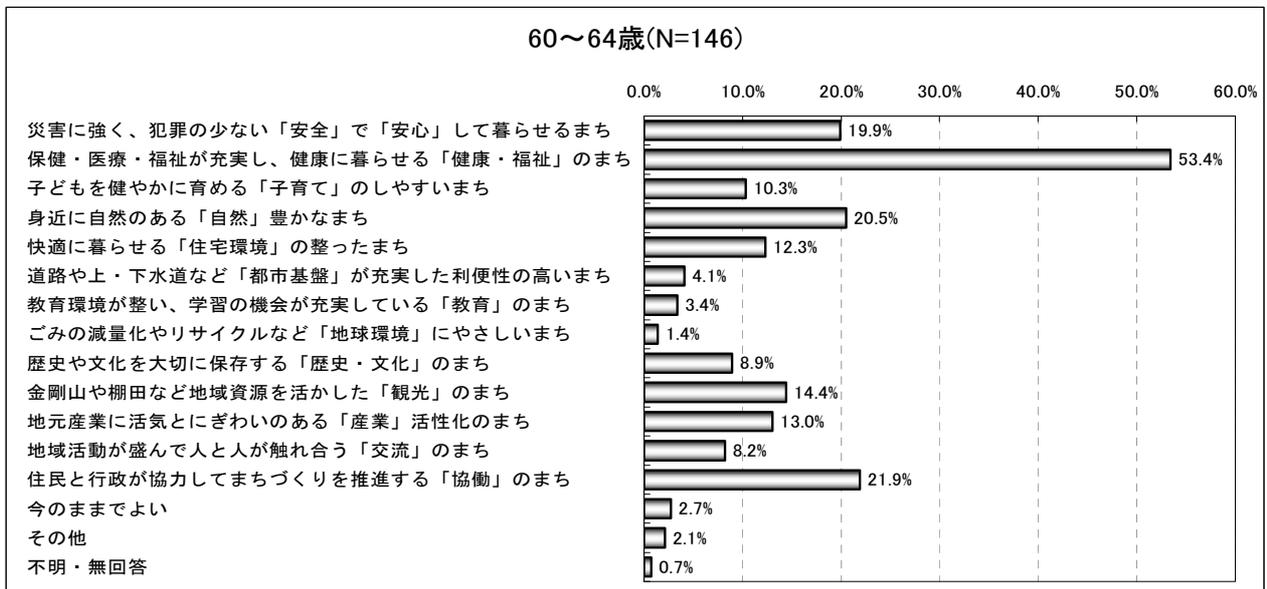
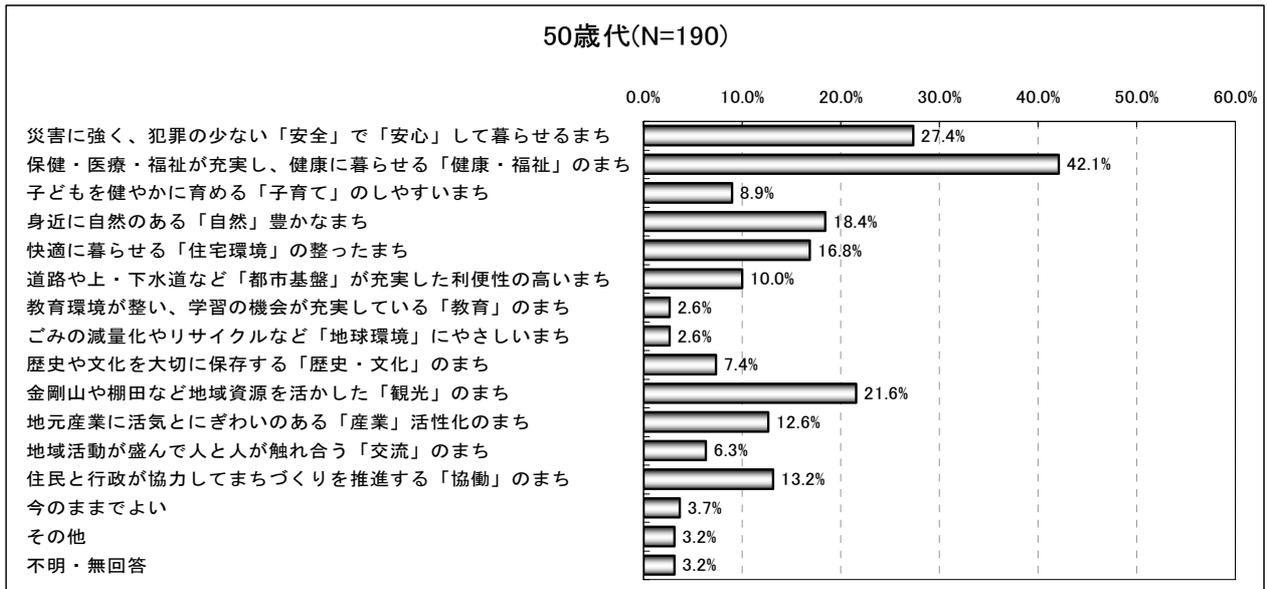
#### 【年代別】

30歳代は子育ての現役世代の中心でもあり、「子どもを健やかに育てる「子育て」のしやすいまち」が 35.7%で高くなっています。「保健・医療・福祉が充実し、健康に暮らせる「健康・福祉」は「60～64歳」で特に高くなっています。

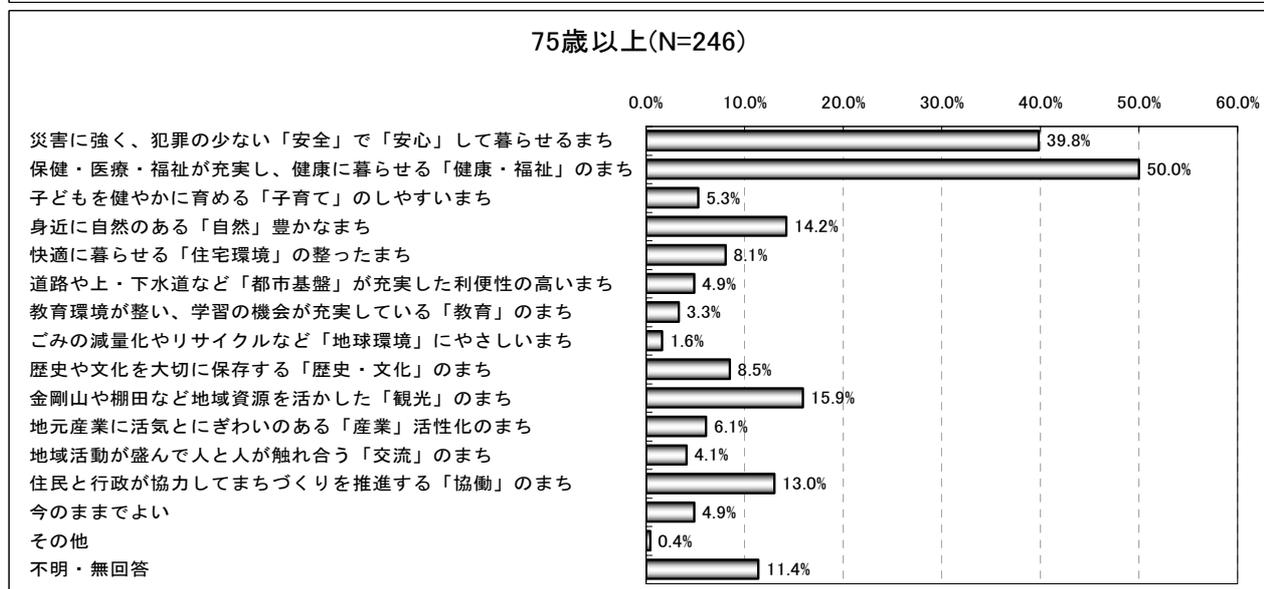
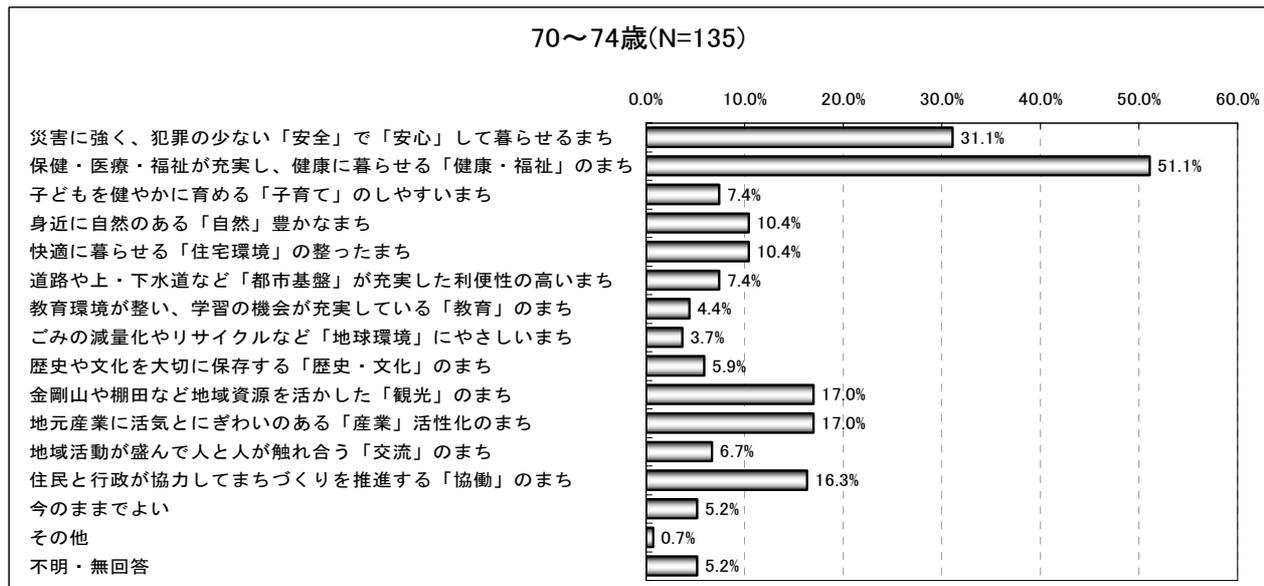
問 2 1 (年代別)



問 2 1 (年代別) つづき



問 2 1 (年代別) 一つづき

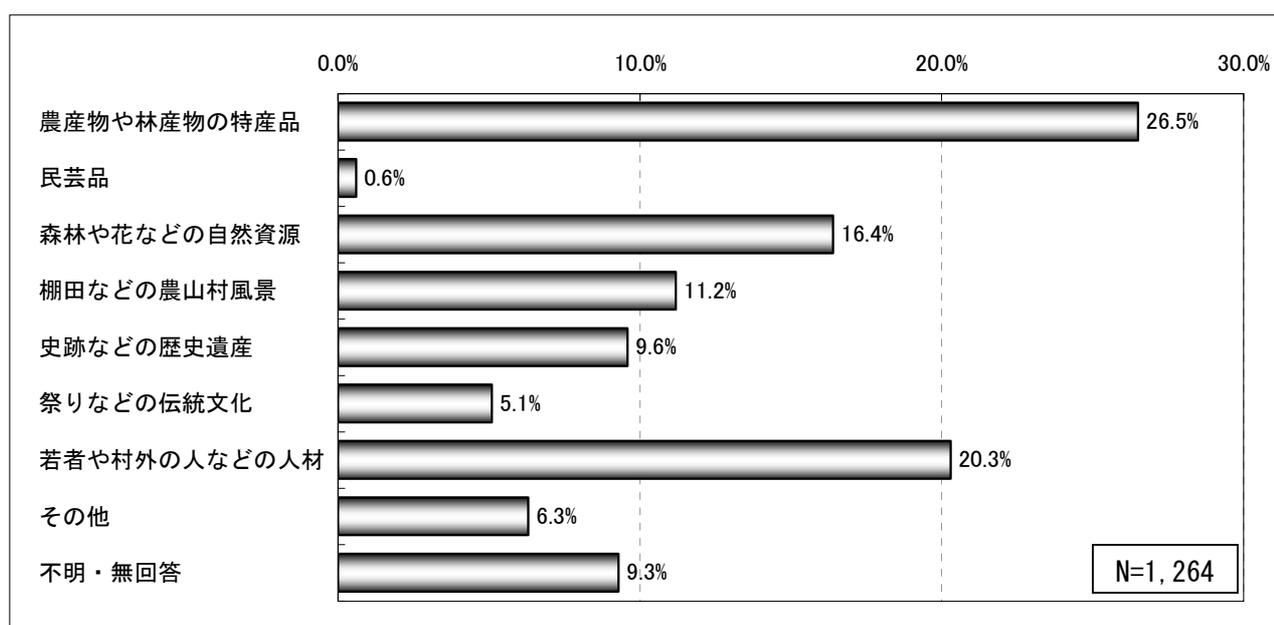


## (2) 村が活性化するための地域資源

### 問22. 千早赤阪村が活性化するためには、どのような地域資源を活かしていけばよいと考えますか。〈〇は1つ〉

村が活性化するために活かしていく地域資源としては、「農産物や林産物の特産品」がもっとも高くなっています。次いで、「若者や村外の人などの人材」が20.3%となっています。

#### 問22 (全体)

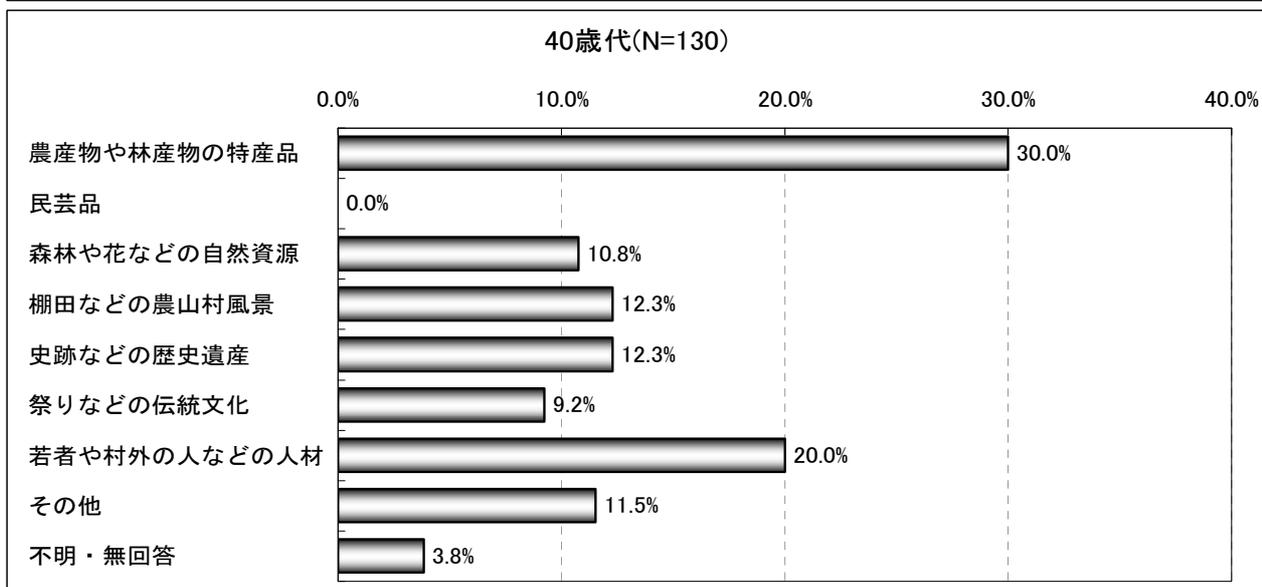
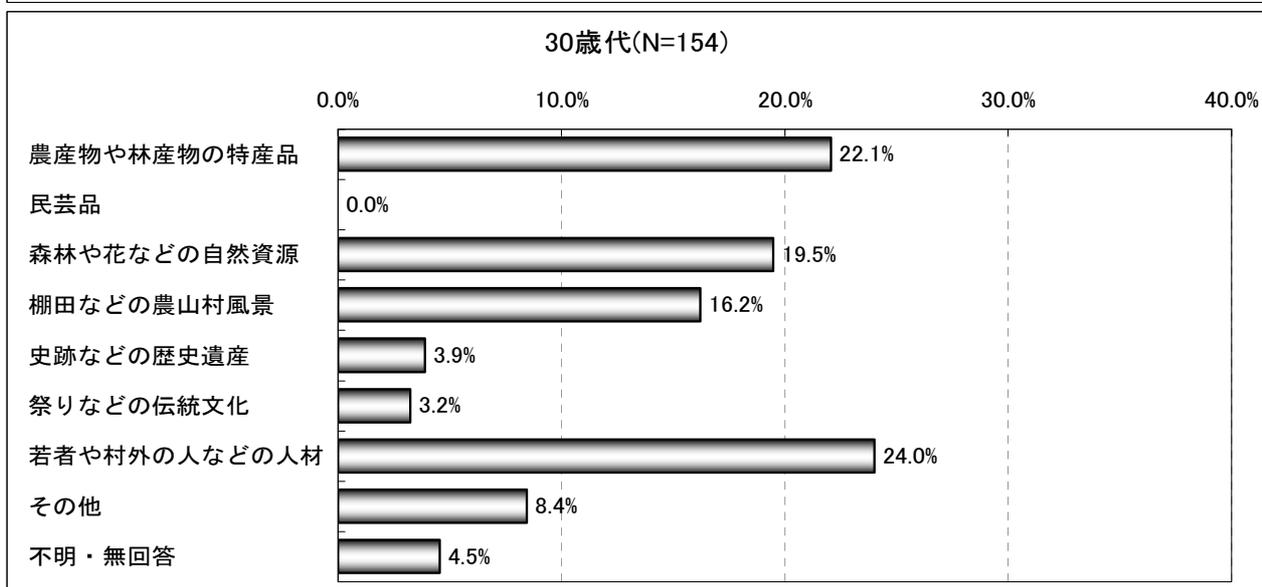
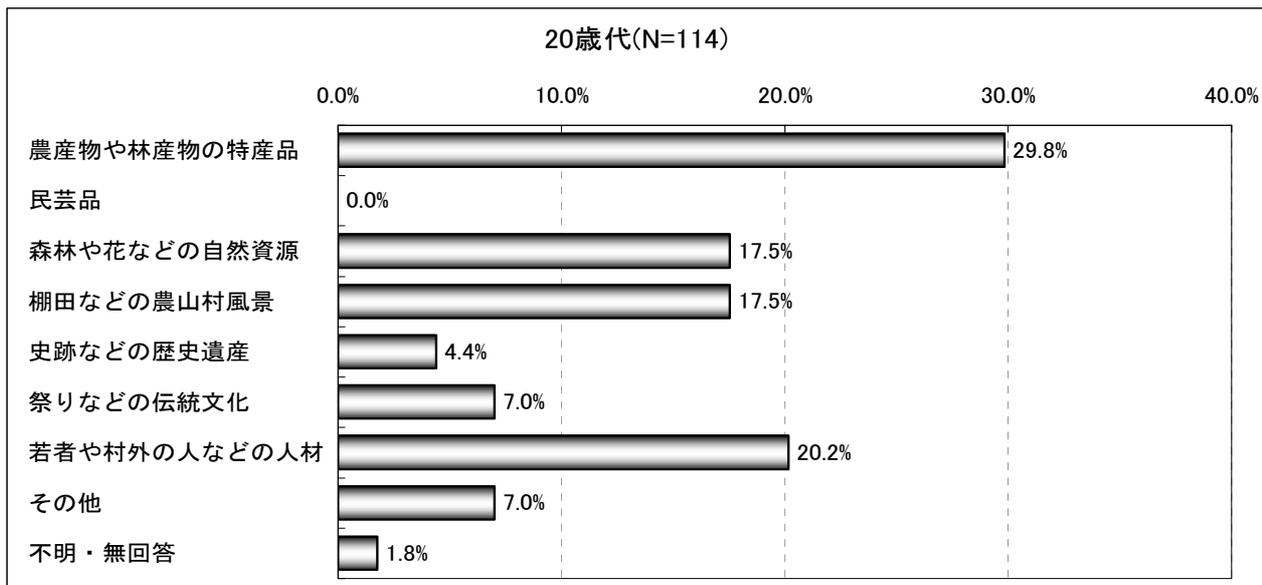


※設問は「1つまで」でしたが、複数に〇をするケースが多かったため、複数回答として集計しています。

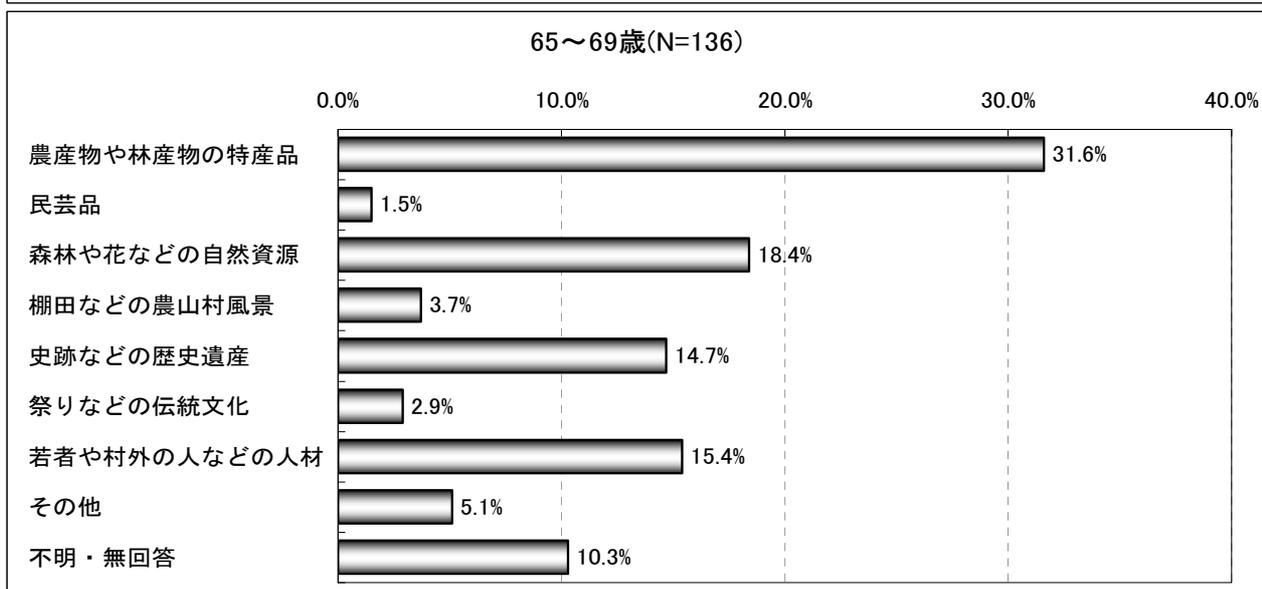
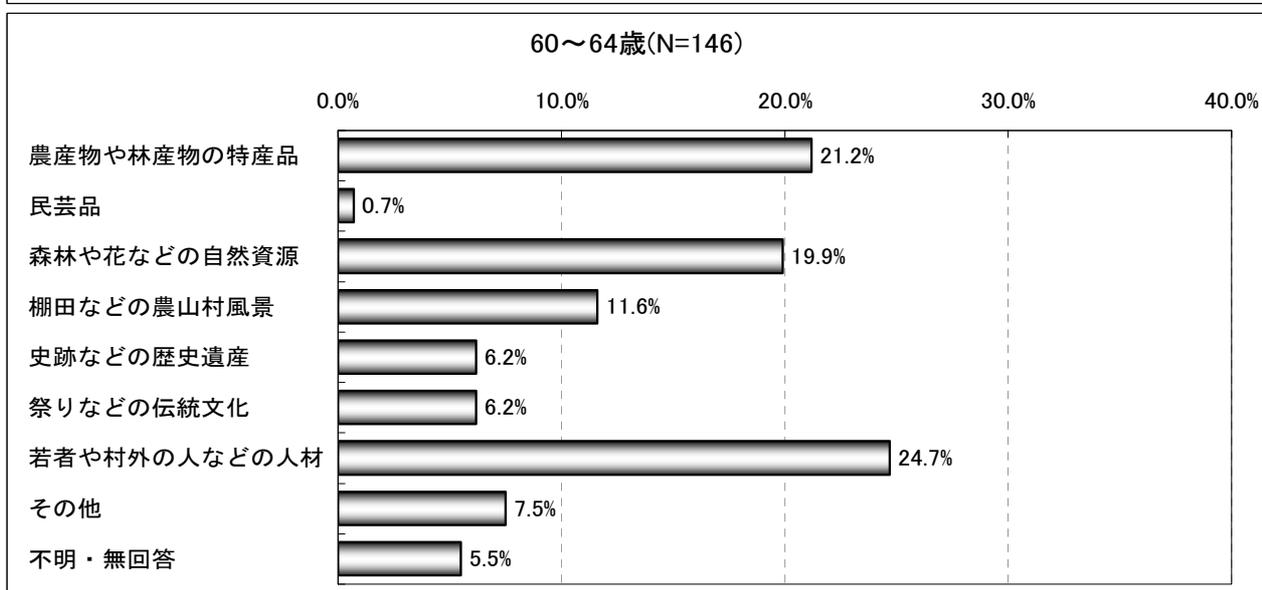
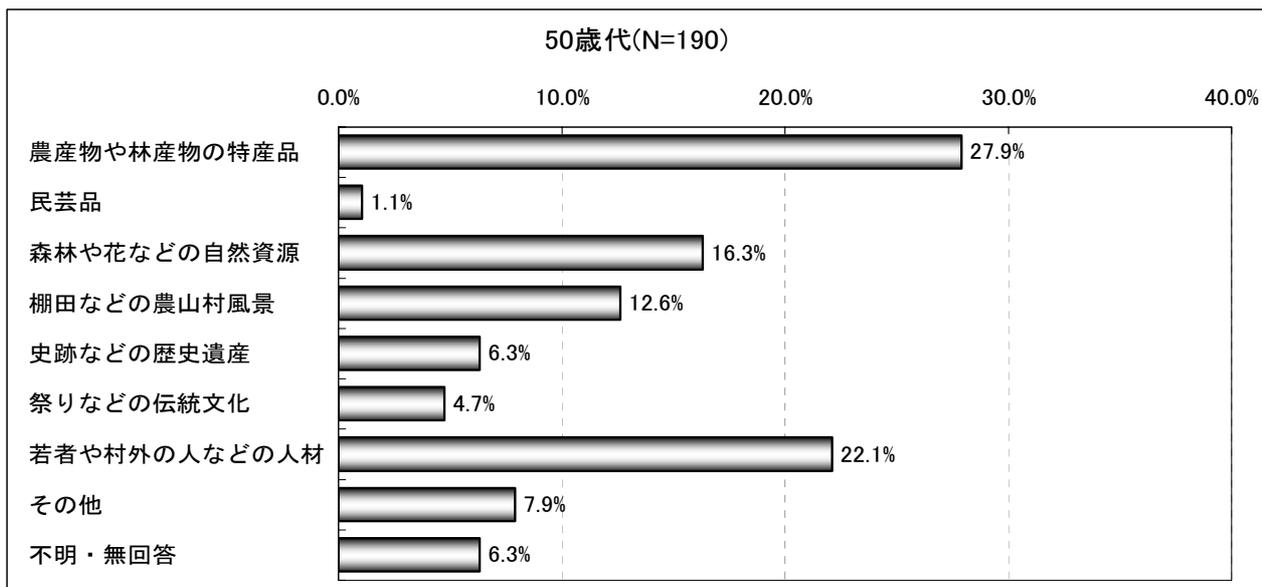
#### 【年代別】

年代別に意識の差があるようで、20歳代、40歳代、50歳代、「65～69歳」では「農産物や林産物の特産品」がもっとも高く、30歳代、「60～64歳」では「若者や村外の人などの人材」がもっとも高くなっています。70歳以上は2つの項目がほぼ同率となっています。

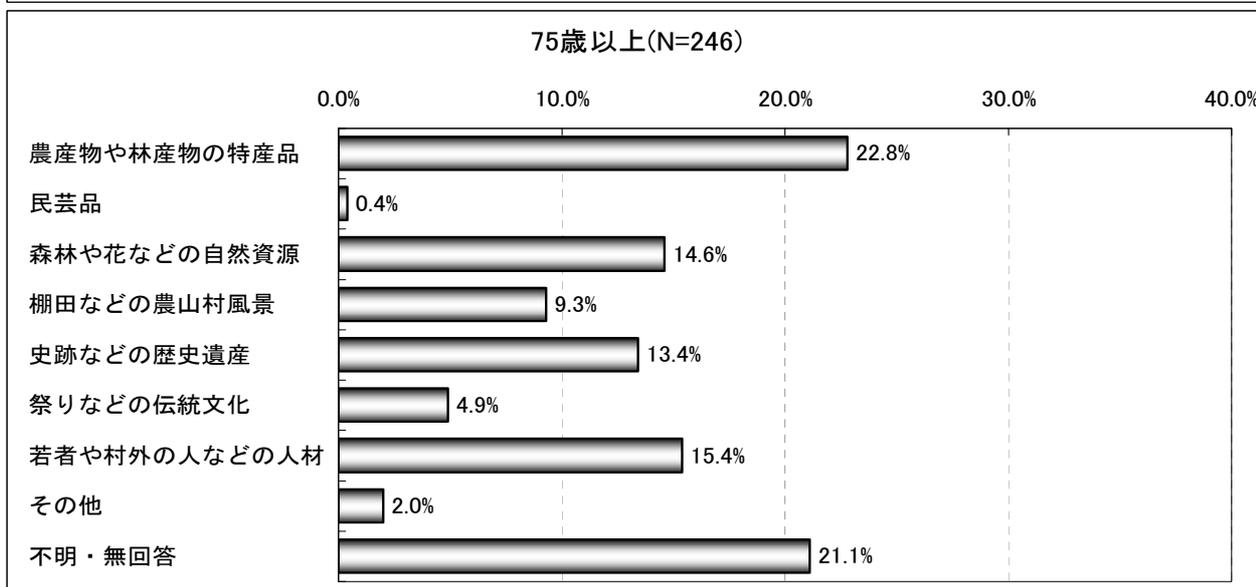
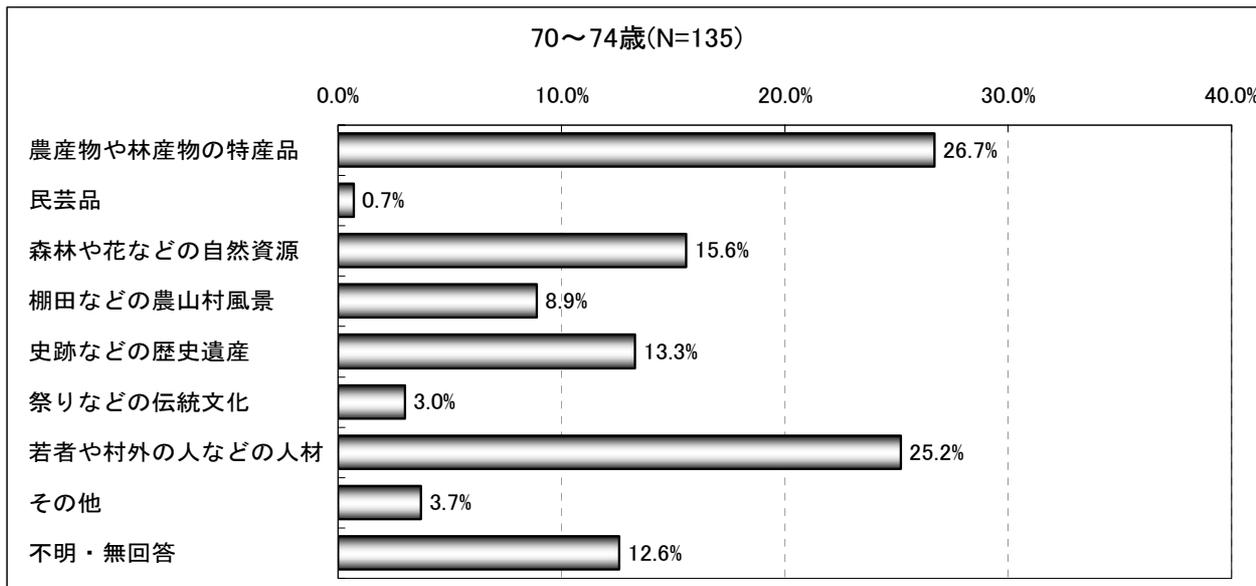
問 2 2 (年代別)



問 2 2 (年代別) - つづき



問 2 2 (年代別) つづき



**問23. 最後に、千早赤阪村の現況やこれからのまちづくりなどについて、何かご意見・提案・アイデアなどがあれば、自由にご記入ください。**

次のような内容です。

- ・人口について：44 件
- ・土地利用について：21 件
- ・自然と歴史文化について：53 件
- ・都市基盤について：113 件
- ・産業の振興について：115 件
- ・安全・安心について：26 件
- ・学習・教育について：4 件
- ・協働・行政について：186 件
- ・その他について：41 件



## **IV 付属資料（調査票）**



# <第4次千早赤阪村総合計画>

## 総合計画づくりに関する住民アンケート ご協力をお願いします

日頃は村政運営にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

千早赤阪村では、平成13年に「人・自然・歴史—やすらぎの里 ちはやあかさか」を村の将来像とする第3次千早赤阪村総合計画（目標年度：平成22年度）を策定し、様々な施策の推進に努めております。

このたび、平成22年度をもって第3次総合計画が終了することから、平成23年度を初年度とする第4次総合計画の策定に向け着手することとなりました。

本アンケートは、20歳以上の村民の中から無作為に抽出した2,500人の方々を対象に郵送するもので、村民の皆様のご意見を総合計画の策定に反映させ、将来の“ちはやあかさか”、住みよい“ちはやあかさか”の実現をめざすために行うものです。

ぜひ、あなたの将来の村づくりへのお考えをお聞かせください。

平成22年3月

千早赤阪村長 松本昌親

### アンケートにお答えいただく際の留意点

- |          |   |
|----------|---|
| お答えいただく方 | 宛名のご本人がお答え下さい。ご本人のご記入が難しい場合は、ご家族に代筆をお願いしてください。  |
| 回答方法     | アンケート用紙に直接ご記入下さい。各設問であてはまる番号を○で囲むか具体的に記入してください。 |
| 返送方法     | 回答後、お名前を書かずに同封の返信用封筒でご返送ください。切手はいりません。          |
| しめ切り     | <b>3月26日(金)</b> までに郵便ポストへご投函ください。               |

アンケート調査結果は、統計的な処理を行いますので、個人に迷惑がかかることは一切ありません。また、集計結果はホームページなどでお知らせいたします。

### 【問い合わせ】

千早赤阪村総務課秘書政策グループ TEL 0721-72-0081（代表）

## 1 回答者の属性

問1. まず、あなたご自身のことについておうかがいします。

(1) あなたの性別は。〈○は1つ〉

- |      |      |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

(2) あなたの年齢は。〈○は1つ〉

- |            |           |           |           |            |
|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 1. 20～24歳  | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 | 5. 40～44歳  |
| 6. 45～49歳  | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 | 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 |
| 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |           |           |            |

(3) あなたのご職業は。(兼業されている方は主な職業) 〈○は1つ〉

- |          |            |          |            |
|----------|------------|----------|------------|
| 1. 農業・林業 | 2. 商工自営業   | 3. 給与所得者 | 4. パートタイマー |
| 5. 無職    | 6. その他 ( ) |          |            |
- ※学生、主婦の方は「6. その他」とし、( ) 内に「学生」又は「主婦」と記入してください。

問2. あなたは、村内のどの地区にお住まいですか。〈○は1つ〉

- |        |        |         |         |
|--------|--------|---------|---------|
| 1. 森屋  | 2. 水分  | 3. 桐山   | 4. 二河原辺 |
| 5. 川野辺 | 6. 吉年  | 7. 小吹   | 8. 中津原  |
| 9. 東阪  | 10. 千早 | 11. 小吹台 |         |

問3. あなたは、いつ頃から千早赤阪村にお住まいですか。〈○は1つ〉

- |              |               |               |
|--------------|---------------|---------------|
| 1. 昭和30年以前   | 2. 昭和31年～40年  | 3. 昭和41年～50年  |
| 4. 昭和51年～60年 | 5. 昭和61年～平成7年 | 6. 平成8年～平成17年 |
| 7. 平成18年以降   |               |               |

問4. あなたの家族構成は。〈○は1つ〉

- |            |         |           |             |
|------------|---------|-----------|-------------|
| 1. 単身      | 2. 夫婦のみ | 3. 親と子で構成 | 4. 親・子・孫で構成 |
| 5. その他 ( ) |         |           |             |

問5. あなたの住んでいる住宅の所有形態は。〈○は1つ〉

- |        |       |         |            |
|--------|-------|---------|------------|
| 1. 持ち家 | 2. 借家 | 3. 社宅・寮 | 4. その他 ( ) |
|--------|-------|---------|------------|

## 2 千早赤阪村のイメージ

問6. あなたは、千早赤阪村らしさをイメージする時、どのような言葉が浮かびますか? 単語または箇条書きをお願いします。(例: 山・川・文化・楠木正成・花・城跡など) 〈○は1つ〉

- |             |
|-------------|
| 1. 具体的に ( ) |
| 2. 特にない     |

### 3 村への愛着度・村の魅力・定住意向

問7. あなたは、今後とも千早赤阪村に住み続けたいと思いますか。〈〇は1つ〉

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1. ずっと住み続けたい     | 2. いずれは村外へ引越したい         |
| 3. すぐにでも村外へ引越したい | 4. 引越したいが、住まざるを得ない環境にある |
| 5. どちらとも言えない     |                         |

問8. 前の問7で、2又は3とお答えになった方におうかがいします。問7で「2. いずれは村外へ引越したい」又は「3. すぐにでも村外へ引越したい」と答えられたのは、どのような理由からですか。

また、「4. 引越したいが、住まざるを得ない環境にある」と答えられた「引越したい」理由は、どのような理由からですか。〈〇は1つ〉

- |                          |                |            |
|--------------------------|----------------|------------|
| 1. 転職を考えており、他の場所へ移る必要がある | 2. 買物など日常生活に不便 |            |
| 3. 通勤、通学に不便              | 4. 子どもの教育の関係   | 5. 住宅環境が悪い |
| 6. 余暇（趣味）活動をする場所が少ない     |                |            |
| 7. その他（具体的に： _____）      |                |            |

問9. あなたは、千早赤阪村に愛着や誇りを感じておられますか。〈〇は1つ〉

- |           |             |              |              |
|-----------|-------------|--------------|--------------|
| 1. 感じている  | 2. 少しは感じている | 3. どちらともいえない | 4. あまり感じていない |
| 5. 感じていない |             |              |              |

問10. 前の問9で「1. 感じている」又は「2. 少しは感じている」とお答えになられた方におうかがいします。千早赤阪村に愛着や誇りを感じているのは、どのような理由からですか。〈〇は3つまで〉

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 生まれ育った村            | 2. 緑が豊富で潤いがある            |
| 3. 災害が少ない             | 4. 公害が少ない                |
| 5. 犯罪が少ない             | 6. 歴史や伝統文化に恵まれている        |
| 7. 買物など日常生活に便利        | 8. 交通の便がよい               |
| 9. 住宅環境がよい            | 10. 人情味が豊かで住みやすい         |
| 11. レクリエーション施設が充実している | 12. 教育・文化施設による文化活動が活発である |
| 13. 子どもの教育環境がよい       | 14. 医療・福祉サービスなどが行き届いている  |
| 15. その他（具体的に： _____）  |                          |

問11. 先の問9で「4. あまり感じていない」又は「5. 感じていない」とお答えになられた方におうかがいします。千早赤阪村に愛着や誇りを感じていないのは、どのような理由からですか。〈〇は3つまで〉

- |                            |                    |               |
|----------------------------|--------------------|---------------|
| 1. 住んで間もないため               | 2. 道路が狭く生活しにくい     | 3. 災害が多い      |
| 4. 公害が多い                   | 5. 犯罪が多い           | 6. 伝統文化が薄れている |
| 7. 買物など日常生活に不便である          | 8. 交通の便が悪い         | 9. 住宅環境が悪い    |
| 10. 人情味が薄く住みにくい            | 11. レクリエーション施設が少ない |               |
| 12. 教育・文化施設が少なく、文化活動が活発でない | 13. 子どもの教育環境が悪い    |               |
| 14. 医療・福祉サービスが行き届いていない     |                    |               |
| 15. その他（具体的に： _____）       |                    |               |

## 4 施策ごとの満足度

問1 2. あなたは、次のそれぞれの項目について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。項目ごとの現状評価と今後の重要度について、あなたのお考えに一番近い番号を「1～4」の中からそれぞれ選んで、番号に○をつけてください。難しく考えずに、イメージをお願いします。〈○は1つずつ、計2つ〉

設問項目	現状評価				今後の重要度			
	十分である	まあまあである	やや不十分である	不十分である	重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない
記入例	1	2	③	4	1	②	3	4
1. 道路の整備（舗装・新設・改良など）	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 福祉の充実（保育・老人福祉・身体障がい者対策など）	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 教育の充実（小中学校の教育など）	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 教育施設の整備（学校の教室整備や校舎等の耐震化など）	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 文化施設の充実（図書室など）	1	2	3	4	1	2	3	4
6. スポーツ施設の充実（体育館・プール・グラウンドなど）	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 公園・緑化対策	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 上水道対策（水道の安定供給など）	1	2	3	4	1	2	3	4
9. 下水道対策（公共下水道の整備など）	1	2	3	4	1	2	3	4
10. 公害対策（騒音・悪臭・廃液など）	1	2	3	4	1	2	3	4
11. 環境衛生対策（ゴミ収集、ゴミの再資源化・再利用など）	1	2	3	4	1	2	3	4
12. 交通安全対策（カーブ・ミラーや交通信号機の設置など）	1	2	3	4	1	2	3	4
13. 青少年対策（青少年の育成・指導体制の充実など）	1	2	3	4	1	2	3	4
14. 防災対策（地震・水害・消防および非常時対策など）	1	2	3	4	1	2	3	4
15. 住宅対策（宅地開発など）	1	2	3	4	1	2	3	4
16. 保健・医療の充実（各種健診・医療対策など）	1	2	3	4	1	2	3	4
17. 産業の振興（農林・商業の振興、育成、融資など）	1	2	3	4	1	2	3	4
18. 公共交通の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
19. 文化財の保護（史跡など）	1	2	3	4	1	2	3	4
20. 消費者の保護（消費者行政の強化・消費者相談など）	1	2	3	4	1	2	3	4
21. 自然環境の保護	1	2	3	4	1	2	3	4
22. 伝統文化の保護	1	2	3	4	1	2	3	4
23. 観光の振興（金剛山や棚田の利活用など）	1	2	3	4	1	2	3	4
24. その他（具体的に )	1	2	3	4	1	2	3	4

## 5 今後の土地利用

問13. あなたの住んでいる地域の周辺は、将来どのような土地利用をすればよいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。〈○は1つ〉

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 戸建住宅を中心とする土地利用   | 2. 中高層住宅を中心とする土地利用         |
| 3. 住宅と商店を中心とする土地利用  | 4. 住宅と工場を中心とする土地利用         |
| 5. 農地を中心とする土地利用     | 6. 観光やレクリエーション施設を中心とする土地利用 |
| 7. 緑・自然を保全する土地利用    |                            |
| 8. その他（具体的に： _____） |                            |

問14. あなたの住宅地以外で、村内に土地をお持ちですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- |                |      |       |       |
|----------------|------|-------|-------|
| 1. 田           | 2. 畑 | 3. 宅地 | 4. 山林 |
| 5. その他（ _____） |      |       |       |
| 6. なし          |      |       |       |

問15. あなたもしくは、あなたの家族で農地をお持ちの方におうかがいします。〈○は1つ〉

問15-1. 農業を営んでいる方におうかがいします。後継者はいますか。

- |       |        |       |
|-------|--------|-------|
| 1. いる | 2. いない | 3. 未定 |
|-------|--------|-------|

問15-2. 一家の収入のうち、農業収入の占める割合はどれくらいですか。

- |             |               |               |
|-------------|---------------|---------------|
| 1. 農業収入がすべて | 2. 農業収入が50%以上 | 3. 農業収入が50%未満 |
|-------------|---------------|---------------|

問15-3. 将来（5年後）の農業経営の規模をどう考えていますか。

- |          |            |
|----------|------------|
| 1. 拡大したい | 2. 縮小したい   |
| 3. 現状維持  | 4. 農業をやめたい |

問15-4. 村に農業政策としてどのようなことを期待していますか。（例：農道整備、水路整備、ほ場整備など）

（ \_\_\_\_\_ ）

## 6 公共施設について

問16. あなたは千早赤阪村の公共施設などをどの程度利用されていますか、また施設の必要度についてどのように思いますか。下の(ア)～(テ)の各公共施設について、利用される度合いをA(利用度)及びB(必要度)からそれぞれ1つだけ選んでください。〈○は1つずつ、計2つ〉

A：利用度      1. 1週間に1回以上    2. 1ヶ月に1回以上    3. 1年間に1回以上  
4. 過去(1年以上前)に利用したのみである    5. 全く利用したことがない

B：必要度      1. 必要である    2. あってもよい    3. なくてもよい    4. その他(      )

施設名	A	B
記入例	3	1, 2, 3, 4 (      )
(ア) くすのきホール大ホール		1, 2, 3, 4 (      )
(イ) くすのきホール図書室		1, 2, 3, 4 (      )
(ウ) いきいきサロン		1, 2, 3, 4 (      )
(エ) 保健センター(診療所を除く)		1, 2, 3, 4 (      )
(オ) 国保診療所(千早診療所を含む)		1, 2, 3, 4 (      )
(カ) 郷土資料館		1, 2, 3, 4 (      )
(キ) コミュニティホール(千早小吹台小学校内)		1, 2, 3, 4 (      )
(ク) B&G海洋センター体育館		1, 2, 3, 4 (      )
(ケ) B&G海洋センタープール(開放期間中)		1, 2, 3, 4 (      )
(コ) 村民運動場		1, 2, 3, 4 (      )
(サ) テニスコート		1, 2, 3, 4 (      )
(シ) 道の駅		1, 2, 3, 4 (      )
(ス) 金剛山ロープウェイ		1, 2, 3, 4 (      )
(セ) 村営宿泊施設 香楠荘		1, 2, 3, 4 (      )
(ソ) 農産物直売所		1, 2, 3, 4 (      )
(タ) ちびっ子老人広場		1, 2, 3, 4 (      )
(チ) 役場小吹台連絡所		1, 2, 3, 4 (      )
(ツ) 学校給食センター		1, 2, 3, 4 (      )
(テ) 富田林消防本部 千早赤阪分署		1, 2, 3, 4 (      )

## 7 まちづくりへの参加

問17. あなたは、まちづくりへの参加についてどう考えていますか。次の中から1つだけ選んでください。  
 <○は1つ>

- |                                 |                        |
|---------------------------------|------------------------|
| 1. まちづくりを考える自主的な組織・活動に参加し、行動したい | 3. 懇談会などに積極的に参加したい     |
| 2. 地域や各種団体に参加して意見を述べたい          | 5. 選挙やアンケートを通じて意思表示したい |
| 4. 投書などにより意見を述べたい               |                        |
| 6. 行政（役場）や議会に一任する               |                        |
| 7. その他（具体的に： _____）             |                        |
| 8. 関心がない                        |                        |

## 8 地域活動・ボランティア活動、参画・協働について

問18. あなたは、これからの地域社会において、住民がどの程度の役割を担っていかねばならないと思いますか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えに近い番号をそれぞれ選んでください。  
 <○は1つ>

設問項目	積極的に 行うべき	できれば 行うべき	行うこと は難しい
記入例	1	②	3
1. 自治会など、身近で基礎的な地域の活動に積極的に参加する	1	2	3
2. リサイクル運動など環境保全活動に参加する	1	2	3
3. 近所の子どもを預かったり、お年寄りの買い物の手伝いをするなど、地域の 支え合いの輪に参加する	1	2	3
4. ボランティア活動などに参加・活動する	1	2	3
5. ボランティア団体などを自ら立ち上げて、活動していく	1	2	3

問19. あなたは、ボランティア活動などの地域活動について、参加の機会があれば積極的に参加したいと思いますか。<○は1つ>

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 参加したい 【問19-1へお進みください】 |
| 2. 参加したくない               |
| 3. どちらともいえない             |

問19-1. 前の問19で「1. 参加したい」とお答えの方にお聞きします。どのような内容の活動に参加したいですか。<○は3つまで>

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 地域づくりや地域の課題解決などの活動      | 2. まちの清掃や美化などの環境をよくする活動 |
| 3. 交通安全や防犯・防災・災害救援活動       | 4. 高齢者や障害者へのボランティア活動    |
| 5. 子ども会活動や地域でのスポーツ活動の指導や応援 |                         |
| 6. 文化・芸術の振興を図る活動           |                         |
| 7. 文化財や歴史的まちなみの保存活動        |                         |
| 8. 国際交流の活動                 |                         |
| 9. その他（具体的に： _____）        |                         |

## 9 行政の広域化

問20. これからの時代によっては、行政のあり方が大きく変わることも考えられます。行政の広域化についてどのようにお考えですか。〈〇は1つ〉

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 近隣市町と連携を強化する | 2. 近隣市町と合併し、人口・権限などを拡大する |
| 3. 今のままでよい      | 4. その他（具体的に： _____）      |

## 10 村の望ましい将来像

問21. あなたは、将来、千早赤阪村がどのようなまちであってほしいとお考えですか。〈〇は2つ〉

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 災害に強く、犯罪の少ない「安全」で「安心」して暮らせるまち  |
| 2. 保健・医療・福祉が充実し、健康に暮らせる「健康・福祉」のまち |
| 3. 子どもを健やかに育てる「子育て」のしやすいまち        |
| 4. 身近に自然のある「自然」豊かなまち              |
| 5. 快適に暮らせる「住宅環境」の整ったまち            |
| 6. 道路や上・下水道など「都市基盤」が充実した利便性の高いまち  |
| 7. 教育環境が整い、学習の機会が充実している「教育」のまち    |
| 8. ごみの減量化やリサイクルなど「地球環境」にやさしいまち    |
| 9. 歴史や文化を大切に保存する「歴史・文化」のまち        |
| 10. 金剛山や棚田など地域資源を活かした「観光」のまち      |
| 11. 地元産業に活気とにぎわいのある「産業」活性化のまち     |
| 12. 地域活動が盛んで人と人が触れ合う「交流」のまち       |
| 13. 住民と行政が協力してまちづくりを推進する「協働」のまち   |
| 14. 今のままでよい                       |
| 15. その他（具体的に： _____）              |

問22. 千早赤阪村が活性化するためには、どのような地域資源を活かしていけばよいと考えますか。〈〇は1つ〉

- |                     |              |                |
|---------------------|--------------|----------------|
| 1. 農産物や林産物の特産品      | 2. 民芸品       | 3. 森林や花などの自然資源 |
| 4. 棚田などの農山村風景       | 5. 史跡などの歴史遺産 | 6. 祭りなどの伝統文化   |
| 7. 若者や村外の人などの人材     |              |                |
| 8. その他（具体的に： _____） |              |                |

## 11 まちづくりに対するアイデアや提案（自由意見）

問23. 最後に、千早赤阪村の現況やこれからのまちづくりなどについて、何かご意見・提案・アイデアなどがあれば、自由にご記入ください。

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

